



取扱説明書



メモリーナビゲーション内蔵
CD / DVD / 地上デジタルTV
7.0AVシステム

お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

また、お読みになった後も必要なときに

すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行することをおすすめします

- 測位状態が不十分なときに走り出すと、自転車位置がずれる場合がありますので、GPSマークが青色表示されてから走行することをおすすめします。

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要

機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと。
機器が故障したときにしていただきたいこと。

ワンポイント

知っておいていただきたいこと

チェック

操作する前に知っておいていただきたいこと

- 製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。
これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。
- 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。

注意

表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので、無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

本書はやさしく取り扱ってください。

無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

お使いになる前に 12

ナビゲーション 45

SECTION 1 | はじめに 46

SECTION 2 | 基本操作 48

SECTION 3 | ナビゲーション案内 80

SECTION 4 | 地点の登録 102

SECTION 5 | VICS機能 116

SECTION 6 | オプション機能 132

SECTION 7 | こんなときは 136

オーディオ・ビジュアル 145

SECTION I | はじめに 146

SECTION II | 基本操作 152

SECTION III | オーディオの操作 158

SECTION IV | ビジュアルの操作 174

SECTION V | ポータブルオーディオ機器接続時の操作 218

ご参考に 223

お使いになる前に

1. 安全上のご注意	12
2. 本書の見方	16
3. 特長	18
4. 本機について	22
各部の名称と操作	22
パネルスイッチ	22
タッチスイッチ	23
タッチスイッチの操作 について	23
初めてお使いになるときは	24
地図“SDメモリーカード”の 差し込み方	24
地図“SDメモリーカード”の 出し方	26
電源の入れ方・切り方	28
本機の電源を入れる	28
オーディオの電源を切る	28
本機の画面について	29
マルチ画面の操作	30
マルチ画面の表示	30
マルチ画面の切り替え方	31
オンスクリーン表示について	31
DISCの出し入れ	32
DISCの入れ方	32
DISCの出し方	33
ディスプレイの角度調整	34
液晶パネルについて	35
本機の作動条件について	36

5. E-iSERVについて	37
----------------------	----

E-iSERVへのアクセス について	37
-----------------------------	----

赤外線通信について	38
-----------------	----

6. 本機の設定	39
----------------	----

操作音の設定	39
--------------	----

画面の調整・設定	40
----------------	----

画質調整画面を表示する	40
-------------------	----

夜画・昼画表示に切り替える	40
---------------------	----

画面を消す	41
-------------	----

画質の調整	41
-------------	----

色合い (DVD・外部入力時のみ)	41
----------------------------	----

色の濃さ (DVD・外部入力時のみ)	41
-----------------------------	----

コントラスト	41
--------------	----

明るさ	41
-----------	----

ラジオアンテナの設定	42
------------------	----

設定内容の初期化 (ナビ)	43
---------------------	----

リセットボタンについて	44
-------------------	----

ナビゲーション

はじめに

1. GPSボイスナビゲーション について	46
--------------------------------	----

GPSボイスナビゲーションを お使いになる前に	46
----------------------------------	----

ナビゲーション画面の見方	46
--------------------	----

基本操作

1. ナビメニュー画面・リスト画面について..... 48

ナビメニュー画面..... 48

ナビ詳細設定画面..... 49

リスト画面の切り替え方..... 50

リストの切り替え表示..... 50

行の切り替え表示..... 50

2. 画面の調整・音声の設定..... 51

画面切り替え時の動画表現の
設定..... 51

音量の設定..... 51

音量を調節する..... 51

高速時の自動音量切り替えを
設定する..... 52

3. 地図の表示..... 53

現在地の表示..... 53

地図の移動
(ワンタッチスクロール)..... 54

自車位置マークの切り替え..... 54

希望の縮尺に切り替える..... 55

走行軌跡の表示..... 55

走行軌跡を表示する..... 56

走行軌跡の消去・表示解除をする..... 56

地図向きの切り替え..... 57

フロントワイド表示について..... 57

高速略図画面..... 58

高速略図画面を操作する..... 59

高速略図画面を解除する..... 59

道路形状警告（合流警告・
カーブ警告）の設定..... 60

道路形状警告を設定する..... 61

施設の表示..... 62

簡易操作で表示する..... 62

施設ランドマークを消去する..... 63

複数ジャンルを表示する..... 64

周辺の施設を検索する..... 65

ルートを考慮したリストを
表示する..... 66

4. ロケーションサーチ について..... 67

周辺情報の検索..... 67

5. 地図の呼び出し方法..... 68

50音で地図を呼び出す..... 70

住所で地図を呼び出す..... 71

お気に入り地点で地図を
呼び出す..... 73

履歴で地図を呼び出す..... 73

電話番号で地図を呼び出す..... 74

施設／ジャンルで地図を
呼び出す..... 75

マップコードで地図を呼び出す..... 76

最後に表示していた地図を
呼び出す..... 77

ケータイリンクで地図を
呼び出す..... 77

本機の操作..... 77

携帯電話の操作..... 78

6. 呼び出した地図の操作..... 79

位置の変更..... 79

ナビゲーション案内

1. 目的地設定・ルート探索について.....	80
2. 目的地を設定してルート探索.....	81
目的地の設定.....	82
地図スクロールから設定する	82
自宅を設定する	82
地図の呼び出し方法から設定する	83
ルート探索.....	83
全ルート図表示.....	84
全ルート図の表示・タッチスイッチについて.....	85
表示について	85
タッチスイッチについて	86
季節規制区間のメッセージ表示.....	86
5ルート同時表示（5ルート探索機能）.....	86
3. 探索ルートの変更	88
目的地の変更.....	88
目的地の消去.....	89
4. 目的地履歴について	90
目的地履歴の消去	90
5. 目的地案内の開始	91
案内の開始.....	91
デモンストレーション（デモ）.....	91
6. 目的地案内について	92
交差点・レーン（車線）案内.....	92

分岐しない交差点について	92
分岐する交差点（交差点拡大図）について	92
交差点拡大図を解除する	93
交差点拡大図を表示する	93
3Dイラスト拡大図について	93
立体交差点拡大図について	93

フェリー航路の案内.....	94
到着予想時刻表示の設定.....	94
平均車速を設定する	94
料金案内表示について.....	95
車両ナンバーを設定する.....	96
高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）.....	97
高速分岐模式図を解除する	97
高速分岐模式図を表示する	97

音声案内	98
------------	----

7. 案内ルートの操作	99
全ルート図の再表示.....	99
8. ルートの再探索	100
ルートの再探索	100
自動再探索	100

地点の登録

1. 地点の登録とは	102
2. お気に入り地点の登録・修正・消去.....	103
お気に入り地点の登録.....	103
ワンタッチで登録する	103
離れた場所を登録する	103

自宅の登録.....	104
------------	-----

お気に入り地点の修正・入力.....	105
--------------------	-----

お気に入り地点修正画面を 表示する	105
----------------------------	-----

お気に入り地点の記号を 変更する	106
---------------------------	-----

方向付きを設定する場合	107
-------------------	-----

お気に入り地点の名称を 入力する	108
---------------------------	-----

ひらがな・漢字を 入力するには	108
--------------------------	-----

カタカナを入力するには	109
-------------------	-----

アルファベット（記号）を 入力するには	110
------------------------------	-----

数字を入力するには	112
-----------------	-----

お気に入り地点の名称を 表示する	113
---------------------------	-----

お気に入り地点の名称読みを 入力する	113
-----------------------------	-----

お気に入り地点の位置を 修正する	114
---------------------------	-----

お気に入り地点の消去	114
------------------	-----

お気に入り地点を消去する	114
--------------------	-----

自宅を消去する	115
---------------	-----

VICS機能

1. VICS情報について	116
---------------------	-----

VICSとは.....	116
-------------	-----

VICSのメディア概要	117
-------------------	-----

VICS特有の事項.....	118
----------------	-----

FM多重放送特有の事項	118
-------------------	-----

VICS情報提供内容と表示 について.....	119
----------------------------	-----

VICS文字情報（レベル1）	119
----------------------	-----

VICS図形情報（レベル2）	119
----------------------	-----

VICS地図情報（レベル3）	119
----------------------	-----

2. 放送局の受信	120
-----------------	-----

VICS提供放送局の選択.....	120
-------------------	-----

自動で選択する	121
---------------	-----

エリアで選択する	121
----------------	-----

周波数を手動で選択する	121
-------------------	-----

3. VICS情報の表示・案内.....	123
----------------------	-----

VICS情報表示の設定.....	123
------------------	-----

VICS情報の表示.....	124
----------------	-----

VICS情報を地図表示する	125
---------------------	-----

VICSマークの内容表示 について	125
----------------------------	-----

VICS情報を消去する	125
-------------------	-----

渋滞・規制音声案内.....	126
----------------	-----

渋滞・規制の音声自動発声を 設定する	126
-----------------------------	-----

VICS図形情報の表示.....	127
------------------	-----

VICS文字情報の表示.....	128
------------------	-----

割り込み情報（一般緊急情報） の表示.....	129
----------------------------	-----

地図に表示されるVICS表示 マークについて	130
---------------------------------	-----

VICSの用語説明.....	131
----------------	-----

VICSの問い合わせ先.....	131
------------------	-----

オプション機能

1. バックアイカメラの操作.....	132
---------------------	-----

バックアイカメラの 映像を映す	133
--------------------------	-----

ガイド線の表示	133
---------------	-----

表示線の見方について	133
------------------	-----

ガイド線の設定・調整 134

ガイド線の表示を解除する 135

こんなときは

1. 補正が必要なとき 136

現在地の修正 136

手動で補正する 136

2. 地図データの情報 138

地図データの情報表示 138

3. 接続状態情報の表示 139

接続状態情報画面の表示 139

4. 精度と誤差 140

測位精度について 140

GPS衛星の電波の性質と受信状態
について 140

現在地表示の誤差について 140

タイヤによる誤差について 141

マップマッチングによる自車位置
検出の補正について 141

現在地表示、ルート案内の精度
について 142

道路、地名データについて 143

ルート案内について 143

オーディオ・ビジュアル

はじめに

1. ご使用になる前に 146

ディスクについて 148

地上デジタルTV放送
について 151

基本操作

1. ソースの切り替え方 152

ソースを切り替える 152

操作画面の表示 152

2. 各ソースの操作画面 153

3. 音の調整 154

主音量の調整 154

4. 音質の調整 155

音設定画面の表示 155

音量バランスの調整 155

ラウドネスの設定 156

音質の調整 156

5. 画面の設定 157

画面モード切り替え 157

オーディオの操作

1. ラジオの使い方 158

ラジオを聞く 158

聞きたい放送局を選ぶ 158

手動で選ぶ 158

自動で選ぶ 159

プリセットスイッチから選ぶ 159

放送局を記憶する 159

手動設定で記憶する 159

自動設定で記憶する	160
ラジオを止める	160
2. CDプレーヤーの使い方.....	161
CDを聞く	161
聞きたい曲を選ぶ	161
早送り・早戻しする	162
同じ曲を繰り返し聞く	162
曲の順番をランダムに聞く	162
CDを止める	162
3. MP3/WMA プレーヤーの 使い方	163
MP3/WMAを聞く	164
聞きたいフォルダを選ぶ	164
フォルダ送りスイッチから選ぶ	164
フォルダー一覧から選ぶ	164
聞きたい音楽ファイルを選ぶ.....	165
フォルダ・ファイル選択スイッチ から選ぶ	165
選曲・頭出しスイッチから選ぶ	165
早送り・早戻しする	165
同じ音楽ファイルを 繰り返し聴く	165
順番をランダムに聞く	165
同じ音楽フォルダを 繰り返し聴く	166
ディスク内の全曲を ランダムに聞く	166
MP3/WMAを止める	166
MP3/WMAについて	167

再生可能なMP3 ファイルの 規格について	167
再生可能なWMA ファイルの 規格について	167
ID3 タグ/WMA タグについて	168
使用できるメディアについて	168
使用できるディスクの フォーマットについて	169
ファイル名について	170
CD-R、CD-RWについて	171
MP3/WMAの再生について	171
MP3/WMAの演奏時間表示 について	171
MP3/WMA ファイル、フォルダの リスト表示順番	171

MP3/WMA ファイルの作り方、 楽しみ方

インターネット上の MP3/WMA 音楽配信サイトから 入手する場合	172
音楽CDからMP3/WMA ファイル に変換する場合	172
CD-R/RWに書き込む場合	172

ビジュアルの操作

1. 地デジをお使いになる前に	174
B-CASカードについて	175
取り扱いについての注意	175
B-CASカードに関する問い合わせ	176
B-CASカードの差し込み・ 取り出し方について	176
カードスロットカバーを 取りはずす	176
B-CASカードを差し込む	177
カードスロットカバーを 取り付ける	178

B-CASカードを取り出す	178	色ボタン・カーソルの 操作について	189
初回起動時の設定	178	10キー（テンキー）の 操作について	189
2. 地デジの使い方	179	文字入力 の操作について	190
初期設定をする	179	カナ、英数字、数記号の 入力について	191
ICカード情報を確認する	179	初期設定画面の切り替え	192
B-CASカードの情報を見る	179	初期設定をする	192
B-CASカードの 動作確認をする	180	文字スーパーを設定する	192
居住地域の登録をする	181	イベントリレーを設定する	193
都道府県から登録する	181	受信モードの設定をする	193
郵便番号から設定する	182	3. DVDプレーヤーを お使いになる前に	194
チャンネルを設定する	183	DVDの特長	194
地デジを見る	183	マルチ音声機能について	194
見たいチャンネルを選ぶ	184	マルチアングル機能について	194
地上デジタルTVのチャンネル構成 について	184	字幕表示機能について	195
プリセットスイッチから選ぶ	184	ディスクについて	195
見たい番組を選ぶ	184	再生できるディスクの 種類について	195
地デジ設定画面の切り替え	185	再生可能なディスクの地域番号 （リージョンコード）について	196
映像を切り替える	185	ディスクに表示されている マークについて	196
音声を切り替える	185	ディスクの構成について	197
字幕を切り替える	186	DVDビデオディスクの構成	197
音声多重放送を切り替える	186	DVD-VRディスクの構成	197
緊急警報放送を 受信したときは	186	操作の流れについて	198
EPG（電子番組表）を見る	187	4. DVDプレーヤーの使い方	199
番組の情報を見る	187	DVDを見る	199
地デジを終わる	187	映像を操作する	200
データ放送の使い方	188	映像を再生する	200
データ放送を見る	188	早送り・早戻しする	200
データ放送を操作する	189		

静止画を送る	200
同じチャプターを繰り返し見る	200
映像を一時止める	201
映像をスロー再生する	201
映像を止める	201
ディスクメニューを操作する	201
画面を直接タッチして操作する	202
タッチスイッチから操作する	202
DVDを止める	202
見たい映像を探す	203
チャプターから探す	203
タイトル番号から探す	203
指定位置から再生する	204
プログラム（プレイリスト）順に再生する	204
画面表示・音声の切り替え	204
アングルを切り替える	204
字幕言語を切り替える	205
音声言語を切り替える	206
音声多重を切り替える	206
DVDプレーヤーの設定	207
音声言語を設定する	208
コードを入力する	208
字幕言語を設定する	209
コードを入力する	209
メニュー言語を設定する	210
コードを入力する	210
マルチアングルマークの表示を設定する	210
視聴制限を設定する	211
走行中の自動再生を設定する	212
映像出力を切り替える	212
言語コード一覧	214

5.VTRの使い方

215

VTRを見る

215

外部入力設定画面の切り替え

216

VTRを終わる

216

6.後席用モニターについて

217

後席用モニターに表示される画面
について

217

ポータブルオーディオ機器 接続時の操作

1.iPodプレーヤーの使い方

218

iPodを接続する

218

iPodを取りはずす

219

iPodを聞く

219

早送り・早戻しする

220

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

220

聞きたい音楽ファイルを
リストから探す

220

同じ音楽ファイルを
繰り返して聞く

221

音楽ファイルの順番を
ランダムに聞く

222

今聞いているリストの中から
ランダムに聞く

222

リストをランダムに聞く

222

iPodを止める

222

対応可能なiPodについて

222

ご参考に

ご参考に

1. 知っておいて いただきたいこと 224

こんなメッセージが 表示されたときは 224

共通操作関係 224

ナビゲーション関係 225

オーディオ・ビジュアル関係 227

故障とお考えになる前に 229

共通操作関係 229

ナビゲーション関係 230

オーディオ・ビジュアル関係 232

2. 用語説明 234

3. 地図データについて 237

地図データについて 237

高速道路料金データについて 238

VICSサービスエリア
について 238

4. VICS情報有料放送サービス 契約約款 239

5. お手入れについて 240

本機のお手入れについて 240

アンテナのお手入れについて 240

6. 仕様 241

7. 索引 244

共通索引 244

ナビゲーション索引 245

オーディオ索引 247

MEMO

1. 安全上のご注意

警告

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- 安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- 運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者は走行中にお気に入り地点登録などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ディスク差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起これば、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- 本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- 車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- 運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

⚠ 注意

- 本機はエンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- 本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ディスプレイの角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- 本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- 本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 音声割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- 当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- 極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- 本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠ 重要

ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

<A／T車の場合>

- ・ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。(コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)
- ・チルト位置を設定する際、PまたはⒺ、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

<M／T車の場合>

- ・ディスク等を取り出す際、1・3・5・Ⓔポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓔポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

1. 安全上のご注意

ワンポイント

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が動き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。
- 地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。
- 地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。
- 地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。
- 走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- 悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクおよび“SDメモリーカード”のデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。
- 気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態であげれば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。
- 本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがあります。しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。
- 本機は精密機器であり、静電気、電氣的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。
- なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。
 - ① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電氣的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録された“SDメモリーカード”内のデータ等が変化・消失した場合。
 - ② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、“SDメモリーカード”内の地図データや基本プログラムが変化・消失した場合。
 - ③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録された“SDメモリーカード”内のデータ等が変化・消失した場合。
- ※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。
- 本機は他の電装品からの電氣的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

MEMO

2. 本書の見方

セクションタイトル

セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル

項目ごとにNo. とタイトルがつけられています。

操作タイトル

操作目的ごとにタイトルがつけられています。

チェック

操作前におこなうことなどを記述しています。

操作手順

操作の内容です。
番号の順に操作してください。

操作画面

操作する画面を表示しています。



チェック

本書では、一部を除きオプション機器が接続されている画面で説明しています。
ナビゲーションは、一部を除きノースアップ1画面で説明しています。



セクション見出し

セクションの見出しを表示しています。

ワンポイント

操作に関連することなどを記述しています。

次ページに続く

次のページに操作説明が続くことを表示しています。

チェック

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、**〇〇〇** (**現在地** ・ **▲** など) でスイッチ名称を表示しています。

画面のタッチスイッチにタッチするときは、**〇〇〇** でスイッチ名称を表示しています。

1つ前の画面にもどすときは、**もどる** にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。(一部の機能では、キャンセルされないものがあります。)

3. 特長

様々な機能を簡単に・思いのままに操作 することができるスイッチ

パネルスイッチでの操作を最小限にし、タッチスイッチ、G.U.I. (Graphical User Interface) デザインによるメニューやアイコンなど、画面に直接触れるだけで、簡単に・思いのままに情報や機能、画面を呼び出すことができます。

ナビゲーションと各オーディオ操作画面 を同時に表示するマルチ画面機能

(30 ページ参照)

ナビゲーションの画面と各オーディオ操作画面を左右に分割して同時に表示します。



走行した道路をひと目で確認できる走行 軌跡表示

(55 ページ参照)

地図上に軌跡を表示して、走行した道路を確認することができます。

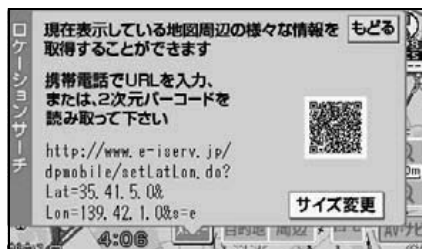
表示できる軌跡は、約 1000km です。



位置情報を2次元バーコードに変換する ロケーションサーチ機能

(67 ページ参照)

携帯電話で読み取った2次元バーコード(位置情報)をもとに、さまざまな情報を検索することができます。



携帯電話を使って簡単に情報を転送できる 赤外線通信機能

(77 ページ参照)

携帯電話の赤外線通信機能を使って、目的地の設定を行うことができます。



渋滞などの情報を表示する VICS機能

(116 ページ参照)

VICS センターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字情報 (レベル1)・簡易図形情報 (レベル2)・地図情報 (レベル3) で表示します。



好みの音質・音量バランスに設定できる音質調整機能

(155 ページ参照)

各オーディオソースをお好みの音質や音量バランスに設定して楽しむことができます。



画面モードが選べる DVD・VTR

(157 ページ参照)

好みの画面モードに切り替えることで、DVD・VTRの映像をより楽しむことができます。



アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生する MP3/WMA プレーヤー

(163 ページ参照)

音楽データを約 1/10 サイズに圧縮できる MP3 圧縮技術。本機は MP3 データを収録した CD-R/RW の再生が可能です。また、MP3 よりも高い圧縮率の WMA データを再生することもできます。



3. 特長

高画質・高音質な映像を楽しむことができる地上デジタルTV

(174 ページ参照)

地上デジタルTV放送ならではの、乱れない高画質な映像、雑音のないCD並みの高音質な番組を楽しむことができます。また、より広範囲なエリアで視聴できる、ワンセグ放送も受信することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドを楽しむDVDプレーヤー

(194 ページ参照)

高画質・高音質で記録されたDVDビデオや、地上デジタルTV放送を録画・編集したDVDビデオレコーディング (VR) の映像や静止画を再生することができます。



システムアップ

●バックアイカメラ (132 ページ参照)

別売りのバックアイカメラを接続し、バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

また、車幅や距離感覚を補うガイド線表示に対応しています。

●ビデオ接続コード (215 ページ参照)

別売のビデオ接続コードを接続すると、本機で、ビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

●後席用モニター (217 ページ参照)

別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDなどの映像をご覧になることができます。

●iPod接続コード (218 ページ参照)

別売のiPod接続コードを接続すると、本機でiPodの操作をすることができます。

MEMO

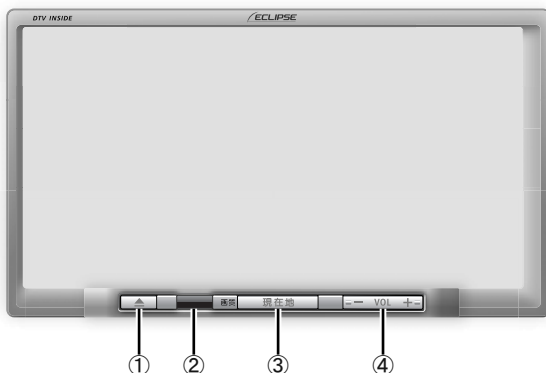
4. 本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

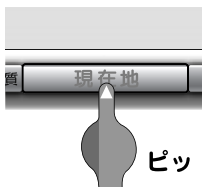
■ パネルスイッチ

それぞれのパネルスイッチを押して操作します。



① ▲ スイッチ	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。
② ケータイリンク受光部	ケータイリンクで赤外線通信を行うとき、携帯電話をケータイリンク受光部に水平に近づけて操作します。
③ 現在地スイッチ	ナビゲーション画面、またはマルチ画面で現在地を表示するときに押します。 画質を調整するときに1秒以上押します。
④ VOLスイッチ	オーディオの音量を調整するときに押します。

■ 現在地 を押すと



現在地画面が表示されます。

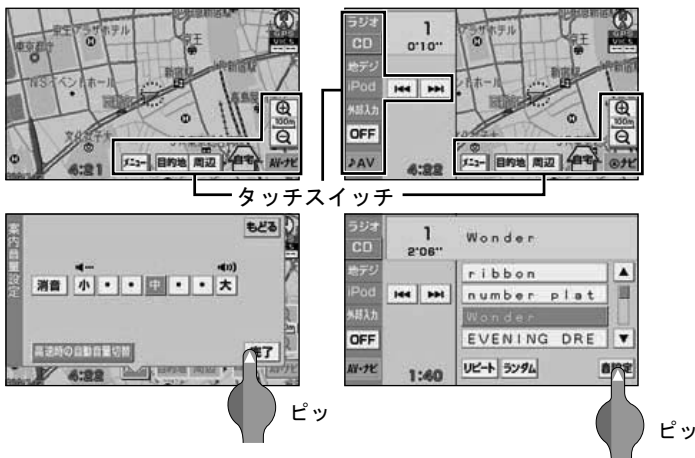
■ タッチスイッチ

画面のスイッチにタッチして操作します。

▲ 重要

タッチスイッチは指でタッチしてください。

ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



タッチスイッチの操作について

- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものがあります。

■ メニュー にタッチすると



4. 本機について

初めてお使いになるときは

本機をお買い上げ後、初めてお使いになる場合は、地図が収録されている“SDメモリーカード”を本機に差し込みます。

■ 地図“SDメモリーカード”の差し込み方

重要

- 同梱している地図“SDメモリーカード”以外は使用することができません。（地図データをコピーした“SDメモリーカード”は使用することができません。）
- 本機以外での地図“SDメモリーカード”のご使用は絶対に行わないでください。その際、破損した場合は保証できませんのでご容赦ください。（デジタルカメラへの挿入、パソコンでのフォーマットなどを行うと、地図データが全て消失します。）
- 同梱している地図“SDメモリーカード”のフォーマット（初期化）は絶対に行わないでください。（地図データが使用できなくなります。）
- デジタルカメラや携帯音楽プレイヤーなど、他の機器に同梱されている“SDメモリーカード”は使用しないでください。
- コラムA/T車など、ディスプレイ部を開いたときに、オートマチックチェンジレバーを操作する手とディスプレイ部が干渉する場合は、オートマチックチェンジレバーを操作しないでください。
- 地図“SDメモリーカード”の差し込み途中に **CLOSE**、または  を押さないでください。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

1 エンジンスイッチをONにします。

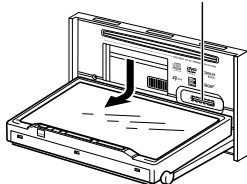
2  を押します。

3 **Full OPEN** にタッチします。

- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。

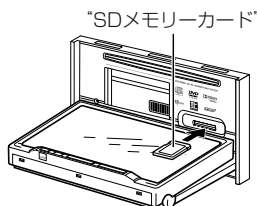


“SDメモリーカード” 差し込み口



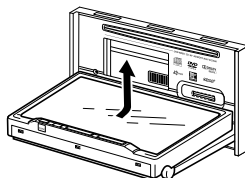
4 差し込み口に地図“SDメモリーカード”を差し込みます。

- 地図“SDメモリーカード”はラベル面を上側にし、▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
奥のストッパーに突き当たると、それ以上は差し込めませんので、無理に力を加えないでください。



5 地図“SDメモリーカード”が奥まで差し込まれたことを確認してから、**CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイが閉じます。
-  を押してもディスプレイ部は閉じます。



ワンポイント

地図データをコピーした“SDメモリーカード”は、使用することができません。

4. 本機について

■ 地図“SDメモリーカード”の出し方

⚠ 重要

- “SDメモリーカード”を取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機および“SDメモリーカード”を破損するおそれがあります。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、“SDメモリーカード”などを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

1

 を押します。

2

Full OPEN にタッチします。

- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。



3

“SDメモリーカード”を軽く押して取り出します。

4

取り出し後、**CLOSE** にタッチします。

- ディスプレイが閉じます。
-  を押してもディスプレイ部は閉じません。

📖 ワンポイント

■ “SDメモリーカード”について



SDHCロゴは商標です。

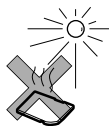
- 静電気や電氣的ノイズを受ける恐れのある場所に、“SDメモリーカード”を放置しないでください。データが破壊される恐れがあります。
- “SDメモリーカード”の取り扱いについて
 - ・定期的にカートリッジの表面についたホコリやゴミなどを乾いた布で拭き取ってください。



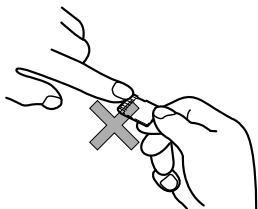
- ・ラベルがはがれている“SDメモリーカード”は使用しないでください。また、ネームテープ（ラベル）などは貼らないでください。



- ・ 直射日光や湿気の多いところをさけて保管してください。
“SDメモリーカード”が使用できなくなる場合があります



- ・ 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- ・ 端子部には、手や金属が触れないようにしてください。



4. 本機について

電源の入れ方・切り方

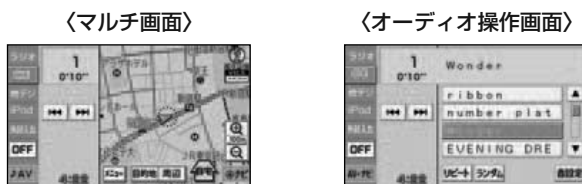
本機は、車のエンジンをかけると自動的に電源が入り、マルチ画面※を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※ ナビゲーション画面は、現在地画面を表示します。オーディオ操作画面は、前回、操作をしていたオーディオソースの画面を表示します。

■ 本機の電源を入れる



■ オーディオの電源を切る



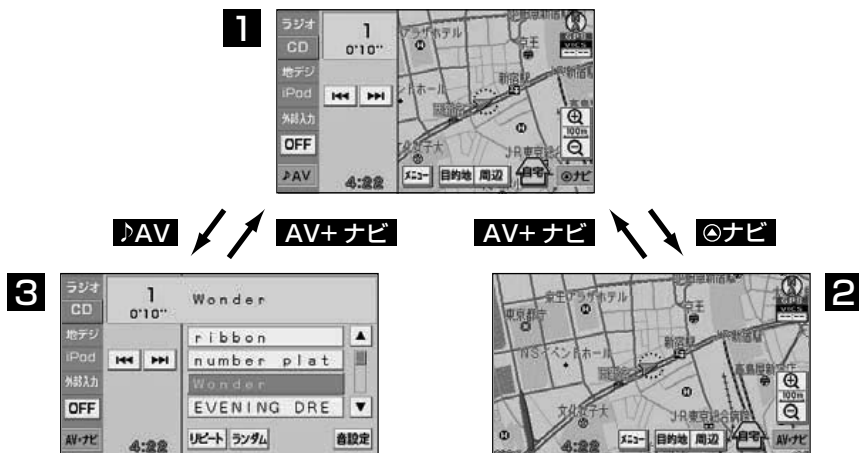
- マルチ画面、またはオーディオ操作画面で **OFF** にタッチします。
(ナビゲーション画面の場合は、マルチ画面に切り替えてから行ってください。)

ワンポイント

- ナビゲーション画面を表示しているときにオーディオの電源を切る場合は、マルチ画面、またはオーディオ操作画面に切り替えてください。
- オーディオの電源が入らないときは、マルチ画面、またはオーディオ操作画面で切り替えたいソースにタッチしてください。詳しくは、「ソースを切り替える」(152ページ)を参照してください。
- ナビゲーションの電源は切ることができません。

本機の画面について

本機には、「マルチ」・「ナビゲーション」・「オーディオ」の3つの画面があります。



	画面	主な機能
1	マルチ	● ナビゲーション画面およびオーディオ操作画面の切り替え ● オーディオソースの切り替え ● 各オーディオソースの操作 ● ナビゲーション画面の操作・表示（現在地の表示、目的地の設定、目的地案内、地点の登録など） ● ナビメニューの表示（VICS設定、ナビ詳細設定など）
2	ナビゲーション	● マルチ画面の切り替え ● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・お気に入り地点）の登録など ● 目的地の設定 ● ナビメニューの表示（VICS設定、ナビ詳細設定など）
3	オーディオ (ラジオ・CD・MP3/WMA・地デジ・DVD・iPod・外部入力)	● マルチ画面の切り替え ● AM・FM放送の受信 ● CDプレーヤーの操作 ● MP3/WMAプレーヤーの操作 ● 地デジ放送の受信 ● DVDプレーヤーの操作 ● iPodの操作（別売） ● VTR映像の表示（別売） ● 音質の調整

※ 走行中は、操作できない機能があります。

4. 本機について

マルチ画面の操作

ナビゲーションの画面やオーディオ、地デジなどの操作画面を左右に分割して、同時に表示することができます。



● マルチ画面

マルチ画面の表示

ナビゲーション画面、オーディオ、地デジなどの操作画面から、マルチ画面へ切り替えます。

- 1 ナビゲーション画面、オーディオ、地デジなどの操作画面で、**AV+ ナビ** にタッチします。

- マルチ画面が表示されます。



● ナビゲーション画面



● オーディオ操作画面

ワンポイント

- 本機は、車のエンジンをかけ、自動的に電源が入ると、マルチ画面を表示します。
- マルチ画面のときは、DVD、地デジ、VTRの映像は表示されません。映像を表示するときは、**フル映像** にタッチしてください。

■ マルチ画面の切り替え方

マルチ画面からナビゲーション画面、オーディオ、地デジなどの操作画面に切り替えます。

- 1** マルチ画面で、**ナビ**、または**AV** にタッチします。



- マルチ画面
- **ナビ** :
ナビゲーション画面に切り替わります。
- **AV** :
オーディオ、地デジなどの操作画面に切り替わります。
- オーディオ機能が作動していない場合は、オーディオ OFF 画面が表示されます。



■ オンスクリーン表示について

ナビゲーション画面表示中にCDを差し込むとオンスクリーンが表示されます。

オンスクリーン表示はしばらくすると、自動で解除されます。

オンスクリーン表示



ワンポイント

iPodの接続をはずすと、接続前のオーディオソースのオンスクリーンが表示されます。

4. 本機について

DISCの出し入れ

音楽をお聞きになるときは音楽CDを、DVDを再生するときはDVDを差し込み口に入れてください。

■ DISCの入れ方

⚠ 重要

- 地図ディスクは使用できませんので差し込まないでください。
- 本機は、8cm CD / DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくで故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

⚠ 注意

DISCの差し込み途中に **CLOSE**、または  を押さないでください。

1

 を押します。

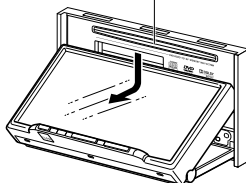
2

▲DISCを入れる にタッチします。

- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。



DISC差し込み口

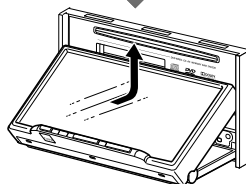
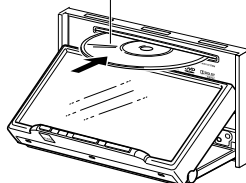


3

差し込み口にDISCを差し込みます。

- DISC差し込み後、ディスプレイが自動で閉じます。
- CDは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- DVDを差し込んだときは、DVDの再生が始まります。
- CDを差し込んだときは、音楽CDまたは、MP3/WMAの再生が始まります。

DISC



■ DISCの出し方

⚠ 重要

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。

< A / T車 >

DISCを取り出す際、Pレンジで干涉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。(コラム A / Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。)

< M / T車 >

DISCを取り出す際、1・3・5・Ⓢポジションで干涉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。

- DISCを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、DISCを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

1

 を押します。

2

▲DISC を取り出す にタッチします。

- 自動でディスクが押し出されます。



3

取り出し後、**CLOSE** にタッチします。

-  を押してもディスプレイは閉じません。
- 使用できるディスクについては、「ディスクについて」(148ページ)を参照してください。

4. 本機について

ディスプレイの角度調整

車外からの光などで画面が見にくいときは画面の角度を調整できます。

注意

ディスプレイの角度調整をするときは手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。

重要

- ディスプレイがTILT状態のときに上部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイの角度調整をする際、下記に注意してください。

<A/T車>

チルト位置を設定する際、PまたはⓅ、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。)

<M/T車>

チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓜポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。(干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。)

1

▲ を押します。

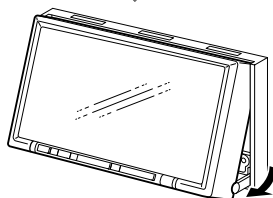
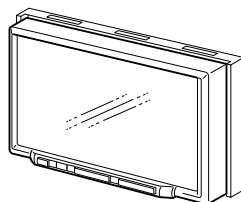
2

角度調整の、 または  にタッチします。● :

タッチするごとにディスプレイが傾いた状態から1段階(5°)ずつもどります。(最大6段階30°)

● :

タッチするごとにディスプレイが斜め下方に1段階(5°)ずつ傾きます。(最大6段階30°)



3

調整後、▲ を押します。

ワンポイント

- ディスプレイを傾けた状態でも、ディスプレイを開くことができます。ディスプレイを閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的にディスプレイが閉じた状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

4. 本機について

本機の作動条件について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

○：操作できます ×：操作できません

各機能	エンジンスイッチ				
	OFF	ACC	ON停車中※ ¹	ON走行中	ディスプレイがオープン状態
ナビゲーション／設定・情報	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
オーディオ（ラジオ、CD、iPodモード）	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
オーディオ（地デジ、DVD、外部入力モード）	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります※ ²	×
赤外線通信機能	×	○	○	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
CDおよび“SDメモリーカード”の出し入れ／ディスプレイの角度調整	エンジンOFF後はディスプレイを閉じることができます	○	○	○	ディスプレイの角度調整はできません

※¹ パーキングブレーキがかかっている状態。

※² 映像は表示されません。

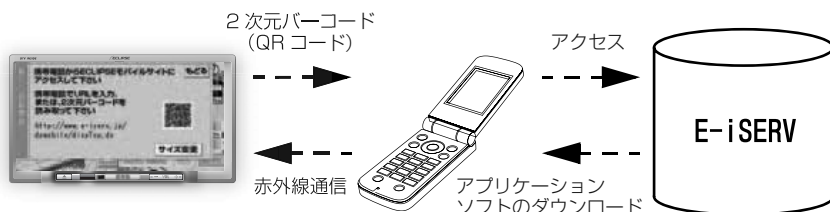
ワンポイント

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

5. E-iSERVについて

本機は携帯電話を使ってE-iSERV（ECLIPSE information SERVICE）にアクセスし、モクテキチネットのアプリケーションソフトをダウンロードすることができます。携帯電話にダウンロードした機能は、赤外線通信を行うことで本機に読み込むことができます。動作確認済の携帯電話については、E-iSERVを参照してください。

- モクテキチネットとは、パソコンや携帯電話からモクテキチネットへアクセスし、検索した目的地のマップコードを専用のアプリケーションソフトで送信することができる機能です。詳しくは、「**ケータイリンクで地図を呼び出す**」（77ページ）を参照してください。
- 本機は、**Pic-Clip**、**助手席リモコン**のアプリケーションソフトには対応しておりません。



E-iSERVへのアクセスについて

E-iSERVへは、携帯電話を使って2次元バーコード（QRコード）を読み込む、またはURLを入力してアクセスすることができます。

チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。



1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。

2 **E-iSERV** にタッチします。

- E-iSERV 画面では2次元バーコードおよびURLが表示されます。

3 携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURL（下記参照）を入力してE-iSERVにアクセスします。

- **サイズ変更** にタッチすると2次元バーコードが拡大されます。
- **E-iSERV**（ECLIPSE information SERVICE）

《パソコンからアクセスする場合》

下記URL（ECLIPSEホームページ）からE-iSERVへアクセスしてください。

<http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/>

5. E-iSERVについて

《携帯電話からアクセスする場合》

下記URLもしくは2次元バーコードからE-iSERVへアクセスしてください。

<http://www.e-iserv.jp/dpmobile/dispTop.do>



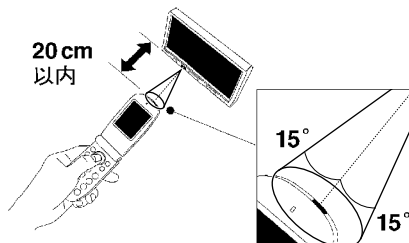
ワンポイント

- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2次元バーコードの読み取りは、携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

赤外線通信について

E-iSERVからダウンロードした機能や情報は、携帯電話の赤外線通信を使用して、本機に読み込むことができます。

赤外線通信を使用するときは、通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作するときは携帯電話と本機の受光部を水平に近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。



6. 本機の設定

本機はナビゲーションやオーディオの操作設定の他に、下記の設定をすることができます。

- 操作音の設定
- 画面の調整・設定（40 ページ参照）
- ラジオアンテナの設定（42 ページ参照）
- 設定内容の初期化（43 ページ参照）

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの“ピッ”という操作音を設定することができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

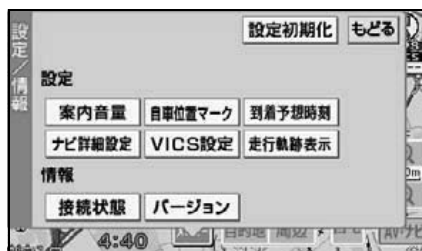
- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



- 2 **設定 / 情報** にタッチします。

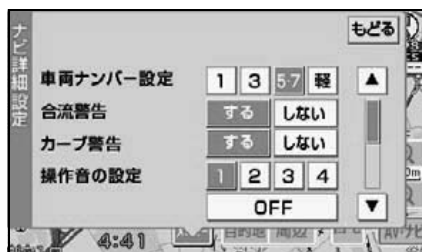


- 3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



- 4 操作音の設定の **1**、**2**、**3**、**4**、**OFF**（消音）のいずれかにタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



6. 本機の設定

画面の調整・設定

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

取り付ける車種により、ライトの点灯、消灯を本機が検出できない場合があります。その場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

● ライト消灯時〈昼画表示〉



● ライト点灯時〈夜画表示〉



■ 画質調整画面を表示する

🔍 チェック

画質調整画面は、マルチ画面、ナビゲーション画面、オーディオ操作画面、または映像画面のときに表示させることができます。

1

現在地 を1秒以上押します。

2

調整が終了したら、**完了** にタッチします。

- 調整については、「**画質の調整**」（41ページ）を参照してください。
- 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



■ 夜画・昼画表示に切り替える

1

昼画（夜画）表示のときに **夜画面**（**昼画面**）にタッチします。

- タッチすることにより、夜画表示と昼画表示が切り替わります。



📖 ワンポイント

本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。

■ 画面を消す

- 1 画質調整画面で、**画面消** にタッチします。

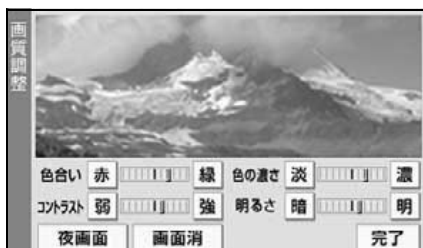
- 再度、画面を表示させるには **現在地** を押します。

■ 画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。



- ナビゲーション画面およびオーディオ操作画面時



- DVD・外部入力時

色合い (DVD・外部入力時のみ)

- 1 緑色を強くするときは **緑**、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

色の濃さ (DVD・外部入力時のみ)

- 1 濃くするときは **濃**、淡くするときは **淡** にタッチします。

コントラスト

- 1 強くするときは **強**、弱くするときは **弱** にタッチします。

明るさ

- 1 明るくするときは **明**、暗くするときは **暗** にタッチします。

- ライト消灯時の初期設定は最大値（一番明るい状態）になっています。

6. 本機の設定

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げることができます。

ただし、アンテナを下げると、FM多重(VICS情報)が受信できなくなります。

▲ 重要

ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF(LOCK)にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

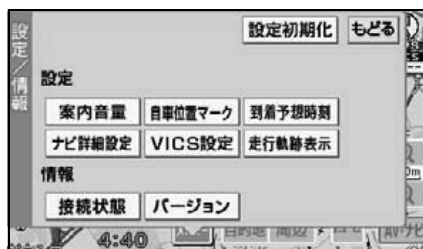
- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



2 **設定 / 情報** にタッチします。

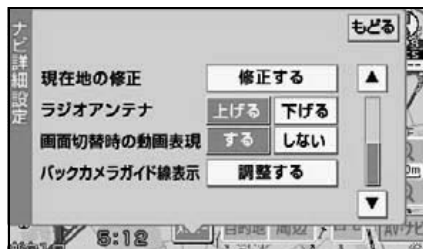


3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



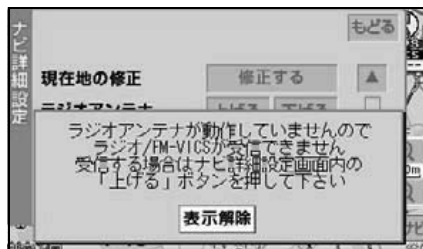
4 ラジオアンテナの **下げる** にタッチします。

- ラジオアンテナが下がっているときは、**上げる** にタッチすると、ラジオアンテナが上がります。



5 **表示解除** にタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



設定内容の初期化（ナビ）

ナビゲーションの設定を初期状態にもどすことができます。

初期化（消去）される項目は下記になります。

項目	初期化される内容
案内音量設定	音量・高速時の自動音量切り替え設定
自車位置マークの設定	自車位置マーク
到着予想時刻の設定	平均车速の設定
走行軌跡	走行軌跡の表示設定 保存した走行軌跡の履歴
ナビ詳細設定	記憶させた各ナビ詳細設定
VICS設定	VICS情報表示の設定 VICS提供放送局の設定 渋滞・規制音声案内の設定
バックアイカメラ※1	ガイド線表示 ガイド線の調整・設定
地デジ	地デジに関する設定項目

※1 別売りのバックアイカメラ接続時のみ

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

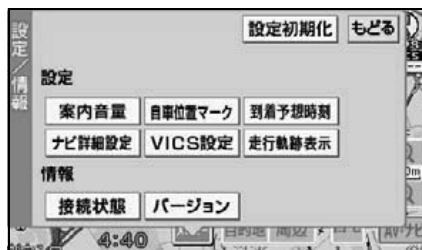
- オーディオ操作画面を表示しているときは、マルチ画面に切り替えてから行ってください。



2 **設定 / 情報** にタッチします。

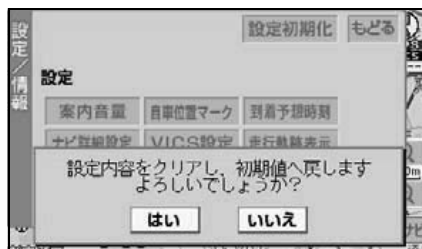


3 **設定初期化** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

- 設定内容を初期化後、**3** の画面にもどります。



ワンポイント

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。

6. 本機の設定

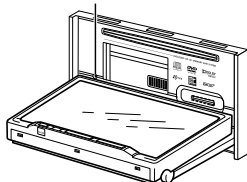
リセットボタンについて

リセットボタンをボールペンの先端のようなもので押すと、お客様が設定/登録した内容（自宅登録・お気に入り地点登録は除く）は全て消去されます。

重要

リセットボタンを押して消去された内容は元にはもどりませんので、十分注意してください。

リセットボタン



ワンポイント

- ディスクを入れた状態で、リセットボタンを押さないでください。
- バッテリー交換時も、お客様が設定/登録した内容（自宅登録・お気に入り地点登録は除く）は全て消去されます。

ナビゲーション

1. GPSボイスナビゲーションについて

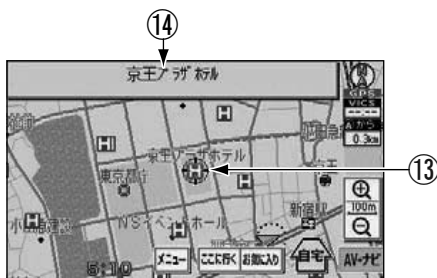
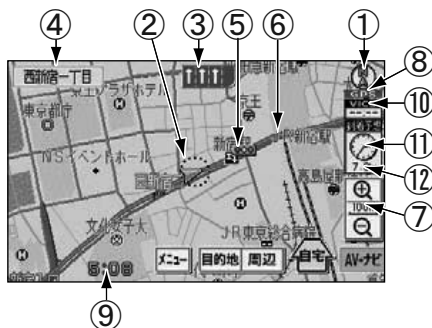
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

GPSボイスナビゲーションをお使いになる前に

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などを行うことができません。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なった案内が行われる場合があります。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



- ① 方位マーク（ヘディングアップ時は ）
地図の方角が表示されます。
- 地図向き（ノースアップ/ヘディングアップ）の切り替えについては「**地図向きの切り替え**」(57ページ)を参照してください。
- ② 自転車マーク
現在位置と車が向いている方角が表示されます。
- ③ レーン（車線）表示
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図データに情報のある交差点のみ）
- 目的地案内中は走行を推奨する車線を表示します。
- ④ 名称表示（  ）
状況により次の名称が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ）
- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称、または路線番号
- 通過するインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）の名称（高速道路を走行しているときのみ）
- 分岐するインターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

⑤ 案内ポイント

交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。

- 交差点案内については、「**交差点・レーン（車線）案内**」（92ページ）を参照してください。

⑥ ルート表示

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

- 案内が行われるのは、濃い青（) の表示上に現在地があるときです。

⑦ スケール表示

表示させている地図の縮尺が表示されます。

—— の長さがこの場合は100mになります。

⑧ GPSマーク

GPS衛星からの位置情報の受信状態により、GPSマークは下記の色で表示されます。

- ・ （青色）：

GPS衛星の受信状態が4個以上のとき

- ・ （黄色）：

GPS衛星の受信状態が3個以下のとき

- ・ （赤色）：

GPS衛星を受信していないとき

ただし、GPSマークの表示色が青色のときでも、GPS衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

GPSは次のようなときに利用できないことがあります。

- ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき
- GPSアンテナのまわりに遮へい物があるなど電波が遮断されるとき
- GPS衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良・修理等で電波が止まることがあります。）
- デジタル式携帯電話（1.5GHz）をGPSアンテナ付近で使用したとき

⑨ 時計表示

現在の時刻が表示されます。

- 時計表示は常時表示されます。時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（手動で調整できません。）

⑩ VICSタイムスタンプ

VICS情報が提供された時刻が表示されます。

- VICS情報の表示については、「**VICS情報の表示**」（124ページ）を参照してください。
- 地図上に表示されるマークについては、「**地図に表示されるVICS表示マークについて**」（130ページ）、または巻末の「**凡例**」を参照してください。

⑪ 到着予想時刻表示／目的地方向マーク

状況により次のマークが表示されます。

■ 到着予想時刻表示

目的地案内中、目的地へ到着する予想時刻が表示されます。

- 到着予想時刻については、「**到着予想時刻表示の設定**」（94ページ）を参照してください。

■ 目的地方向マーク

目的地案内中にルートからはずれたときは、目的地の方向が矢印で表示されます。

⑫ 残距離表示

現在地から目的地までの距離が表示されます。

- 目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。
- ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。

⑬ カーソルマーク

検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。

スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭ カーソル位置地名表示

地図上の施設にタッチすると、施設名称が表示されます。

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

ナビメニュー画面

ナビメニュー画面から、ナビゲーションの設定や編集をすることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 設定、または編集したい項目スイッチにタッチします。

- 設定、または編集できる項目については、下記表を参照してください。



● ナビメニュー画面

項目（タッチスイッチ）	機 能	ページ
施設表示	施設情報の表示・消去	62
地図向き	地図の向きの切り替え	57
ロケーションサーチ	地図の位置情報（2次元バーコード）で、地図周辺の様々な情報の呼び出し	67
E-iSERV	ケータイリンク用のアプリケーションソフトのダウンロード	37
全ルート	全ルート図の表示	84
VICS	VICS図形情報・文字情報の表示	127、128
	割り込み情報の表示	129
	VICS表示設定	123
お気に入り地点編集	お気に入り地点・自宅の登録・修正・消去	103
設定／情報	設定内容の初期化	43
	自車位置マークの変更	54
	到着予想時刻（平均車速度）の設定	94
	ナビゲーションの詳細設定	49
	VICS提供放送局の選択	120、123、126
	VICS情報表示の設定	
	渋滞・規制音声案内の設定	
	走行軌跡の表示・解除	55
	接続状態情報の表示	139
	地図バージョンの表示	138
	案内音量の設定	51

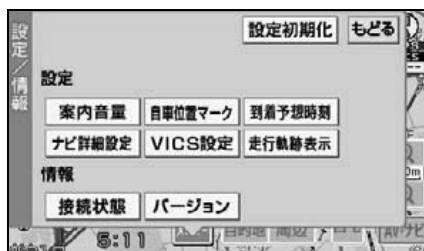
ナビ詳細設定画面

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **ナビ詳細設定** にタッチします。

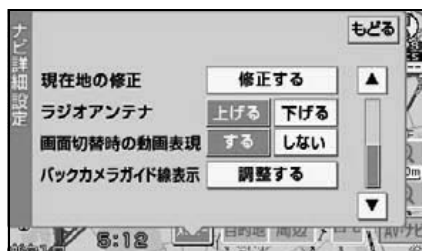


4 各項目の設定スイッチにタッチすると、設定を行うことができます。

- 設定できる項目については下記表を参照してください。
また、機能概要、初期設定（購入直後の設定）についても説明しています。
- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



● ナビ詳細設定画面（1ページ目）



● ナビ詳細設定画面（2ページ目）

項目	機能概要	設定※1 (タッチスイッチ)	ページ
車両ナンバー設定	ナンバープレートの分類を設定することができます。	1 / 3 / 5・7 / 軽	96
合流警告	高速道路走行中、自車マークが合流道路に近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	する / しない	60
カーブ警告	自車マークが急カーブに近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	する / しない	60
操作音の設定	パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの操作音の設定をすることができます。	1 / 2 / 3 / 4 / OFF	39
現在地の補正	現在地の位置修正をすることができます。	修正する	136

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

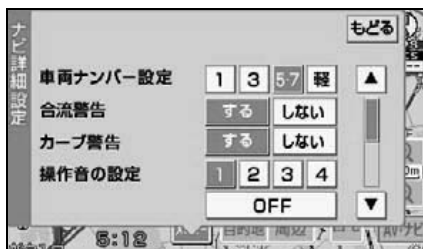
項目	機能概要	設定※ ¹ (タッチスイッチ)	ページ
ラジオアンテナ	オートアンテナの設定をすることができます。(お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合)	上げる／下げる	42
画面切替時の動画表現	画面が切り替わるときの動きの表現を変更することができます。	する／しない	51
バックカメラガイド線表示	バックカメラガイド線のポイント切り替え調整をすることができます。	調整する	134

※¹ 太字は初期設定（購入直後の設定）です。

リスト画面の切り替え方

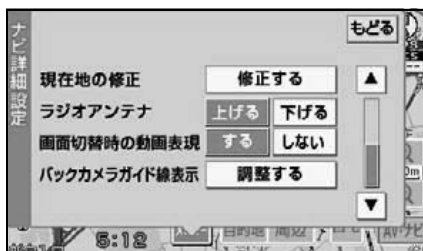
■ リストの切り替え表示

▲・▼ にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



【例】

上記画面の ▼ にタッチすると、次のリスト画面が表示されます。



■ 行の切り替え表示

あ行・か行・さ行・た行・な行・は行・ま行・や行・ら行・わ行 にタッチすると、「あ行→か行」と行ごとによりストが動きます。



【例】

上記画面の **か行** にタッチすると、か行のリスト画面が表示されます。



2. 画面の調整・音声の設定

画面切り替え時の動画表現の設定

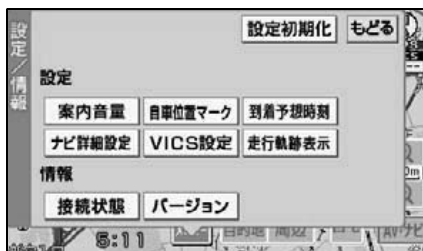
画面の切り替えを動きのある表現に設定することができます。(一部を除く)

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

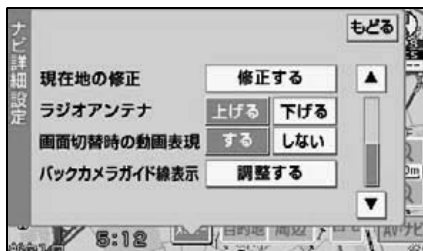
2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4 画面切替時の動画表現の **する**、または **しない** にタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



音量の設定

ルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

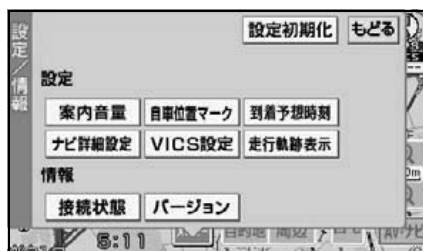
■ 音量を調節する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **案内音量** にタッチします。



4 **消音**・**小**・**中**・**大**のいずれかにタッチします。



5 **完了** にタッチします。

2. 画面の調整・音声の設定

■ 高速時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。

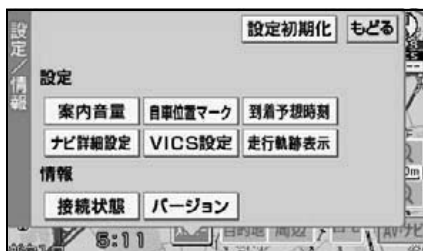
自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

● ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **案内音量** にタッチします。



4 **高速時の自動音量切替** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 高速時の自動音量切り替えを設定した場合、車速が約80km/h以上になると、音量が自動的に1段階上がり、車速が約70km/h以下になるともとの音量にもどります。
- 初期設定は、自動音量切り替えはON（自動で上がる）に設定されています。

3. 地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の画面を表示させているときは、**現在地** を押すと、現在地画面にもどります。

1 現在地画面で、**現在地** を押します。

- 現在地付近の地名が表示されます。
- 現在地が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200m スケール図のとき）

地名表示



ワンポイント

- 取り付け後、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、自車位置が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
立体駐車場や地下駐車場などでGPS情報が利用されず、自車位置が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、自車位置の修正を行ってください。（136 ページ参照）
- 走行中は細街路表示などが制限されます。

3. 地図の表示

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。

1 地図にタッチ（タッチスイッチ以外の場所）します。

- 地図の右上に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくり連続して地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で連続して地図が移動します。

施設名称



ワンポイント

- 安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でのスクロールになります。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。**現在地**を押すと、もとの状態（地図が動く）にもどります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（57 ページ参照）ができないことがあります。
- 地図の移動後、地図上の施設ランドマークにタッチすると、施設名称が約6秒間、画面上部に表示されます。「施設の表示」（62 ページ）

自転車位置マークの切り替え

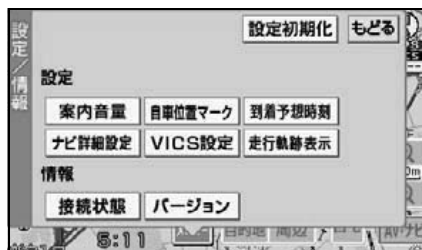
地図上に表示される自転車位置マークを切り替えることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**設定 / 情報** にタッチします。

3 **自転車位置マーク** にタッチします。



4 **ノーマル**・**クルマ**・**ヒヨコ**・**エンピツ** のいずれかのマークにタッチします。

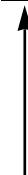
- タッチしたマークが明るくなります。
- **ノーマル** にタッチすると、通常の自転車位置マークを表示します。



5 **完了** にタッチします。

希望の縮尺に切り替える

地図を 1/2048 万図～ 1/5000 図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
	1/5000	50m		1/64万	6km
	1/1万	100m		1/128万	10km
	1/2万	200m		1/256万	20km
	1/4万	400m		1/512万	50km
	1/8万	800m		1/1024万	100km
	1/16万	1km		1/2048万	200km
	1/32万	3km			

チェック

走行中は安全のため、縮尺を連続して切り替えることはできません。

1 地図の範囲を広くするときは 、狭くするときは  にタッチします。

- タッチスイッチにタッチすることにより、1段階ずつ切り替わります。
- 、または  を約 1 秒以上タッチし続けると、縮尺を連続して切り替えることができます。



ワンポイント

最大範囲（200km スケール図）にすると  がトーンダウンします。また、最小範囲（50mスケール図）にすると  がトーンダウンします。

走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡（約 1000km）を自動で保存し、表示することができます。

- 保存できる距離をこえて走行したときは、古い軌跡は消去して、新しい軌跡を保存します。



走行軌跡表示

3. 地図の表示

■ 走行軌跡を表示する

チェック

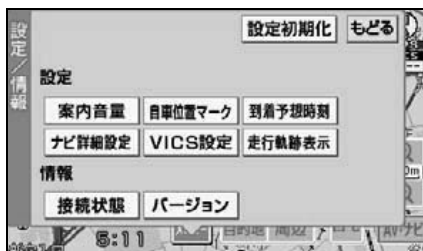
50m～50kmスケール図で表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **走行軌跡表示** にタッチします。



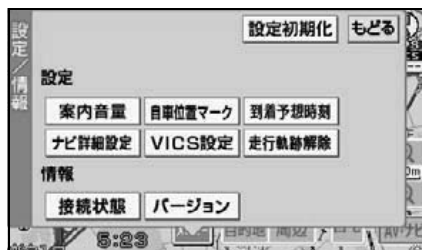
■ 走行軌跡の消去・表示解除をする

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。

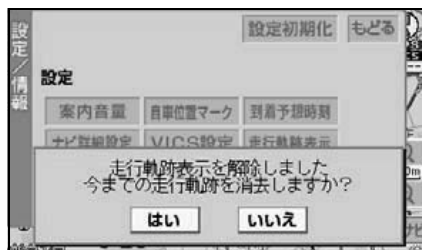


3 **走行軌跡解除** にタッチします。



4 **はい**、または **いいえ** にタッチします。

- **はい** :
保存してある軌跡を消去して、表示も解除します。
- **いいえ** :
保存してある軌跡はそのまま、表示を消去します。



地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

● ノースアップ表示

車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。



● ノースアップ表示

● ヘディングアップ表示

車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。



● ヘディングアップ表示

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **地図向き** にタッチします。

● タッチするたびに、ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。



ワンポイント

●ヘディングアップ表示のとき、目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示にもどります。

●ヘディングアップ表示に切り替えると、自動的にフロントワイド表示に切り替わります。

フロントワイド表示について

画面の中心に表示される自転車マークを、中心からずらして表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

本機は、地図向きをヘディングアップ表示に切り替えると、自動的にフロントワイド表示に切り替わります。「**地図向きの切り替え**」(57ページ参照)

● フロントワイド表示を解除したい場合は、地図向きをノースアップ表示に切り替えてください。

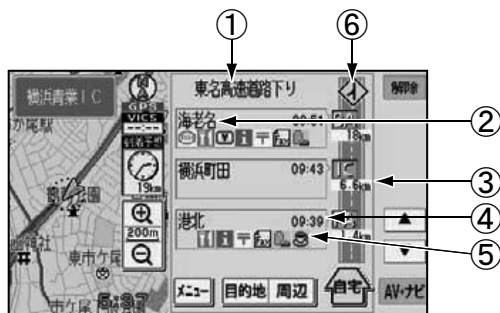
3. 地図の表示

高速略図画面

目的地案内中は高速道路走行中、自動的に画面を左右に二分割して右側に高速略図画面を表示します。（都市高速、有料道路含む）

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は、高速略図のみの表示になります。



① 道路名称表示

走行中、または選んだ施設（SA・PA・IC）のある道路名称が表示されます。

② 施設名称表示

施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。

③ 距離表示

現在地からの距離が表示されます。

④ 通過予想時刻表示

選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。

⑤ 設備マーク表示

選んだ施設〔サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）〕にある設備が最大7つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）

⑥ カーブ案内・合流案内・区間料金案内の表示

区間料金を表示します。また、カーブや合流が近づくと、カーブ案内、または合流案内を表示します。

■ 高速略図画面を操作する

1 ▲、または ▼ にタッチします。

- 選んだ施設（SA・PA・IC）に切り替わります。



■ 高速略図画面を解除する

1 解除 にタッチします。

- 高速略図画面が解除され、通常の地図画面に切り替わります。
- 再度、高速略図を表示するときは、通常の地図画面で **略図** にタッチします。
- 目的地案内中で、分岐点〔出口インターチェンジ（IC）、ジャンクション（JCT）〕が近いときは、**拡大図** にタッチすると、高速分岐模式図が表示されます。



■ 設備マーク表示

マーク	内容
	身障者用施設
	インフォメーション
	ハイウェイ情報ターミナル
	スナックコーナー
	休憩所
	レストラン
	お風呂
	コインシャワー
	ショッピングコーナー
	ドラッグストア
	ファックスサービス
	キャッシュコーナー
	コインランドリー
	自動販売機
	コイン洗車機
	仮眠室

マーク	内容
	お手洗
	郵便ポスト
	ベビーベット
	身障者用電話
	公衆電話
	授乳室
	軽食
	コーヒーショップ

- ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

 ワンポイント

- 反対車線の施設情報は表示されません。
- 通過予想時刻※は設定した平均車速（94ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
※ 通過予想時刻（④）には、VICS情報は考慮されません。
- サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、高速略図が解除されることがあります。
- 目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、高速分岐模式図（97ページ参照）が自動的に表示され、高速略図が解除されます。ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的に高速略図にもどります。

道路形状警告（合流警告・カーブ警告）の設定

道路形状警告（下図参照）がある場所に近づく
と、地図右上にマークを表示します。

「例」

形状	警告マーク
合流道路	
カーブ	



- ## ● 道路形状警告表示

■ 道路形状警告を設定する

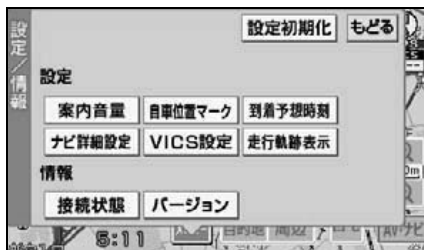
道路形状警告をON（警告する）にするか、OFF（警告しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4 道路形状警告の項目の **する**、または **しない** にタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され直前の画面にもどります。



ワンポイント

合流警告の案内は、直前の分岐から距離が短い場合は案内されないことがあります。また、次のようなときは、道路形状警告が行われなことがあります。

- ・ 目的地案内開始直後
- ・ 目的地周辺

3. 地図の表示

施設の表示

地図に 、または  から半径約10km以内にある施設のマークを最大200件表示することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)



● 施設表示

ワンポイント

- 、または  が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。
- 地図“SD メモリーカード”を出し入れすると、施設表示の設定が初期化されます。

■ 簡易操作で表示する

簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。

1

ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2

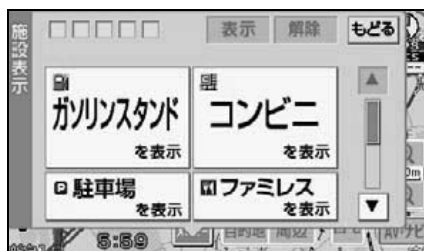
施設表示 にタッチします。



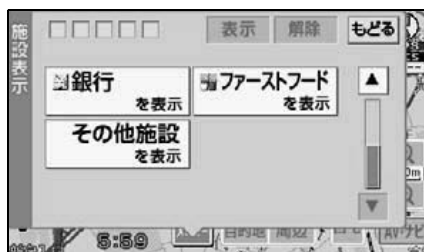
3

表示させる施設 **ガソリンスタンド**、**コンビニ**、**駐車場**、**ファミレス**、**銀行**、**ファーストフード**、**その他施設** にタッチします。

- タッチした施設ランドマークが表示されます。
- 表示させる施設は、最大5つまで選択することができます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



● 1ページ目



● 2ページ目

4

表示 にタッチします。

■ 施設ランドマークを消去する

1

ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2

施設表示 にタッチします。



3

解除 にタッチします。



基本操作

2

3. 地図の表示

■ 複数ジャンルを表示する

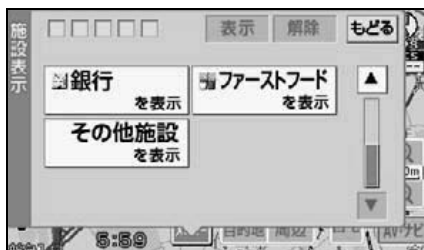
複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

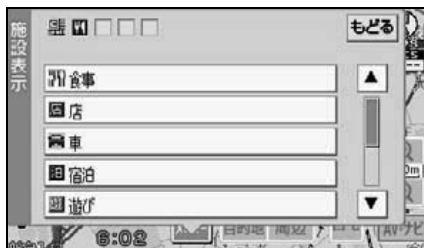
2 **施設表示** にタッチします。



3 **その他施設を表示** にタッチします。



4 施設のジャンルにタッチします。

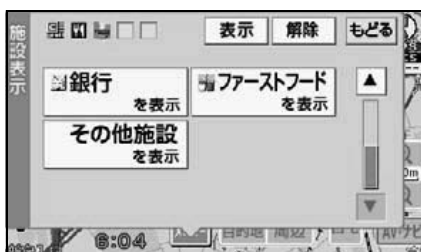


5 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5ジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- **〇〇全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



6 **表示** にタッチします。



ワンポイント

各ジャンルの **〇〇全て** を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

■ 周辺の施設を検索する

📍、または📍の10km以内にある施設を検索することができます。

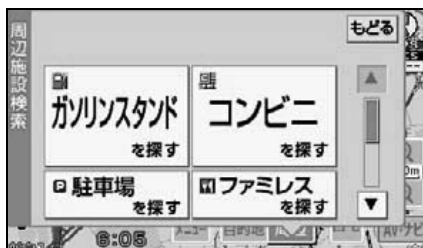
1 現在地画面で、**周辺** にタッチします。

● 周辺施設検索画面が表示されます。

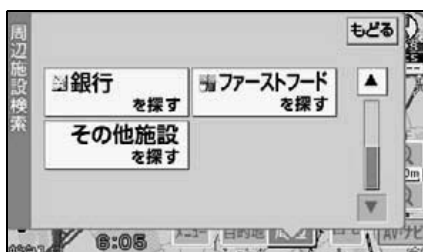
2 検索したい施設にタッチします。

● 選択した施設ランドマークが表示されます。

● **その他施設を探す** にタッチすると、リストが表示されます。検索したい施設にタッチします。



● 1 ページ目



● 2 ページ目

3 行きたい施設ランドマークにタッチします。

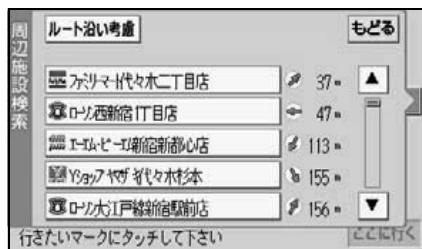
● 選んだ施設ランドマークを中心にした地図が表示され、施設の名称が表示されます。



● **近い順** にタッチすると、📍、または📍から近い施設順に並んだリストが表示されます。

● **もどる** にタッチすると、周辺施設検索画面にもどります。

● 目的地が設定されているときは、ルートに沿ったリストのみを表示することができます。「ルートを考慮したリストを表示する」(66ページ参照)



📖 ワンポイント

すでに目的地が設定されているときに、周辺施設検索で新規に目的地を設定すると、設定されていた目的地は消去されます。設定されていた目的地にもどす場合は、「履歴で地図を呼び出す」(73ページ)を参照してください。

3. 地図の表示

■ ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストにすることができます。(距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらか、または現在地より後方を表示しています。)

チェック

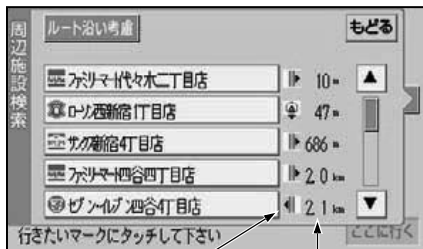
目的地設定をしていないと、ルート沿い考慮を行うことはできません。

1 近い順 にタッチします。



2 ルート沿い考慮 にタッチします。

- ルートを考慮した順のリストに並びかわります。
- 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設名称が表示されます。



ルート沿い方向 道なり距離

- ルート沿い考慮表示

4. ロケーションサーチについて

ロケーションサーチは、表示している地図の位置情報を2次元バーコード（QRコード）に変換する機能です。

2次元バーコードを携帯電話で読み取ってモクテキチネットにアクセスすることで、表示している地図周辺の様々な情報を簡単に検索することができます。

周辺情報の検索

チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** タッチします。

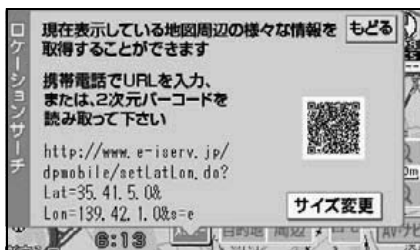
2 **ロケーションサーチ** にタッチします。

- 2次元バーコードおよびURLが表示されます。



3 携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURLを入力してモクテキチネットにアクセスしてください。

- **サイズ変更** タッチすると、2次元バーコードが拡大されます。



ワンポイント

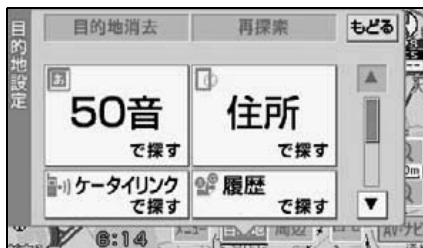
- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを变えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

5. 地図の呼び出し方法

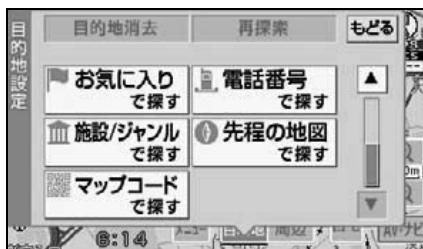
目的地の設定・自宅の登録・お気に入り地点の登録のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目を参照してください。

● 目的地の設定のとき

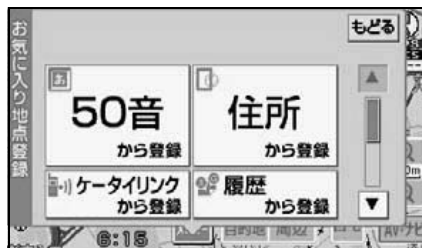


● 1ページ目

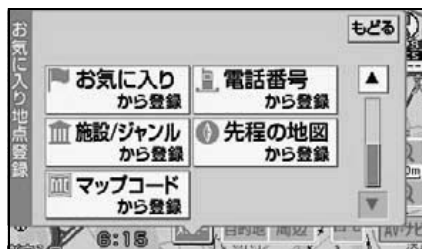


● 2ページ目

● お気に入り地点の登録のとき



● 1ページ目



● 2ページ目

● 目的地の設定（82 ページ参照）

● お気に入り地点の登録（103 ページ参照）

上の画面は、目的地設定・お気に入り地点登録のときの画面を代表として記載しています。表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

項目（タッチスイッチ）		機 能
目的地の設定のとき	お気に入り地点登録のとき	
50音で探す	50音から登録	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。（70 ページ参照）
住所で探す	住所から登録	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（71 ページ参照）
お気に入りで探す	お気に入りから登録	お気に入り地点周辺の地図を表示させることができます。（73 ページ参照）[お気に入り地点が登録されているときのみ。お気に入り地点については、「 地点の登録とは 」（102ページ）を参照してください。]
履歴で探す	履歴から登録	過去に設定された目的地、または前回の出発地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（73 ページ参照）[目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、「 目的地履歴について 」（90ページ）を参照してください。]
電話番号で探す	電話番号から登録	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（74 ページ参照）
施設／ジャンルで探す	施設／ジャンルから登録	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設／ジャンルがある地図を表示させることができます。（75 ページ参照）
マップコードで探す	マップコードから登録	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（76 ページ参照）
先程の地図で探す	先程の地図から登録	最後に表示していた地図を表示させることができます。（77 ページ参照）
ケータイリンクで探す	ケータイリンクから登録	E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を表示させることができます。（77 ページ参照）

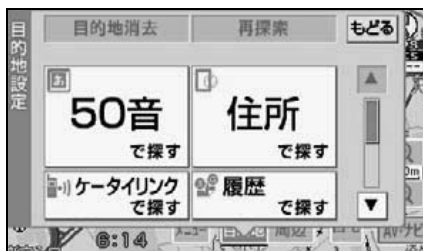
5. 地図の呼び出し方法

50音で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称をひらがなで入力し、地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。候補数が少ないときは、リスト画面から直接選びます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

2 **50音で探す** にタッチします。



3 **あ** ～ **わ**、**っ**、**ー** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、施設の名称を入力します。

● 文字入力について

- ・ **あ** ～ **わ** 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。

[例]

「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」

- ・ **っ**、**ー** (濁音、半濁音) の文字入力スイッチにタッチすると、濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。

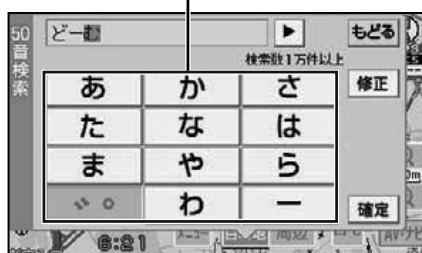
[例]

「**っ**」→「**ー**」

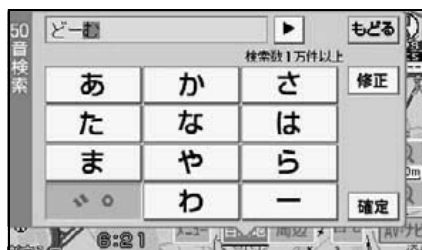
- ・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字を入力することができます。

- **▶** にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 1文字タッチすることにより、検索される施設名称の件数が表示されます。

文字入力スイッチ



4 入力文字が確定したら、**確定** にタッチします。



5 **検索** にタッチします。

- 現在地周辺の都道府県リスト画面が表示されます。
- 入力した文字から検索された施設が40件以下の場合、**8** のリスト画面が表示されます。

6 都道府県名にタッチします。

- **指定なし** にタッチすると、全国リスト画面が表示されます。表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(79ページ)を参照してください。



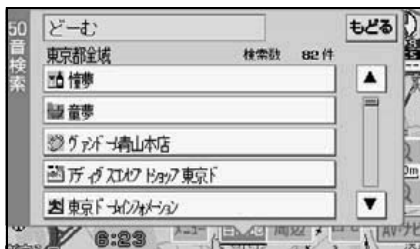
7 市区町村名にタッチします。

- リスト画面が表示されます。



8 リスト画面で、表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(79ページ)を参照してください。



ワンポイント

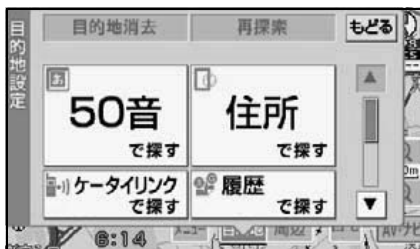
入力文字は、最大で12文字までです。

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

2 **住所で探す** にタッチします。



5. 地図の呼び出し方法

- 3** 都道府県名にタッチします。



- 4** 市区町村名・町名・丁目（字）の順で表示させる地名にタッチします。

- 住所の詳細がわからない場合は、**〇〇主要部** にタッチします。
タッチした地名の広域図が表示されます。
- **〇〇主要部** にタッチして地図を表示させた場合は、番地指定はできません。



- 5** 丁目にタッチしたあと、**番地指定** にタッチします。

- 番地・号数を入力することができます。



- 6** **番地指定** にタッチしたときは、数字、または「一」を1つずつタッチして番地を入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



- 7** **検索** にタッチします。

- 入力した番地から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。
- 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。

ワンポイント

一部の地域では、住所の詳細設定ができない場合があります。

お気に入り地点で地図を呼び出す

お気に入り地点をあらかじめいくつか登録しておけば、お気に入り地点から地図を呼び出すことができます。「**お気に入り地点の登録**」(103ページ参照)

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、**お気に入りで探す** にタッチします。

3 リストから表示させるお気に入り地点にタッチします。

- お気に入り地点の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(79ページ)を参照してください。
- **登録順** にタッチすると、登録した順にリストが並びかわります。
- **記号順** にタッチすると、マークの種類順にリストが並びかわります。



履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新100件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、**履歴で探す** にタッチします。

3 リストから表示させる目的地履歴にタッチします。

- 以前に設定した目的地の地図が表示されます。
- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(79ページ)を参照してください。



ワンポイント

- 自宅は、目的地履歴に記憶されません。
- 目的地履歴を消去するには、「**目的地履歴の消去**」(90ページ)を参照してください。

5. 地図の呼び出し方法

電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設（ピンポイント検索）の場合は、周辺の地図を、それ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。

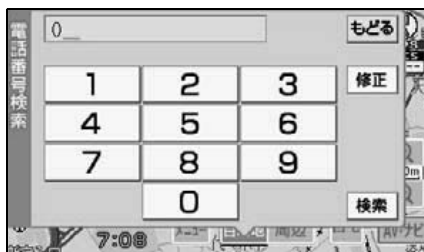
1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、**電話番号で探す** にタッチします。

3 数字を1番号ずつタッチして入力します。

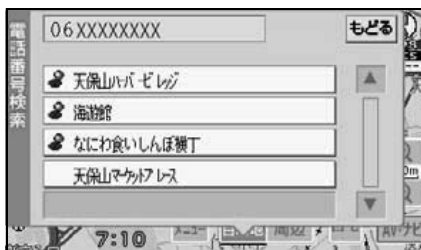
- 市外局番から入力します。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁（一部地域は5桁）入力した後、**検索** にタッチします。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **検索** にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。

- 入力した番号に該当する施設がないとき、市内局番まで入力したときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ下記リスト画面が表示されます。
- 表示させる施設名称にタッチすると、地図が表示されます。表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」（79ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
 - ・ デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
 - ・ 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。

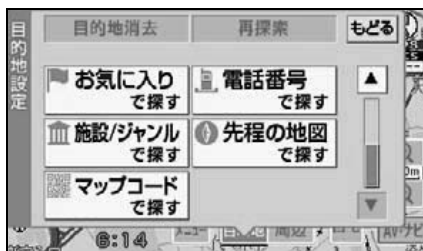
- 地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。
- 目的地・お気に入り地点などに設定した地点は、最大 100 力所まで記憶されます。100 力所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。(自宅登録は除く)

施設／ジャンルで地図を呼び出す

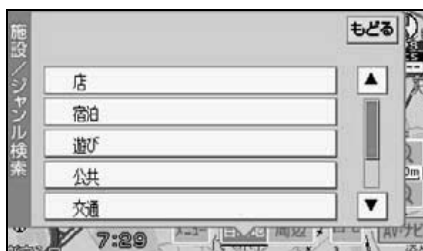
施設／ジャンルから地図を呼び出すことができます。

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

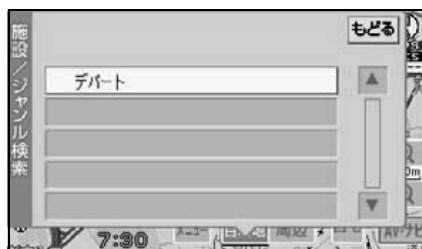
2 **施設／ジャンルで探す** にタッチします。



3 施設のジャンルにタッチします。



4 施設の詳細ジャンルにタッチします。

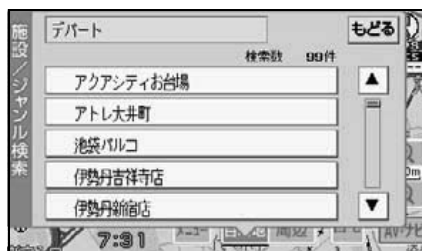


5 都道府県にタッチします。



6 施設名称にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。



5. 地図の呼び出し方法

マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

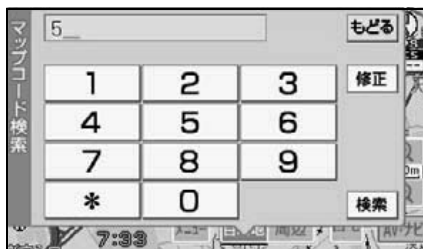
1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

2 目的地設定画面で、**マップコードで探す** にタッチします。

3 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **検索** にタッチします。

- 入力したマップコードから検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(79ページ)を参照してください。

ワンポイント

- マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号(標準マップコードの場合)でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ(景勝地や山、川、海など)もマップコードで位置を特定することができますようになります。
- 標準マップコード(6～10桁)の後に*を入力し、高分解能マップコード(1～2桁)を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。
- マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。
<http://www.e-mapcode.com>
- マップコードは、お気に入り地点(105ページ参照)を登録すると、修正画面に表示されます。
- 「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

最後に表示していた地図を呼び出す

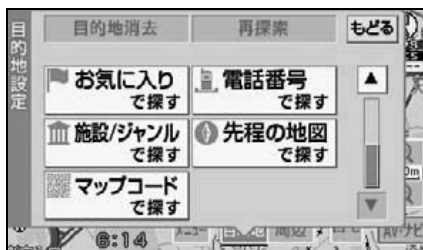
最後に表示していた地図を呼び出すことができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

- 2 目的地設定画面で、**先程の地図で探す** にタッチします。

- 最後に表示されていた地図が表示されます。
- 表示された地図については、「**呼び出した地図の操作**」(79ページ)を参照してください。



ケータイリンクで地図を呼び出す

E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を呼び出すことができます。E-iSERVへのアクセスについては「**E-iSERVへのアクセスについて**」(37ページ)を参照してください。

チェック

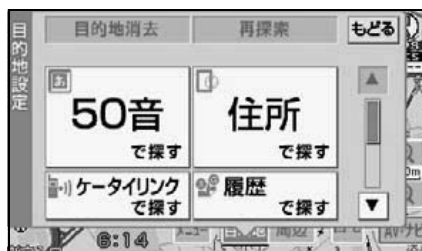
- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から位置情報を送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部を水平に近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

■ 本機の操作

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

- 目的地設定画面が表示されます。

- 2 目的地設定画面で、**ケータイリンクで探す** にタッチします。



- 中止する場合は、**キャンセル** にタッチします。

5. 地図の呼び出し方法

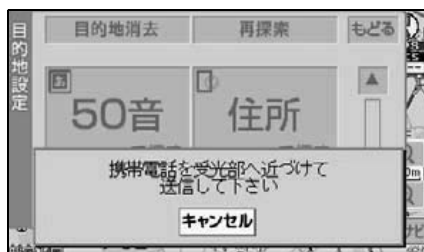
- 赤外線通信により本機がデータを受信中の間は、オーディオの機能がOFFになります。



3

E-iSERVからダウンロードした情報を携帯電話の赤外線通信で、送信します。

- 画面にメッセージが表示され、読み込んだ位置情報に該当する地図が表示されます。
- 表示された地図については、「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。



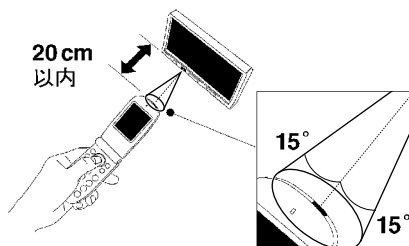
ワンポイント

- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- IrDAバージョン1.0および、1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- データ受信中は電源を切らないでください。

■ 携帯電話の操作

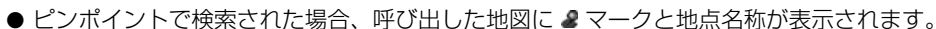
1

専用のアプリケーションソフトから位置情報を送信します。



6. 呼び出した地図の操作

ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。ピンポイントで地図が表示されなかった場合、位置を調整してさらに検索することができます。

- ピンポイントで検索された場合、呼び出した地図に  マークと地点名称が表示されます。



- ピンポイントで検索できたとき



- ピンポイントで検索できないとき

位置の変更

- 1  にタッチして地図を動かします。

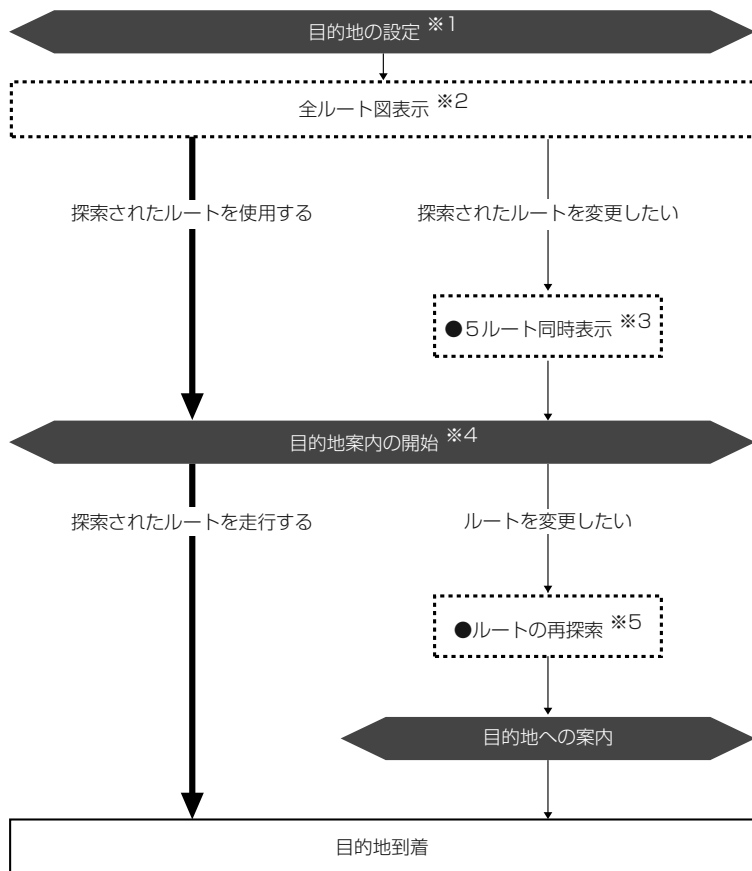


ワンポイント

お気に入り にタッチすると、お気に入り地点に登録することができます。（103 ページ参照）

1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索の探索条件を設定をすることができます。



※1「目的地の設定」(82ページ参照)

※2「全ルート図表示」(84ページ参照)

※3「5ルート同時表示 (5ルート探索機能)」(86ページ参照)

※4「案内の開始」(91ページ参照)

※5「ルートの再探索」(100ページ参照)

2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。
目的地を設定するには以下の方法があります。

- 地図スクロールから設定
- 自宅から設定
- 地図の呼び出し方法から設定

項目	設定方法
地図スクロールから設定	地図をスクロールさせて ここに行く にタッチして設定します。
自宅を設定	自宅 にタッチして設定します。自宅を登録していないと使用できません。自宅が登録されていないときは、自宅を登録するメッセージが表示されます。 はい にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。「 自宅の登録 」（104ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。「 地図の呼び出し方法 」（68ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。
推奨ルート以外のルートを設定するときは、ルート探索後に設定します。

ワンポイント

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。「**目的地履歴の消去**」（90ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

目的地の設定

チェック

目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。

■ 地図スクロールから設定する

地図（タッチスイッチ以外の場所）にタッチして地図を移動します。

1 タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 **ここに行く** にタッチします。

- 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。
-  の位置に目的地が  マークで表示され、ルート探索が開始されます。



- **ここに行く** にタッチしたとき、高速道路や有料道路、トンネルの付近では、目的地の道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。この場合は、**設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



■ 自宅を設定する

1 ナビゲーション画面で、**自宅** にタッチします。

- 自宅が登録されていないときは、**自宅** にタッチすると、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録することができます。



2 **はい** にタッチします。

- 自宅に目的地が  マークで表示され、ルート探索が開始されます。

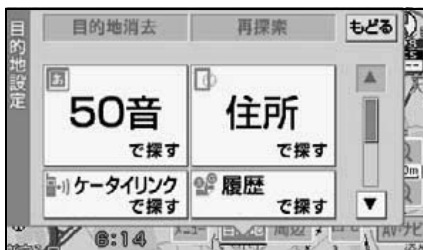


■ 地図の呼び出し方法から設定する

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(68ページ)、「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。



3 **ここに行く** にタッチします。

- ①の位置に目的地が ②マークで表示され、ルート探索が開始されます。



- **ここに行く** にタッチしたとき、高速道路や有料道路、トンネルの付近では、目的地の道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。この場合は、**設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

- ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。
- 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。
- ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。「**全ルート図表示**」(84ページ参照)

ワンポイント

- ルートの探索は、道幅が5.5m以上の道路を対象としています。(5.5m未満の主要道路でもルートを探ることがあります。)
- 現在地周辺・目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索され、灰色で表示されます。
- 高速道路や有料道路のインターチェンジ(IC)・サービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、「**ルートの再探索**」(100ページ)を行ってください。

2. 目的地を設定してルート探索

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

探索されたルートが青色の表示色で表示されます。

- 全ルート図が表示されたあと、**現在地**を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



- ルート探索終了（全ルート図）画面

全ルート図の表示・タッチスイッチについて

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時刻や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。



■ 表示について

最終目的地までの表示になります。

① インターチェンジ (IC) 名称表示

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ (IC) の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ (IC) の名称が上に表示されます。

② 使用道路概要案内

- ・ 有料道路を通る道が探索された場合：
有料道路の距離、フェリー利用のある/なしが表示されます。
- ・ 有料道路を通らない道が探索された場合：
国道 (番号)、または一般道表示、距離、フェリー利用のある/なしが表示されます。

③ 料金案内

目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます。

- ・ 料金が特定できないときは、「不明」または「〇〇〇円以上」と表示されます。

・ 全ルート図を再表示したときは、全料金が表示されます。全ルート図の再表示については「**全ルート図の再表示**」(99ページ)を参照してください。

④ 距離表示

目的地までの距離が表示されます。

⑤ ICマーク

有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ (IC) と、一番最後に出るインターチェンジ (IC) の位置に表示されます。

⑥ 到着予想時刻表示

目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ 残距離表示

目的地まで、表示されているルートを通つての距離が表示されます。(目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。)

2. 目的地を設定してルート探索

■ タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

① 5ルート

別のルートを表示させ、選ぶことができます。(86 ページ参照)

② 案内開始

(目的地案内開始後は、案内にもどる)

目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。(91 ページ参照) 目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。

ワンポイント

- 到着予想時刻は設定した平均车速(94 ページ参照)から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制(常時進入禁止、時間による進入禁止など)区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に  が表示されることがあります。
- 目的地案内開始後も全ルート図を表示させることができます。(99 ページ参照)
- 料金は設定した車両ナンバー(96 ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

季節規制区間のメッセージ表示

長期間にわたり規制される区間(冬期通行止めになる道路など)を含むルートが探索されたときは、画面にメッセージが表示されます。



● 季節規制区間メッセージ表示

5ルート同時表示 (5ルート探索機能)

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから順に表示されます。

チェック

次のときは、5ルート同時表示はできません。

- 目的地案内が開始されたあと。

1 全ルート図表示画面で、**5ルート** にタッチします。

- 5つのルートが色分けされて表示されます。



2 **全行程** にタッチします。

- 5つのルートの料金・距離・所要時間が表示されます。
- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



3 ルート名称にタッチします。

- タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。
- 5つのルートの特長については下記を参照してください。

探索条件	特 長
推奨	現在地から次の目的地の間で、一般的なルートが探索されます。
有料道優先	現在地から次の目的地の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。
一般道優先	現在地から次の目的地の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。
距離優先	現在地から次の目的地の間で、距離の短いルートが探索されます。
別ルート	現在地から次の目的地の間で、他のルートとは別のルートが探索されます。

探索条件	料金	全行程	所要時間
推奨	12250円	531km	6時間50分
有料道優先	12250円	531km	8時間50分
一般道優先		538km	17時間57分
距離優先	4900円	496km	13時間28分
別ルート	13450円	588km	8時間35分

ワンポイント

- 料金は設定した車両ナンバー (96 ページ参照) から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均车速 (94 ページ参照) から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 探索ルートの変更

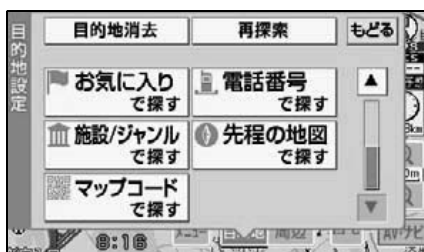
目的地案内中に、設定した目的地を変更したり、消去したりすることができます。

目的地の変更

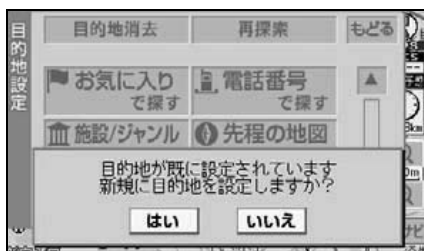
- 1** ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。



- 2** 地図の呼び出し方法を選びます。

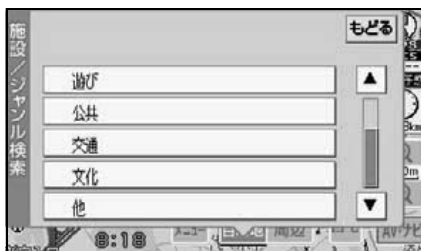


- 3** **はい** にタッチします。



- 4** 変更する目的地を設定する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(68ページ)、「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。



- 5** **ここに行く** にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

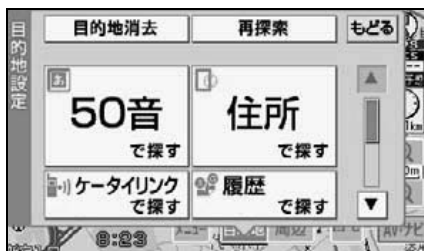


目的地の消去

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。



- 2 **目的地消去** にタッチします。



- 3 **消去する** にタッチします。

- 目的地が消去され、現在地画面が表示されます。



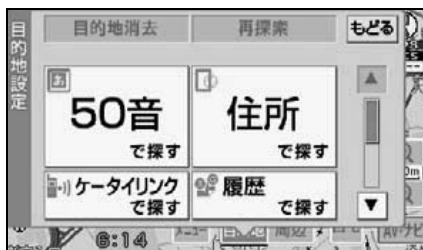
4. 目的地履歴について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大100カ所まで）。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

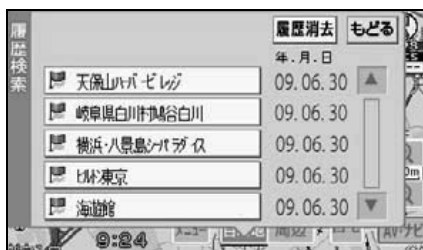
目的地履歴の消去

1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

2 **履歴で探す** にタッチします。



3 **履歴消去** にタッチします。



4 消去したい地点名称にタッチします。

● すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **消去する** にタッチします。



5. 目的地案内の開始

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で**案内開始**にタッチすると目的地案内が始まります。

また、目的地案内を途中で中止することができます。目的地案内中に**目的地**にタッチすると、目的地を消去（89 ページ参照）して目的地案内を中止したり、目的地を変更（88 ページ参照）したりすることができます。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始**にタッチします。

- 目的地案内が開始されます。
- 全ルート図が表示されたあと、**現在地**を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。
- 自宅への案内中は、画面の**自宅**スイッチが**自宅案内中**に切り替わります。



デモンストレーション (デモ)

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。

チェック

デモンストレーション (デモ) は、目的地設定後のルート探索終了時 (案内開始前) に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

1 全ルート図表示画面で、**案内開始**に約5秒以上タッチし続けます。

- デモが始まります。
- デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域に、遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。「希望の縮尺に切り替える」(55 ページ参照)

2 デモ中に**現在地**を押します。

- デモが終了し、目的地案内が開始されます。
- デモ中に走行しても、デモは終了しません。



- デモ案内中画面

6. 目的地案内について

ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始することができます。

目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。(ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。)

交差点・レーン（車線）案内

走行中、交差点に近づくと、交差点の案内が行われます。目的地案内中は分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点拡大図が自動的に表示されます。

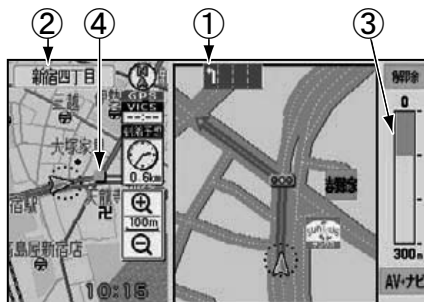
チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は、交差点拡大図のみの表示になります。

■ 分岐しない交差点について



■ 分岐する交差点（交差点拡大図）について



① レーン（車線）表示

通過・分岐する交差点の車線が表示されます。

・ 走行を推奨する車線が表示されます。

② 交差点名称表示

通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③ 残距離表示

交差点までの距離が表示されます。

(交差点に近づくとともに  が短くなります。)

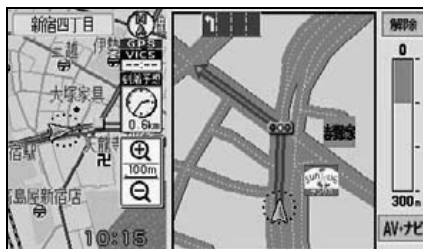
④ 案内ポイント

交差点案内が表示されます。

■ 交差点拡大図を解除する

1 交差点拡大図表示画面で、**解除** にタッチします。

- 交差点拡大図が解除されます。



■ 交差点拡大図を表示する

1 交差点拡大図を解除したナビゲーション画面で、**拡大図** にタッチします。

- 交差点拡大図が表示されます。



■ 3Dイラスト拡大図について

都市高速のIC入口などでは、立体的な案内画面が表示されます。



- 3Dイラスト拡大図

■ 立体交差点拡大図について

立体交差点情報のある交差点では、立体的な案内画面を表示させることができます。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は立体交差点拡大図のみの表示になります。



- 立体交差点拡大図

6. 目的地案内について

フェリー航路の案内

フェリーの航路は  (破線) で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



ワンポイント

フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。

到着予想時刻表示の設定

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、画面右に到着予想時刻が表示されます。



- 到着予想時刻表示

ワンポイント

到着予想時刻は、ルートからはずれたとき目的地方向マークになります。

■ 平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- 高速略図画面の通過予想時刻 (58 ページ参照)
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻 (85 ページ参照)
- 全行程一覧表 (5ルート同時表示) の所要時間 (86 ページ参照)
- 現在地画面の到着予想時刻 (46 ページ参照)

1

ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

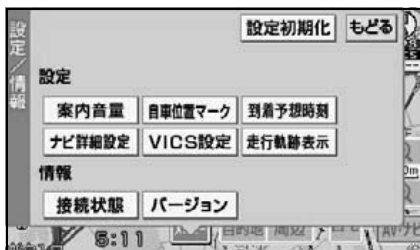
2

設定 / 情報 にタッチします。



3

到着予想時刻 にタッチします。



4 それぞれの道路の設定速度を入力します。

- 速度を上げるときは **▶**、下げるときは **◀** にタッチします。(タッチするたびに、5km/h ずつ変更されます。)
- 道路の設定速度の初期状態は、高速道 80km/h、有料道 60km/h、一般道 30km/h です。



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

設定速度の調整範囲は以下になります。

一般道	5km/h～60km/h
有料道	5km/h～80km/h
高速道	5km/h～120km/h

料金案内表示について

目的地案内中の現在地画面(現在地がルート上にあるとき)で、料金所に近づくと、画面左下に料金を表示し、音声で案内することができます。



● 料金案内表示

ワンポイント

- 料金は設定した車両ナンバー(96 ページ参照)から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- 有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このときに再探索が行われると、実際と異なる料金を案内することがあります。
- 出発した地点がわからないとき(有料道路内で再探索したときなど)、または有料道路内に目的地を設定したときなどは「不明」、または「〇〇〇円以上」と表示されます。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。

6. 目的地案内について

車両ナンバーを設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両ナンバーを設定することができます。

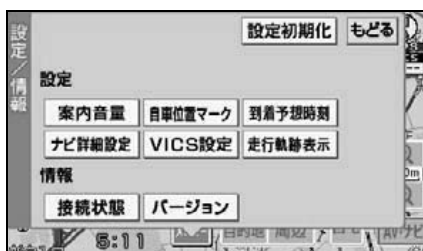
- 全ルート図表示画面の料金表示 (85 ページ参照)
- 全行程一覧表 (5ルート同時表示) の料金表示 (86 ページ参照)
- 料金案内表示画面の料金案内 (95 ページ参照)

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

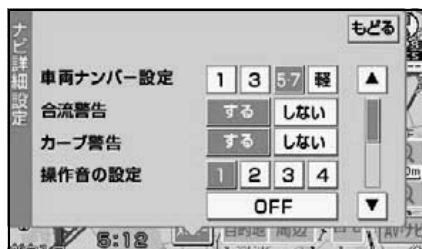
2 **設定 / 情報** にタッチします。



3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



4 車両ナンバー設定の分類番号 (**1** ・ **3** ・ **5・7** ・ **軽**) にタッチします。



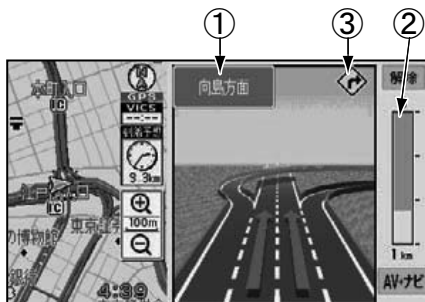
- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。

高速分岐案内 (ジャンクションレーンアシスト)

目的地案内中の現在地画面 (現在地がルート上にあるとき) で、高速道路を走行しているとき、分岐点 [出口インターチェンジ (IC)・ジャンクション (JCT)・サービスエリア (SA)・パーキングエリア (PA)] が近づくと、高速分岐モード図が自動的に表示されます。

チェック

マルチ画面の場合、ナビゲーション画面の部分は高速分岐案内 (ジャンクションレーンアシスト) のみの表示になります。



① 分岐点名称表示

インターチェンジ (IC) の出口名称、ジャンクション (JCT)、サービスエリア (SA)、またはパーキングエリア (PA) の方面名称が表示されます。

② 残距離表示

分岐点までの距離が表示されます。(分岐点に近づくとともに  が短くなります。)

③ カーブ案内・合流案内・区間料金案内の表示

区間料金を表示します。また、カーブや合流が近づくと、カーブ案内、または合流案内を表示します。

ワンポイント

- 高速分岐モード図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 次のようなときは、高速分岐モード図が表示されないことがあります。
 - ・ 目的地案内開始直後
 - ・ 目的地周辺

■ 高速分岐モード図を解除する

1 高速分岐モード図表示画面で、**解除** にタッチします。

- 高速分岐モード図が解除されます。



■ 高速分岐モード図を表示する

1 高速分岐モード図を解除したナビゲーション画面で、**拡大図** にタッチします。

- 高速分岐モード図が表示されます。



6. 目的地案内について

音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、カーブ・合流警告、高速道路の料金案内、インターチェンジ (IC)・パーキングエリア (PA)・サービスエリア (SA) の入口、出口、ジャンクション (JCT)、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を10方向 (右、左、ナナメ右、ナナメ左、右にもどる、左にもどる、右手前、左手前、もどる、直進) で音声案内します。音声案内はPCM音声 (肉声) で案内します。

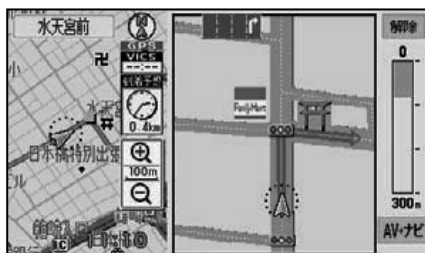
チェック

カーブ・合流の音声案内は、各道路形状警告が **する** に設定されているときに出力されます。(60 ページ参照)

1

現在地 を押します。

- 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



まもなく右方向です

【目的地案内中の音声案内の例】

● 一般道音声機能

交差点などで交差点名や残りの距離および方向などを案内します。

また、分岐点の直前でチャ임「ポンポン」が鳴ります。(ジャスト案内)

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ およそ700m先、〇〇を右方向です。
- ・ まもなく右方向です。

● カーブ・合流の音声案内

カーブや合流を事前に音声で案内します。(ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります。) また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます。(合流手前1km以内に分岐点などがある場合では案内しません。)

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ この先、カーブがあります。
- ・ この先、右からの合流があります。

● 高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ およそ〇〇km先、〇〇方向、〇〇方面です。

● 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ この先〇〇mで料金所です。料金は〇〇です。

【目的地に到着したときの音声案内の例】

音声案内例は、下記ようになります。

- ・ 目的地周辺です。この先注意して走行してください。

ワンポイント

- 音声案内は目的地周辺までの案内をします。実際の道路状況および交通規制に当たって走行してください。
- 目的地に到着する直前でルートからはすれ再探索された後、目的地に近づくと再度、音声案内されることがあります。
- 音声案内の音量は調節することができません。(51 ページ参照) ただし、**消音** を選んでいると、音声案内されません。

7. 案内ルートの操作

全ルート図の再表示

出発地から目的地までの全ルート図を表示することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **全ルート** にタッチします。

- 全ルート図表示画面になります。
- 再表示された全ルート図には、残りの距離、全料金が表示されます。



- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、「**全ルート図の表示・タッチスイッチについて**」(85ページ)を参照してください。
- **案内にもどる** にタッチすると、現在地画面になります。

ワンポイント

設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。

8. ルートの再探索

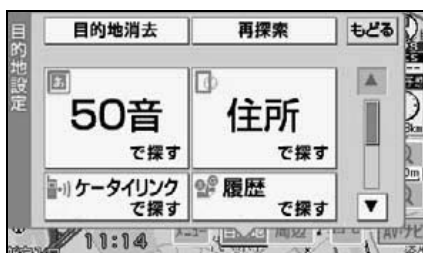
ルートの再探索

ルート案内中に、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**目的地** にタッチします。

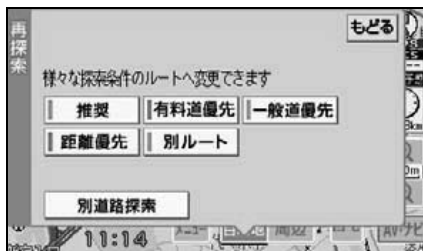


- 2 **再探索** にタッチします。



- 3 再探索させる項目（86 ページ参照）にタッチします。

- ルート探索が開始されます。



ワンポイント

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地に向かうルートが再探索されます。
- 「〇〇〇優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。大きく遠まわりになるようなときは、**有料道優先** にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、**一般道優先** にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。

この場合、**別道路探索** が表示されます。

別道路探索 にタッチすると、高架道路の上下や平行している道路でルートを訂正してルートを再探索することができます。

自動再探索

ルートからはずれ、案内可能な道路を走行しているときに、自動的に再探索を行います。再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

MEMO

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、お気に入り地点に分けて101カ所までお気に入り地点として登録することができます。（自宅1カ所を含みます。）

お気に入り地点には、46種類の記号、7種類の音声付き記号から選択して地点ごとに登録することができます。すべての地点には、名称、名称読みを設定することができます。

登録したお気に入り地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違って登録した場合は、修正および消去することができます。

（すでにお気に入り地点が100カ所登録されているときは、不要な地点を消去してから登録してください。）

■ 自宅

自宅は1カ所登録でき、1回の操作で自宅に帰るルートを探索することができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

■ お気に入り地点

お気に入り地点（自宅を含む）は、登録した記号、または登録順に並びかえて表示することができます。地点検索時などにリストから選択することができます。

● 音声付き記号

音声付きお気に入り地点には、次のような機能を持たせることができます。

・ 近づくと音、または音声で知らせる設定

ベル、チャイム、オルゴール、注意、スピード注意、登録地点接近

・ 近づく方向を限定して知らせる設定

方向付きメモリ

📖 ワンポイント

- 表示されるお気に入り地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録したお気に入り地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が自動で入力されることがあります。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

お気に入り地点の登録

お気に入りの場所を登録することができます。

■ワンタッチで登録する

現在、表示させている地図にお気に入り地点を登録することができます。

④ チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。

1 お気に入り地点を登録する位置に地図を動かし、**お気に入り** にタッチします。

● (または ⊕) の位置にお気に入り地点が ■ 記号で表示されます。



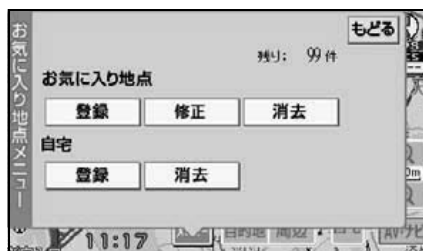
■離れた場所を登録する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **お気に入り地点編集** にタッチします。

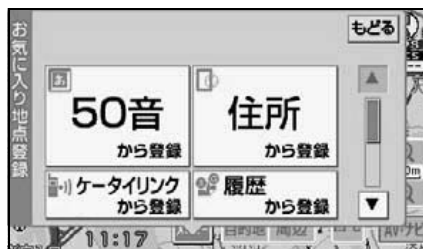


3 お気に入り地点の **登録** にタッチします。



4 地図の呼び出し方法を選び、お気に入り地点を登録する地点の地図を表示させます。

●「地図の呼び出し方法」(68ページ)、「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。



2. お気に入り地点の登録・修正・消去

5 **セット** にタッチします。



6 お気に入り地点に表示させたい記号にタッチします。

- お気に入り地点が登録されます。
- 記号の入力、修正については、「お気に入り地点の記号を変更する」(106ページ)を参照してください。



自宅の登録

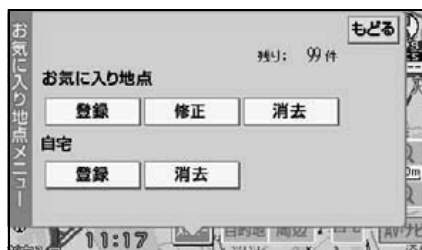
自宅を登録することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **お気に入り地点編集** にタッチします。



3 自宅の **登録** にタッチします。



4 地図の呼び出し方法を選び、自宅を登録する地点の地図を表示させます。

- 「地図の呼び出し方法」(68ページ)、「呼び出した地図の操作」(79ページ)を参照してください。



5 セット にタッチします。

- 自宅が登録されます。



お気に入り地点の修正・入力

登録したお気に入り地点は、お気に入り地点修正画面から記号(音声なし、音声付き、音声・方向付き)、名称、名称読みなどを修正、入力することができます。

■ お気に入り地点修正画面を表示する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**お気に入り地点編集** にタッチします。

- お気に入り地点メニュー画面が表示されます。

3 お気に入り地点メニュー画面で、お気に入り地点の **修正** にタッチします。

4 修正するお気に入り地点にタッチします。

- **記号順** にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。

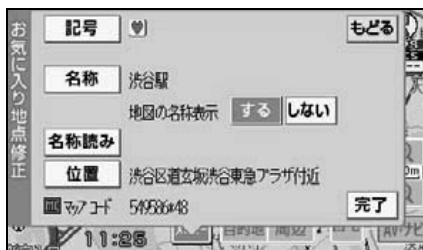
- **登録順** にタッチすると、お気に入り地点の登録順に並びかわります。



2. お気に入り地点の登録・修正・消去

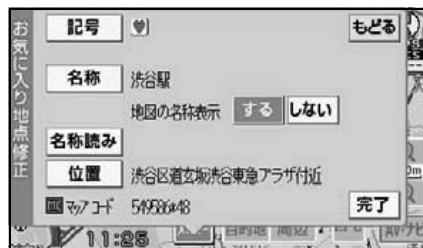
5 修正、入力する項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降を参照してください。
- ・「お気に入り地点の記号を変更する」(106ページ参照)
- ・「お気に入り地点の名称を入力する」(108ページ参照)
- ・「お気に入り地点の名称を表示する」(113ページ参照)
- ・「お気に入り地点の名称読みを入力する」(113ページ参照)
- ・「お気に入り地点の位置を修正する」(114ページ参照)



■ お気に入り地点の記号を変更する

- 1 お気に入り地点修正画面で、**記号** にタッチします。



- 2 変更する記号にタッチします。

- **音声付き** にタッチすると、音声付のマークに変更することができます。



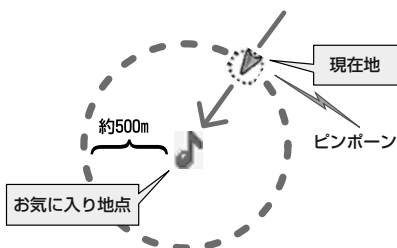
- 音声なし



- 音声付き

- **記号なし** にタッチすると、登録したお気に入り地点の記号を地図に表示されないので行うことができます。

- 音声付きの記号を選ぶと、お気に入り地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。

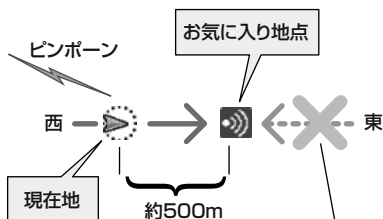


- **音確認** にタッチすると、それぞれの記号に近づいたときに鳴る音が出力されます。

方向付きを設定する場合

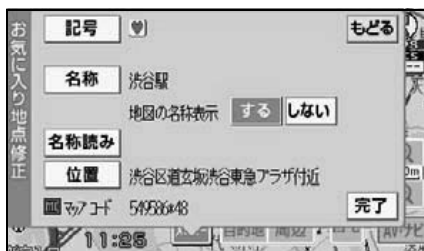
方向付き にタッチすると、設定した方向からお気に入り地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。

例えば、東西に走る道路では、西側からお気に入り地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。



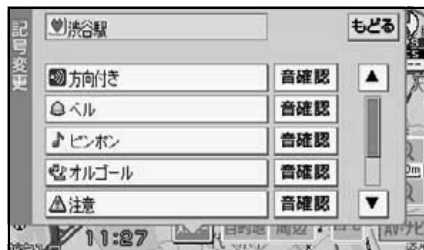
この方向から近づいたときは音が鳴りません

- 1 お気に入り地点修正画面で、**記号** にタッチします。



- 2 **音声付き** にタッチします。

- 3 **方向付き** にタッチします。



- 4 方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは 、時計まわりに動かすときは にタッチします。
- お気に入り地点が 記号で表示されます。



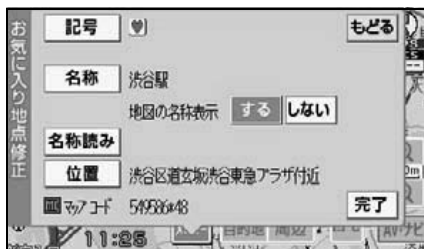
- 5 **セット** にタッチします。

- 6 **完了** にタッチします。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

■ お気に入り地点の名称を入力する

- 1 お気に入り地点修正画面で、**名称** にタッチします。



- 2 すでに名称が表示されているときは、**修正** にタッチして名称を消去します。



- ひらがな・漢字以外の文字を入力するときは、**文字** にタッチします。**文字** にタッチするたびに、下記の順で、各入力画面が切り替わります。

「ひらがな・漢字入力画面」→「カタカナ入力画面」→「アルファベット（記号）入力画面」→「数字入力画面」→「ひらがな・漢字入力画面」

ワンポイント

登録した地点によっては、すでにお気に入り地点の名称が入力されていることがあります。

ひらがな・漢字を入力するには

- 1 ひらがな・漢字入力画面で、文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

- ひらがな・漢字入力画面のときは、画面インジケータの「かな」が明るくなります。

- 文字の入力について

・ **あ** ～ **わ**、**ゐ**、**ー** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

・ **あ** ～ **わ** 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。

【例】

「あ」→「い」→「う」→「え」→「お」

・ **ゐ**、**ゑ**（濁音、半濁音）の文字入力スイッチにタッチすると、濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。

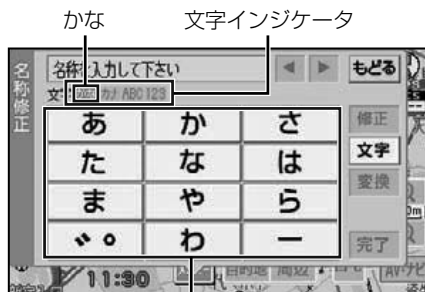
【例】

「ゐ」→「ゑ」

・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字を入力することができます。

・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

- **◀**、**▶** にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。



文字入力スイッチ

- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

2

ひらがなを入力するときは **確定**、漢字変換をするときは **変換** にタッチします。

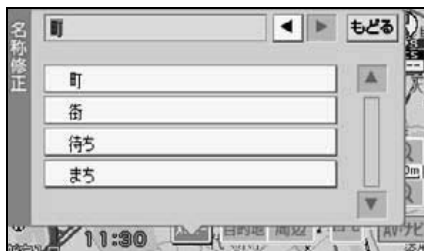
- 漢字変換リスト画面が表示されます。
- ひらがなのみの入力で終了する場合は、**4** の操作を行います。



3

漢字変換リスト画面で、入力する漢字、または熟語にタッチします。

- 漢字入力終了後、再度、ひらがな・漢字を入力する場合は、**1** から操作を行ってください。また、カタカナ、アルファベット、数字を入力する場合は、**文字** にタッチして入力画面を切り替えてください。



- 変換する文字の範囲を変更するときは、**◀**・**▶** にタッチして、範囲を変更します。



4

完了 にタッチします。

ワンポイント

- 入力することができる最大文字数は、12文字までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、12文字までです。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大 30文字です。

カタカナを入力するには

1

文字 にタッチして、カタカナ入力画面に切り替えます。

- 入力画面の切り替えについては、「**お気に入り地点の名称を入力する**」(108ページ)を参照してください。
- カタカナ入力画面のときは、文字インジケータの「カナ」が明るくなります。

2

カタカナ入力画面で、文字入力スイッチにタッチして、文字を入力します。

- 全角、半角の切り替えについて
カタカナの全角/半角を切り替えるときは、**全/半** にタッチします。**全/半** にタッチするたびに、全角、半角の順で入力画面が切り替わります。全角入力画面のときは文字インジケータの「全角」が、半角入力画面のときは「半角」が明るくなります。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

● 文字の入力について

- ・ **ア** ～ **ワ**、**ゝ**、**ー** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

- ・ **ア** ～ **ワ** 行の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字が順に送られ、入力されます。

[例]

「ア」→「イ」→「ウ」→「エ」→「オ」

- ・ **ゝ** (濁音、半濁音) の文字入力スイッチにタッチすると、濁音、半濁音が順に送られ、入力されます。

[例]

「ゝ」→「゜」

- ・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字を入力することができます。

- ・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

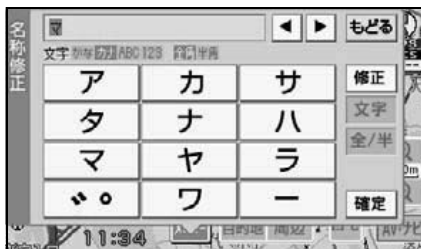
- **◀**・**▶** にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。



文字入力スイッチ

3 入力文字が確定したら、**確定** にタッチします。

- カタカナ入力終了後、再度、カタカナを入力する場合は、**1** から操作を行ってください。また、ひらがな・漢字、アルファベット、数字を入力する場合は、**文字** にタッチして、入力画面を切り替えてください。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 入力することができる最大文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、全角12文字（半角24文字）までです。
- 未確定状態での入力可能な文字数は最大30文字です。

アルファベット（記号）を入力するには

1 **文字** にタッチして、アルファベット（記号）入力画面に切り替えます。

- 入力画面の切り替えについては、「お気に入り地点の名称を入力する」（108ページ）を参照してください。
- アルファベット（記号）入力画面のときは、文字インジケータの「ABC」が明るくなります。

2

アルファベット（記号）入力画面で、文字入力スイッチにタッチして、文字、または記号を入力します。

● 全角、半角の切り替えについて

アルファベット（記号）の全角/半角を切り替えるときは、**全/半** にタッチします。**全/半** にタッチするたびに、全角、半角の順で入力画面が切り替わります。全角入力画面のときは文字インジケータの「全角」が、半角入力画面のときは「半角」が明るくなります。

● 大文字、小文字の切り替えについて

アルファベット（記号）の大文字/小文字を切り替えるときは、**大/小** にタッチします。**大/小** にタッチするたびに、大文字、小文字の順で入力画面が切り替わります。大文字入力画面のときは文字インジケータの「大」が、小文字入力画面のときは「小」が明るくなります。

● 文字、記号の入力について

・ **@',., ABC ~ !?()** のいずれかの文字入力スイッチにタッチして、名称を入力します。

・ **@',., ABC ~ !?()** の同じ文字入力スイッチを続けてタッチすると、文字、または記号が順に送られ、入力されます。

【例】

「A」→「B」→「C」

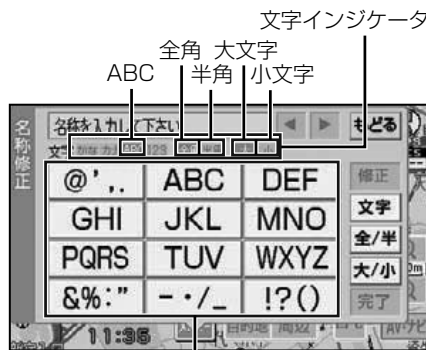
【例】

「@」→「!」→「,」→「.」

・ 入力している文字入力スイッチ以外の文字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の文字、または記号を入力することができます。

・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1 つずつ消去されます。

- **◀**・**▶** にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。



文字入力スイッチ

3

入力文字が確定したら、**確定** にタッチします。

- アルファベット入力終了後、再度、アルファベットを入力する場合は、**1** から操作を行ってください。また、ひらがな・漢字、カタカナ、数字を入力する場合は、**文字** にタッチして、入力画面を切り替えてください。



4

完了 にタッチします。

ワンポイント

- 入力することができる最大文字数は、全角 12 文字（半角 24 文字）までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、全角 12 文字（半角 24 文字）までです。
- 未確定状態での入力可能な文字数は最大 30 文字です。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

数字を入力するには

1

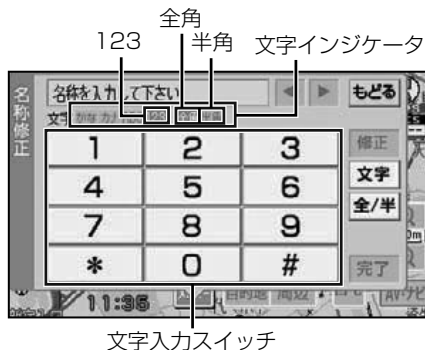
文字 にタッチして、数字入力画面に切り替えます。

- 入力画面の切り替えについては、「**お気に入り地点の名称を入力する**」(108ページ)を参照してください。
- 数字入力画面のときは、文字インジケータの「123」が明るくなります。

2

数字入力画面で、数字入力スイッチにタッチして、数字を入力します。

- 全角、半角の切り替えについて
数字の全角/半角を切り替えるときは、**全/半** にタッチします。**全/半** にタッチするたびに、全角、半角の順で入力画面が切り替わります。全角入力画面のときは文字インジケータの「全角」が、半角入力画面のときは「半角」が明るくなります。
- 数字の入力について
 - ・ **1** ~ **0**、*****、**#** のいずれかの数字入力スイッチにタッチして、数字を入力します。
 - ・ 入力している数字入力スイッチ以外の数字入力スイッチにタッチすると、カーソルが移動し、次の数字を入力することができます。
 - ・ 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。
- **◀**・**▶** にタッチすると、カーソルの位置を変更することができます。



文字入力スイッチ

3

入力数字が確定したら、**完了** にタッチします。



ワンポイント

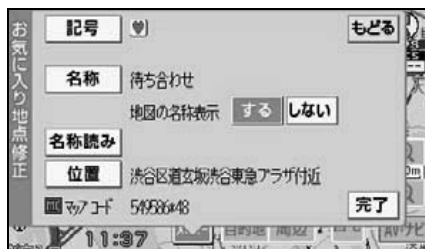
- 入力することができる最大文字数は、全角12文字(半角24文字)までです。
- 地図上に表示できる名称の最大文字数は、全角12文字(半角24文字)までです。
- 未確定状態での入力可能な文字数は最大30文字です。

■ お気に入り地点の名称を表示する

入力したお気に入り地点の名称を地図に表示させることができます。



1 お気に入り地点修正画面で、地図の
名称表示の **する**、または **しない**
にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

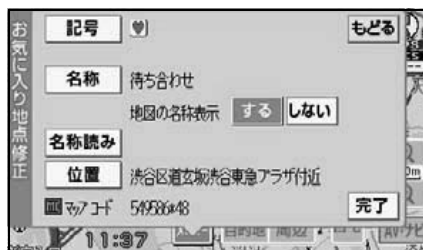
■ お気に入り地点の名称読みを入力する

お気に入り地点に名称読みを入力することができます。



名称読みは、カタカナ（半角）のみの入力になります。

1 お気に入り地点修正画面で、**名称読み** にタッチします。



2 名称を入力します。

- カタカナの入力については、「**カタカナを入力するには**」(109ページ)を参照してください。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

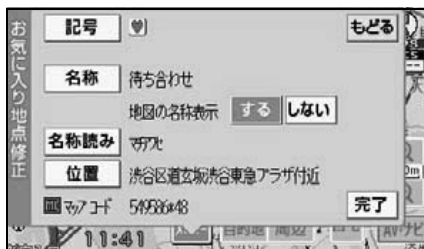
 ワンポイント

入力することができる名称読みの文字数は、
最大24文字（半角のみ）までです。

2. お気に入り地点の登録・修正・消去

■ お気に入り地点の位置を修正する

- 1 お気に入り地点修正画面で、**位置** にタッチします。



- 2  にタッチして、お気に入り地点を修正する位置に地図を動かします。



- 3 **セット** にタッチします。

-  の位置にお気に入り地点が **1** で表示されている記号で表示されます。
- 位置を修正すると、**1** で表示されている住所とマップコードも修正されます。

- 4 **完了** にタッチします。

お気に入り地点の消去

お気に入り地点、または自宅を消去することができます。

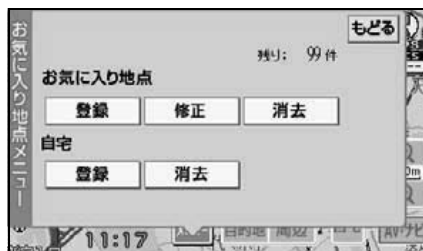
■ お気に入り地点を消去する

- 1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

- 2 ナビメニュー画面で、**お気に入り地点編集** にタッチします。

- 3 お気に入り地点の **消去** にタッチします。



4 消去するお気に入り地点にタッチします。

- **登録順** にタッチすると、登録した順にリストが並びかわります。
- **記号順** にタッチすると、記号の種類順にリストが並びかわります。
- すべてのお気に入り地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 消去する にタッチします。



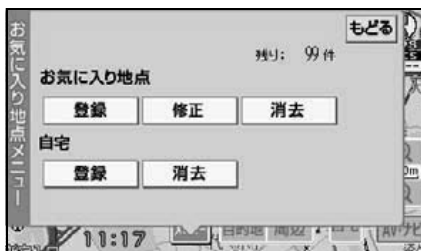
■ 自宅を消去する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- ナビメニュー画面が表示されます。

2 ナビメニュー画面で、**お気に入り地点編集** にタッチします。

3 自宅の **消去** にタッチします。



4 消去する にタッチします。

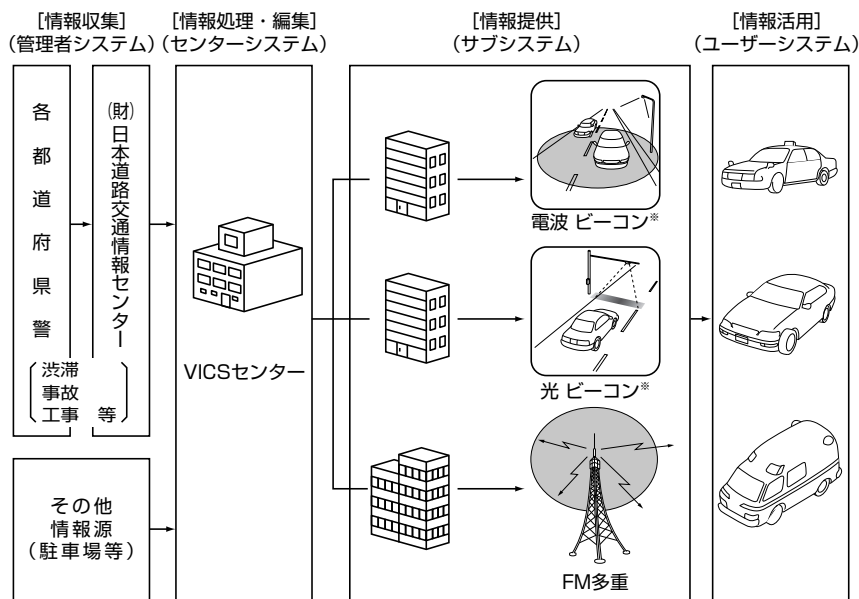


1. VICS 情報について

VICS とは

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



※ 本機は、電波ビーコン、光ビーコンの受信に対応していません。

VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

VICSおよび本機に付与された  のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICSのメディア概要

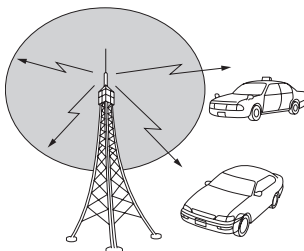
VICSは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。

本機では、内蔵のFM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。ただし、オーディオOFF時や、NHK-FM以外のラジオをお聞きになっているときは、FM多重放送（VICS情報）を受信することができません。（VICS情報の受信については「**VICS提供放送局の選択**」（120ページ）を参照してください。）

本機は、電波ビーコン、光ビーコンの受信に対応していません。

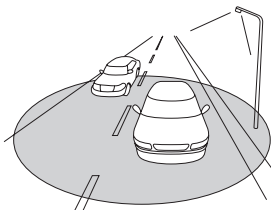
● FM多重

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



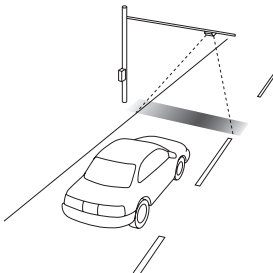
● 電波ビーコン（本機は、電波ビーコンの受信に対応していません。）

※ 電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



● 光ビーコン（本機は、光ビーコンの受信に対応していません。）

※ 光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



1. VICs 情報について

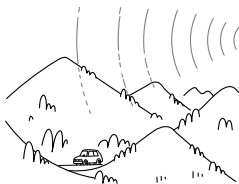
■ VICs 特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
(提供される情報は最新でない場合があります。)
- VICs の表示内容は、VICs センターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。
- 電波がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信できれば正しい表示に更新されます。

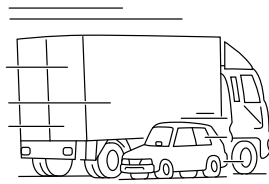
FM 多重放送特有の事項



- ① 高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。



- ② 盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。



- ③ トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

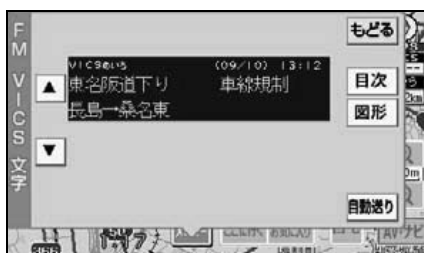
■ VICS地図情報（レベル3）

- ### ● 地図情報表示画面



■ VICS文字情報（レベル1）

- ### ● 文字情報表示画面



■ VICS図形情報（レベル2）

- ### ● 簡易凶形情報表示画面



 ワンポイント

- 情報が受信できない場合など、VICS 情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

2. 放送局の受信

VICS 提供放送局の選択

VICS 情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

チェック

- お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合は、ラジオアンテナの設定を **上げる** にしてください。「ラジオアンテナの設定」(42ページ参照)
- オーディオ OFF 時や、NHK-FM 以外のラジオをお聞きになっているときは、FM 多重放送 (VICS 情報) を受信することができません。

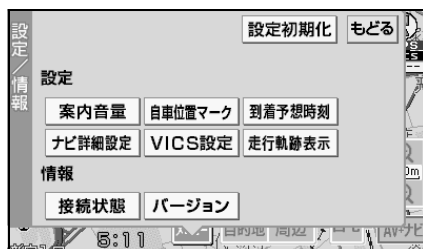
- 1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。



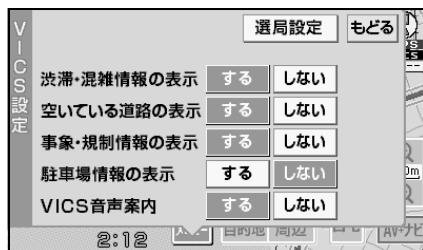
- 2 **設定 / 情報** にタッチします。



- 3 **VICS 設定** にタッチします。

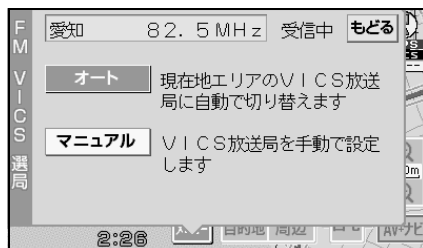


- 4 **選局設定** にタッチします。



- 5 **オート**、または **マニュアル** にタッチします。

- **オート**
…自動で選択します。
- **マニュアル**
…手動 (エリアまたは周波数) で選択します。
- 初期設定は、**オート** が選択されています。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局 (または放送エリア) を選択してください。



■ 自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 **オート** にタッチします。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチの色が明るくなります。



■ エリアで選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。



3 **もどる** にタッチします。

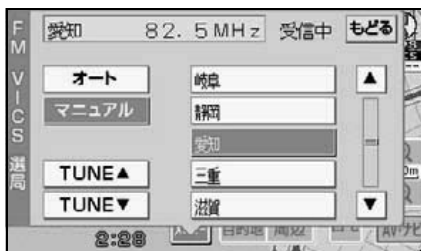
■ 周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 **マニュアル** にタッチします。

2 **TUNE▲**、または **TUNE▼** にタッチして、放送局の周波数を選びます。

- 放送局が受信されると、「受信中」が表示されます。



3 **もどる** にタッチします。

2. 放送局の受信

ワンポイント

- 通常は **オート** でご使用ください。
- VICS 情報が受信できる代表的な周波数（2008年3月現在）

北海道（旭川地区 85.8MHz）（函館地区 87.0MHz）（札幌地区 85.2MHz）
 （室蘭地区 88.0MHz）（釧路地区 88.5MHz）（帯広地区 87.5MHz）
 （北見地区 86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

- 新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。
- VICS 情報のサービスエリアについては、「**VICS 情報有料放送サービス契約約款**」(239ページ)を参照してください。
- VICS システムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICS リンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年でVICS 地図情報（レベル3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。
 最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。
 情報提供サービス維持のため、変更前のVICS リンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。
- VICS FM 多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM 多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

3. VICs 情報の表示・案内

VICs 情報表示の設定

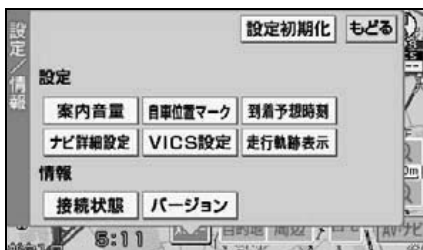
地図に表示するVICs 地図情報（レベル3）を設定することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。

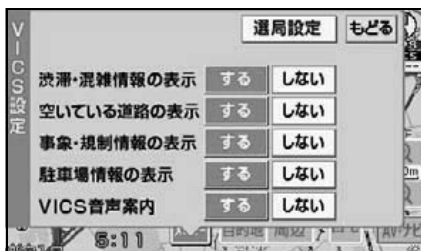


3 **VICs 設定** にタッチします。



4 VICs 情報を表示させる項目の**する**、または**しない** にタッチします。

- VICs マーク（130 ページ参照）は、事象・規制情報の表示、または駐車情報の表示が**する** に設定されていないと表示されません。
- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

VICs 対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性がある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

3. VICs 情報の表示・案内

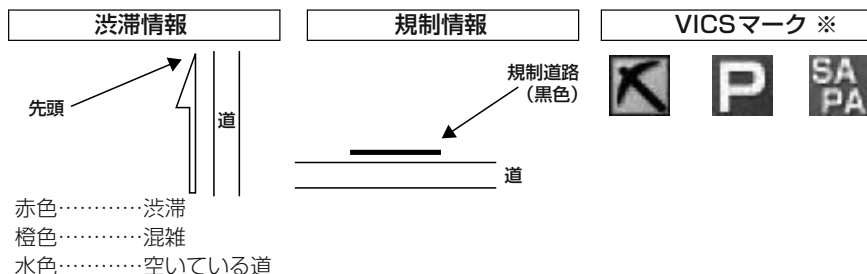
VICs 情報の表示

地図に VICs 情報（渋滞・規制情報、VICs マーク）を表示させることができます。

- VICs 情報が受信されると、タイムスタンプに VICs 情報が提供された時刻が表示され、VICs 情報が表示されます。
- タイムスタンプの表示は下記になります。

 表示中の地図に VICs 地図情報（レベル3）がある場合

 VICs 情報を受信していない場合（タイムスタンプ内の VICs の文字がトーンダウンします。）



※ 規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）情報の詳細については「地図に表示される VICs 表示マークについて」（130 ページ）を参照してください。



● VICs 情報表示画面

チェック

800m スケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。

ワンポイント

VICs マークによっては、200m スケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。

■ VICS情報を地図表示する

VICS情報を表示させる道路を選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。



3 **全道路**（一般道・有料道路）・**高速道のみ**（有料道路のみ）・**一般道のみ**（一般道のみ）のいずれかにタッチします。



■ VICSマークの内容表示について

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

1 VICSマークにタッチします。

- VICSマークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。



ワンポイント

- タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
- VICS情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動的に消去されます。
- VICSマークによっては、内容が表示されないVICSマークもあります。

■ VICS情報を消去する

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。

3 **非表示** にタッチします。

- VICS情報が表示されなくなります。



3. VICs 情報の表示・案内

渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、約10km以内のルート上のVICs情報（渋滞・規制案内）を音声でお知らせします。

また、音声を聞き逃したときは、**現在地** を押すと、もう一度音声を聞くことができます。

【音声案内の例】

- VICs 渋滞表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」
- VICs マークのある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

■ 渋滞・規制の音声自動発声を設定する

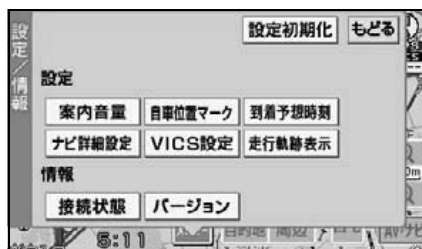
VICs 渋滞・規制音声自動発声をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。

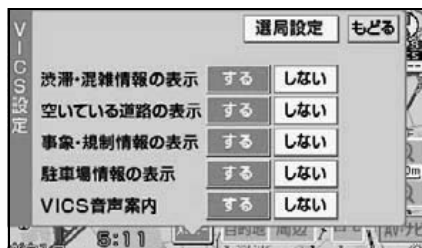


3 **VICs 設定** にタッチします。



4 VICs 音声案内の **する**、または **しない** にタッチします。

- 設定完了後、**もどる** にタッチすると設定は記憶され、直前の画面にもどります。



VICS図形情報の表示

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

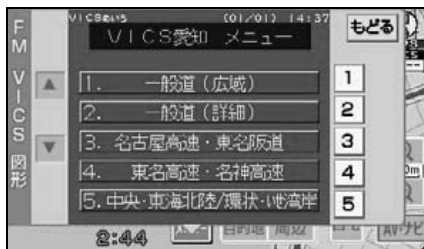
2 **VICS** にタッチします。



3 **FM図形** にタッチします。



4 表示させる図形情報の番号にタッチします。



5 **▲**、または **▼** にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- **▲**、または **▼** にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りでできません。）
- 図形情報の自動送りを停止するときには **停止** にタッチします。
また、自動送りに **▲**、または **▼** にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、目次にもどります。



3. VICIS 情報の表示・案内

VICIS 文字情報の表示

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

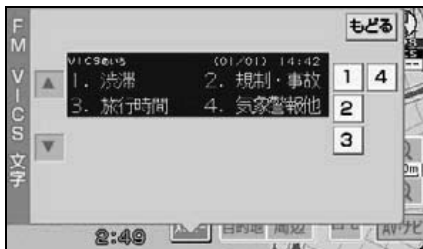
2 **VICIS** にタッチします。



3 **FM文字** にタッチします。

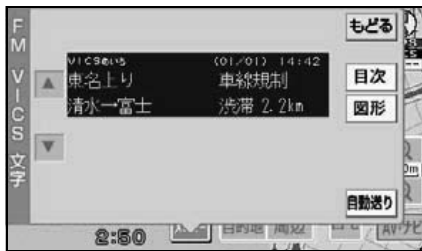


4 表示させる文字情報の番号にタッチします。



5 ▲、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。（走行中は自動送りでできません。）
- 文字情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送りに ▲、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- **図形** にタッチすると、VICIS 図形情報が表示されます。
- **目次** にタッチすると、目次にもどります。



割り込み情報（一般緊急情報）の表示

緊急情報を受信したときは他の情報より優先して割り込み表示されます。**割込情報** から再表示することができます。

1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **VICS** にタッチします。



3 **割込情報** にタッチします。

- 緊急情報が再表示されます。



ワンポイント

緊急情報は、文字情報の表示のみになります。

3. VICIS 情報の表示・案内

地図に表示されるVICIS表示マークについて

VICIS 情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
 (青色)	注意
 (黒色)	注意 (地震警戒宣言)
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
 (青色)	駐車場 空
 (赤色)	駐車場 満
 (橙色)	駐車場 混雑
 (黒色)	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30km/h
 (青色)	SA PA 情報 空
 (赤色)	SA PA 情報 満
 (橙色)	SA PA 情報 混雑
 (黒色)	SA PA 情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して1つのマークで表示することがあります。

VICISの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

■ 交通情報関連の用語

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

■ 駐車場情報関連の用語

- 満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
- 混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
- 空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
- 不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICISの問い合わせ先

- VICIS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して

- 地図表示（レベル3）の内容に関して

- VICIS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 文字表示（レベル1）の内容に関して

- 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して

- VICISの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、（財）VICISセンター（東京）までご連絡ください。

電話受付 <受付時間 09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く>

電話番号 0570-00-8831（全国）

（全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。）

※ PHSからはご利用できません。

FAX受付 <受付時間 24時間>

FAX番号 03-3592-5494（全国）

VICISの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL： <http://www.vics.or.jp/>

なお、お問い合わせ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

1. バックアイカメラの操作

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映すことができます。

⚠ 注意

バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見ると同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意ください。

⚠ 重要

高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

📖 ワンポイント

- バックアイカメラを過信しないでください。
- バックアイカメラは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- 以下のような状況では使用しないでください。
 - ・ 凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
 - ・ 坂道など平坦でない道路
 - ・ バックドアが完全に閉まっていないとき
 - ・ タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- 寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- 太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- 写真は一例です。ディスプレイに映る範囲は車種によって異なります。
- バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- 太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- 長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。

- 50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックアイカメラの映像を映す

1 バックギアにシフトします。

- バックアイカメラの画面に切り替わります。
- バックギア以外にシフトすると、後方の映像を映す前に表示されていた画面にもどります。

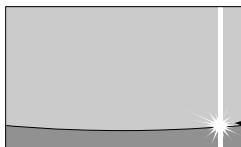


ワンポイント

- 車や路面の状況により、映る範囲は異なる場合があります。
- カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- 後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。

- 次のようなときは、画面が見づらくなる場合がありますが、異常ではありません。
 - ・ 暗いところ（夜間など）。
 - ・ レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
 - ・ カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
 - ・ カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
 - ・ 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
 - ・ 高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスマヤ現象※が発生することがあります。

<画面の状況>



※ スマヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

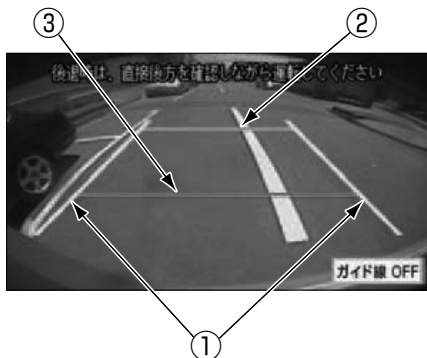
ガイド線の表示

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。

■ 表示線の見方について

バックギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。

1. バックアイカメラの操作



- ① 黄色
車幅＋約20cmの目安を示します。
- ② 橙色
車両後端より約2mの位置を示します。
- ③ 赤色
車両後端より約50cmの位置を示します。

■ ガイド線の設定・調整

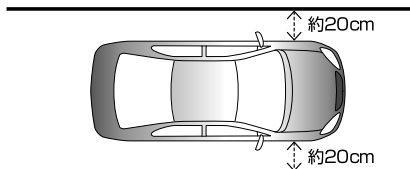
⚠ 警告

- 車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
- ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

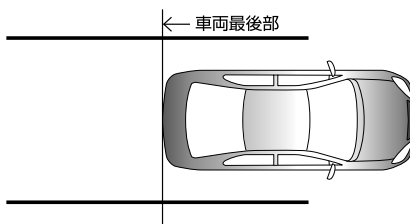
🔍 チェック

- ガイド線を表示する場合は、必ず車両に合わせた調整をしてください。
- BEC308、またはBEC309を接続している場合、ガイド線の設定は通常モード、または俯瞰（ふかん）モードのどちらかに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示するときは、ガイド線の表示を解除してください。（135 ページ参照）

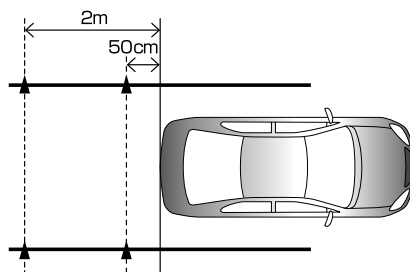
- 1 車両の幅＋両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつけます。



- 2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に直線の目印をつけます。



- 3 車両最後部から50cmおよび2m離れた左右4カ所をマーキングします。



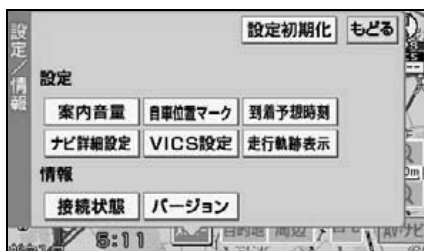
- 4 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

- 5 **設定/情報** にタッチします。



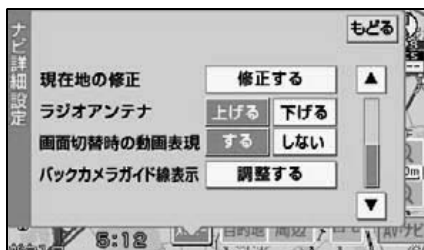
6

ナビ詳細設定 にタッチします。



7

バックカメラガイド線表示の
調整する にタッチします。



8

ポイント切替 にタッチします。

- 選択する  (ポイント) は、**ポイント切替** にタッチすることにより切り替わります。
- 選択した  (ポイント) が緑色になります。

9

調整する  (ポイント) にタッチします。



10

↓、**↑**、**←**、**→** にタッチし、マーキングした4点と合わせます。

- 矢印 (**↓**、**↑**、**←**、**→**) を約1秒押し、連続してポイントが移動します。

11

完了 にタッチします。

ワンポイント

- **初期値** にタッチした後、**はい** にタッチすると初期設定にもどります。
- ポイント調整時、各ポイントの最大調整可能範囲にすると、矢印の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

オプション

6

■ ガイド線の表示を解除する

1

ガイド線 OFF にタッチします

- ガイド線の表示が解除されます。
- 再度、ガイド線を表示するときは、**ガイド線 ON** にタッチします。



1. 補正が必要なとき

実際の現在地と異なる場所に自転車マーク  が表示されている（自転車マーク  がずれている）とき、自転車マーク  の位置と向いている方向を手動で修正することができます。

ただし、地図の自転車マーク  がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

- タイヤを交換したときは、自動で距離補正が行われます。

現在地の修正

■ 手動で補正する

チェック

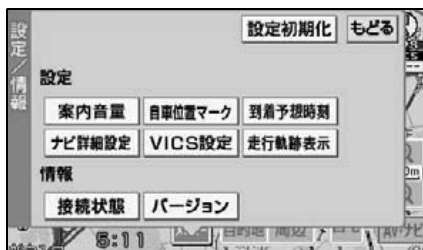
800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

- 1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

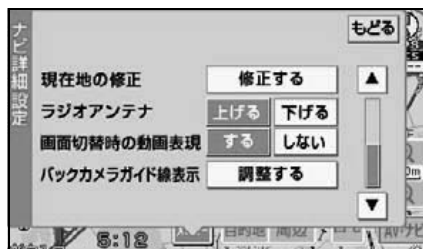
- 2 **設定 / 情報** にタッチします。



- 3 **ナビ詳細設定** にタッチします。



- 4 現在地の修正の **修正する** にタッチします。



- 5  にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。



- 6 **セット** にタッチします。

7 方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは 、時計まわりに動かすときは  にタッチします。



8 セット にタッチします。

ワンポイント

走行中、ナビゲーションの自転車マーク  の進み方と、実際の車の進み方が違っているときは、自動的に自転車マーク  の進み方を修正（距離の補正）します。「接続状態情報の表示」（139ページ参照）

自動補正されない場合は、販売店で点検を受けてください。

2. 地図データの情報

地図データの情報表示

地図“SDメモリーカード”に収納されている地図データのバージョンや使用データなどの情報を見ることができます。

下の画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類によって表示内容が異なります。

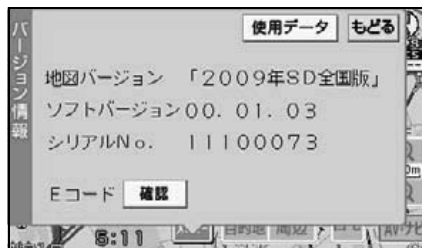
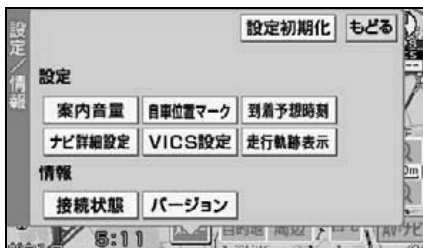
1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。



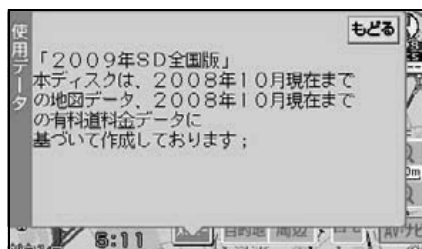
3 **バージョン** にタッチします。

- 地図データのバージョン情報画面が表示されます。



- バージョン情報画面

- **使用データ** にタッチすると、使用データ画面が表示されます。



- 使用データ画面

ワンポイント

Eコードの **確認** にタッチすると、Eコード読み込み画面が表示され、2010年夏よりインターネット経由で地図データの更新を行うための情報が取得できる予定です。

詳細については、下記URLへアクセスしてください。

<http://www.e-iserv.jp/top/index.html>



- Eコード読み込み画面

3. 接続状態情報の表示

GPS 情報、車速パルス、パーキング信号など、本機と車両との接続状態を確認することができます。

接続状態情報画面の表示

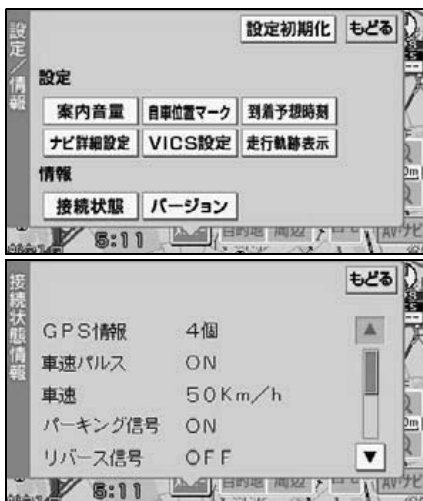
1 ナビゲーション画面で、**メニュー** にタッチします。

2 **設定 / 情報** にタッチします。

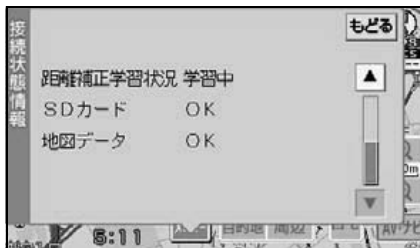


3 **接続状態** にタッチします。

● 接続状態情報画面が表示されます。



● 接続状態情報画面 (1 ページ目)



● 接続状態情報画面 (2 ページ目)

項 目		内 容
GPS 情報		GPS 衛星の受信個数。
車速パルス	ON	走行している状態。
	OFF	停止している状態。
車速		速度の表示。
パーキング信号	ON	パーキングブレーキがかかっている状態。
	OFF	パーキングブレーキがかかっていない状態。
リバース信号	ON	バックギアにシフトしている状態。
	OFF	バックギア以外にシフトしている状態。
距離補正学習状況	未学習	距離補正を行っていない状態。
	学習中	距離補正を自動で行っている状態。
	完了	距離補正が終了した状態。
SD カード	OK	“SD メモリーカード” が差し込まれている状態。
	NG	“SD メモリーカード” が差し込まれていない状態。
地図データ	OK	“SD メモリーカード” の地図データの読み込みが正常な場合
	NG	“SD メモリーカード” の地図データの読み込みが異常な場合

※ ナビゲーションの取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示することができません。

4. 精度と誤差

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

GPS衛星の電波の性質と受信状態について

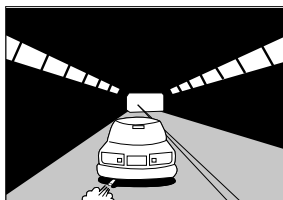
GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

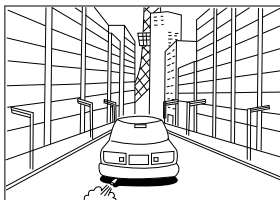
チェック

- GPS衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。

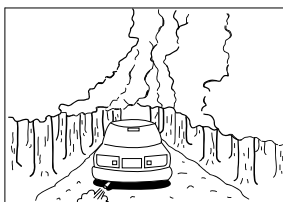
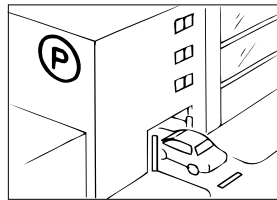
トンネルの中



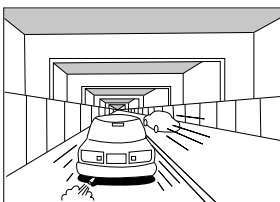
高層ビルなどの障害物で
周囲を囲まれたところ



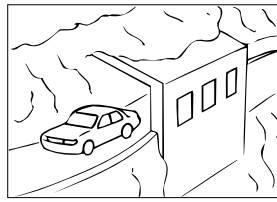
建物の中や地下、屋内駐車場



樹木などが密集しているところ



高架道路の下



崖下の道、洞門

現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

チェック

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。（136 ページ参照）

タイヤによる誤差について

本機では自車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）している
ので、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。（自動で距離補正が行われます。）
- 距離補正の学習中のとき。

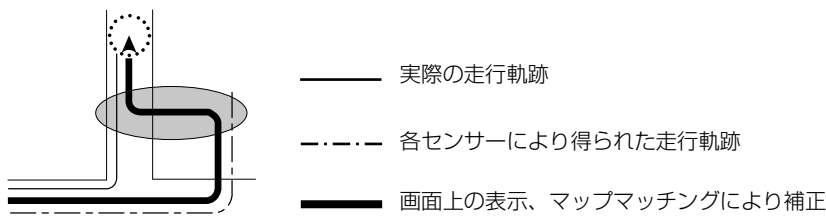
マップマッチングによる自車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比
較して、最も適切な道路に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせ得られた現在地の情報を、道路形状に合わせ
て補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地
が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車マークがずれる場合があ
ります。



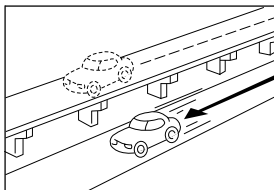
ワンポイント

本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自車マークが実際と
異なる動きをすることがあります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻
ります。

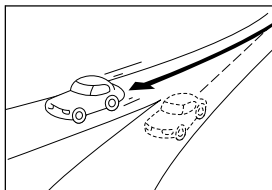
4. 精度と誤差

現在地表示、ルート案内の精度について

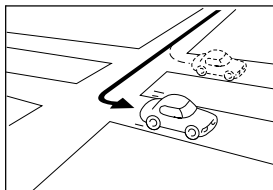
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



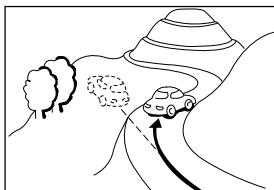
並走している道路に現在地が表示される。



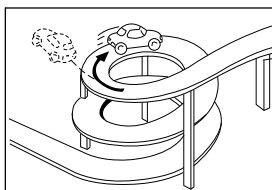
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



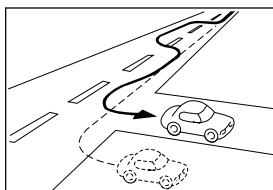
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



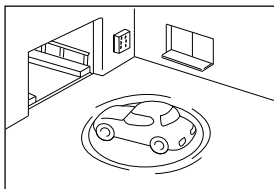
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



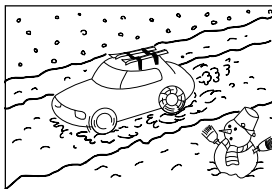
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



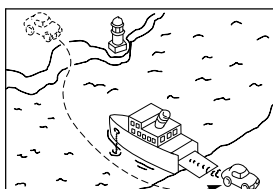
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



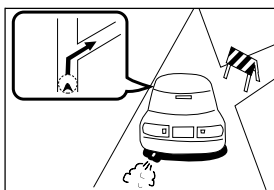
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



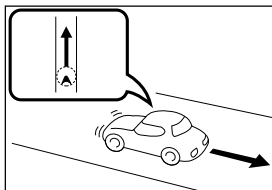
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



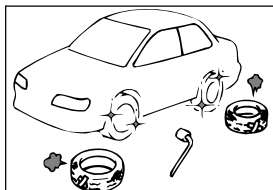
フェリーなど、自転車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路（進入禁止など）を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。

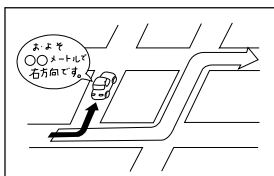


タイヤを交換した場合、自転車マークがずれて表示される。

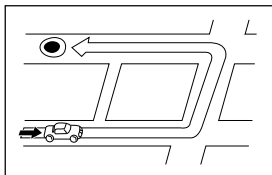
道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

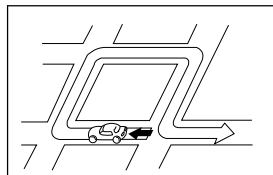
ルート案内について



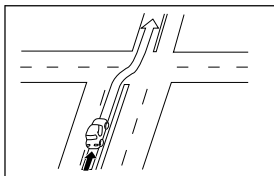
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



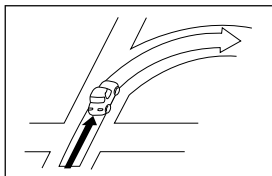
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



Uターンするルートを案内する場合があります。

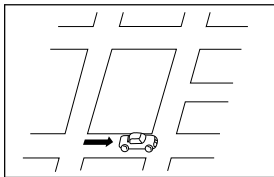


直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)

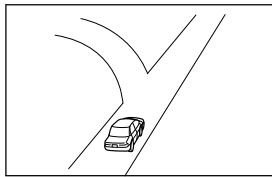


交差点で曲がるのに案内のない場合があります。

4. 精度と誤差



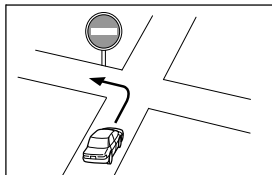
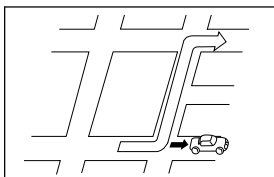
ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。



方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。



ルート探索完了



実際の交通規則にしたがって運転してください。

- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自転車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
(「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです)

オーディオ・ビジュアル

はじめに

I

基本操作

II

オーディオ

III

ビジュアル

IV

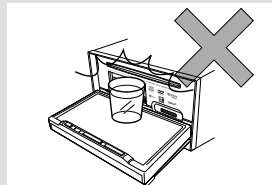
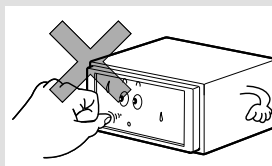
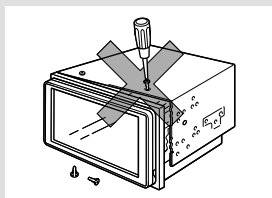
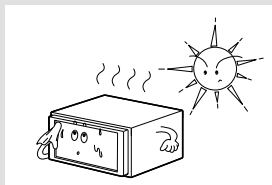
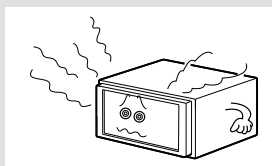
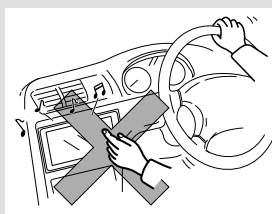
ボタンの

V

1. ご使用になる前に

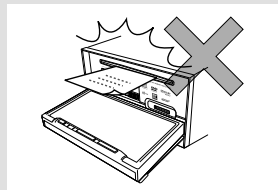
⚠ 注意

- 走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。
交通事故の原因となります。
- 故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。
- 車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。
故障の原因となります。
- 分解、改造はしないでください。
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。
- モニターに強い力を加えたりしないでください。
故障の原因となります。
- モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。
故障の原因となります。

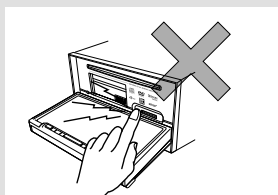


- 差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。

故障の原因となります。



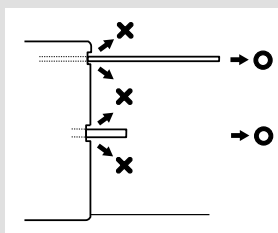
- モニター収納時指などを差し込まないように注意してください。ケガをしたり、故障の原因となります。



- 本機からディスクまたは“SDメモリーカード”を取り出すときは水平方向に引き出してください。

上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。

ディスクに傷がつき、音とびをしたり、“SDメモリーカード”を破損するおそれがあります。



1. ご使用になる前に

ディスクについて

⚠ 重要

本機は8cm CD/DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。

📖 ワンポイント

- 寒いときや雨降りのかきは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。
- プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますので買い上げの販売店にご相談ください。（227 ページ参照）
- 悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

■ 使用できるディスクについて

- 音楽用CD・映像用DVD は下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVD ビデオフォーマットに準じて記録されたDVD±R/RWディスクや、DVDビデオレコーディング（VR）フォーマットに準じて記録されたDVD-R/RW ディスクも再生することができます。



- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生できません。（MP3/WMAは除く）
- DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD±R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。

- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



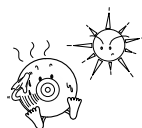
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



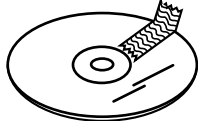
- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSが混在のMixed Mode CDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。

■ ディスクの取扱いについて

- ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



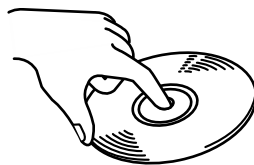
- 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



- ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



- 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。



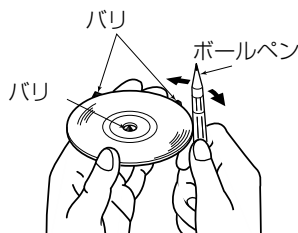
- 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



1. ご使用になる前に

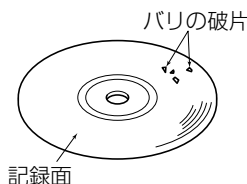
■ 新しいディスクについて

- 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。



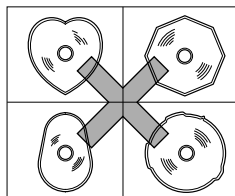
■ レンタルディスクについて

- ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



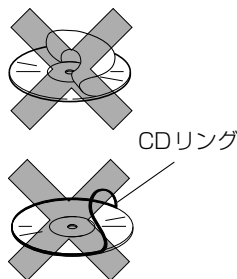
■ 特殊形状のディスクについて

- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



■ ディスクのアクセサリについて

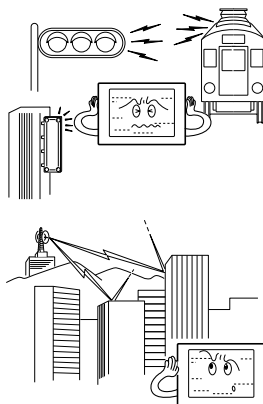
- 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリ（スタビライザー、保護シールなど）、CDラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。
- 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリ（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



地上デジタルTV放送について

ワンポイント

- 車載器での地上デジタルTV放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
 - ・ 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - ・ 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
 - ・ ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。
 - ・ トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - ・ 一部の地域において、地上デジタルTV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声かとぎれる場合があります。



1. ソースの切り替え方

ソースを切り替える

1 オーディオ操作画面のオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。

- マルチ画面でも切り替えることができます。
- ナビゲーション画面の場合は、**AV+ナビ** にタッチします。

オーディオソース切り替えスイッチ



操作画面の表示

1 **♪AV** を押します。

- ナビゲーション画面の場合は、**AV+ナビ** にタッチし、マルチ画面にしてから **♪AV** にタッチします。
- 地デジ、DVDまたはVTRがフル映像表示の場合は、画面にタッチします。



2. 各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

● ラジオ（AM）操作画面



● DVDプレーヤーの操作画面



● ラジオ（FM）操作画面



● 地デジ操作画面



● CDプレーヤー操作画面



● iPod操作画面（別売）



● MP3/WMAプレーヤー操作画面



● 外部入力操作画面（別売）



3. 音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- **+** (右側) :
音量UP (大きくなる)
- **-** (左側) :
音量DOWN (小さくなる)
- **+** を1秒以上押すと、連続して音量が上がります。
- **-** を1秒以上押すと、連続して音量下がります。



VOLスイッチ

ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 調整レベルは0～80です。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- DVD、または外部入力を再生中に音量を調整すると、それぞれのモード用の音量レベルとして記憶させることができます。
- DVD、または外部入力を再生中に調整した音量レベルは、他のオーディオモードでは、機能しません。それぞれのモードの前に使用していたオーディオモードで調整した音量レベルになります。

4. 音質の調整

音質の設定や、音量バランスなどを調整することができます。

音設定画面の表示

各オーディオの操作画面から音設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 音量バランスの調整
- ラウドネスの設定
- 音質の調整

1 各オーディオ操作画面で、**音設定** にタッチします。



音量バランスの調整

前後、左右の音量バランスを調整することができます。

1 □内のお好みの場所にタッチします。

- バランス調整スイッチの **▲**、**▼**、**◀**、**▶** のいずれかにタッチすると、数値が1ずつ変化します。
- バランス調整スイッチの **▲**、**▼**、**◀**、**▶** のいずれかにタッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度バランス調整スイッチのいずれかにタッチしてください。
- 調整完了後、**もどる** にタッチすると調整は記憶され、直前の画面にもどります。



4. 音質の調整

ラウドネスの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

- 1 音設定画面で、ラウドネスの **ON**、または **OFF** にタッチします。

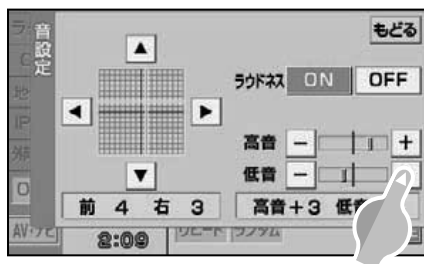
- 設定完了後、**もどる** にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



音質の調整

低音域、高音域の音質を調整することができます。

- 1 高音、低音の **-**、または **+** にタッチします。
- タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 **-**、または **+** にタッチしてください。
 - 調整できる最大値は低音、高音ともに +6、最小値は低音、高音ともに -6 です。
 - 調整完了後、**もどる** にタッチすると調整は記憶され、直前の画面にもどります。



5. 画面の設定

画面モード切り替え

チェック

DVD・外部入力設定画面で画面モードを切り替えることができます。

1 映像設定画面を表示させます。

- 映像設定画面は下記の操作で表示させることができます。

DVD :

各種切替画面で、**ワイド切替** にタッチ
外部入力 :

操作画面で、**外部入力設定** にタッチ

2 **○標準**、**○ワイド**、または
()ズーム にタッチします。



● 標準モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



● ワイドモード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



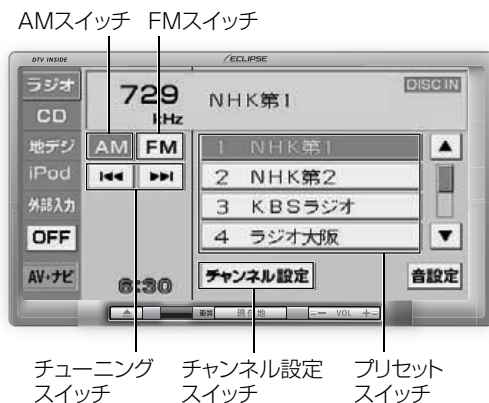
● ズームモード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

ワンポイント

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1. ラジオの使い方



ラジオを聞く

1

ラジオ にタッチします。

- ラジオ操作画面が表示されます。



2

AMラジオを受信するときは **AM** に、FMラジオを受信するときは **FM** にタッチします。



聞きたい放送局を選ぶ

■ 手動で選ぶ

1

▶▶、または **◀◀** にタッチします。

- **▶▶** (右側) :
1ステップずつ上がる
- **◀◀** (左側) :
1ステップずつ下がる
(1ステップ : AM 9kHz、FM 0.1MHz)



■ 自動で選ぶ

1 **▶▶**、または **◀◀** を“ピー”と音がするまでタッチします。

- 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。



📖 ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■ プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

プリセットスイッチ



放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるには手動設定と自動設定の2つのモードがあります。

■ 手動設定で記憶する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。



2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピー”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

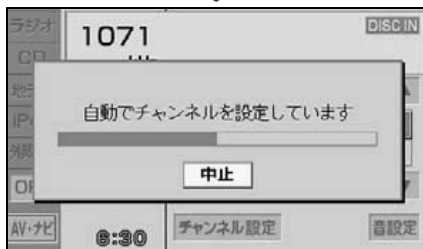


1. ラジオの使い方

■ 自動設定で記憶する

1 **チャンネル設定** にタッチします。

- “自動でチャンネルを設定しています”と表示され、自動的に選局を始めます。“ピー”と音がすると自動選局が終了し記憶されます。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に8局まで自動的に記憶します。



📖ワンポイント

- 受信電波の弱い地域では自動設定での自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とチャンネル設定スイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- チャンネル設定スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が8局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

ラジオを止める

1 オーディオ操作画面で **OFF** にタッチします。



2. CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

1 **CD** にタッチします。

- 再生を始めます。



ワンポイント

- CD-TEXT にタイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
- CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。
- アーティスト名等の表示文字において本機で表示できない文字（例：JIS第一水準漢字以外の漢字や特殊記号）は空白スペースにて表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 **▶▶**、または **◀◀** にタッチします。

- **▶▶**（右側）：
次曲を選ぶとき
- **◀◀**（左側）：
頭出し・前曲を選ぶとき



2. CDプレーヤーの使い方

早送り・早戻しする

1 **▶▶**、または **◀◀** を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- **▶▶** (右側):
曲を進めるとき
 - **◀◀** (左側):
曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



同じ曲を繰り返し聞く

1 **リビート** にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 **リビート** にタッチすると、解除するまで繰り返し再生します。もう一度 **リビート** にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 **ランダム** にタッチします。

- いま聞いているCDの全曲でランダム再生します。
- 一度 **ランダム** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **ランダム** にタッチすると解除されます。

ワンポイント

- ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。
- ランダム再生中に **リビート** にタッチすると、再生中の曲を繰り返し再生します。もう一度 **リビート** にタッチするとランダム再生にもどります。

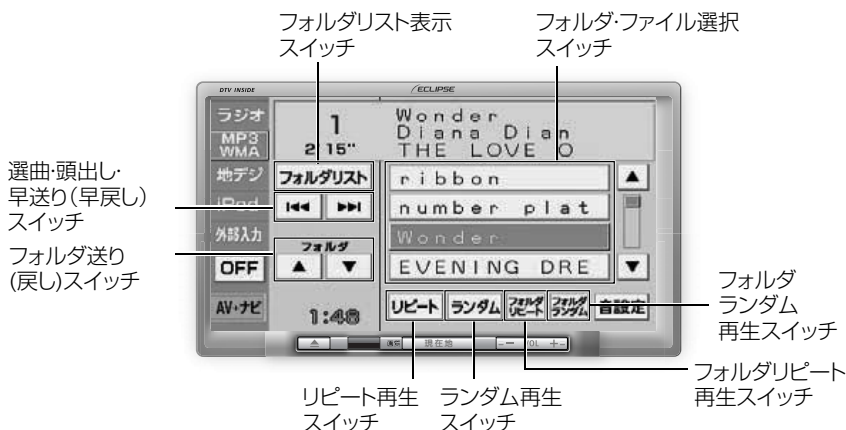
CDを止める

1 オーディオ操作画面で、**OFF** にタッチします。



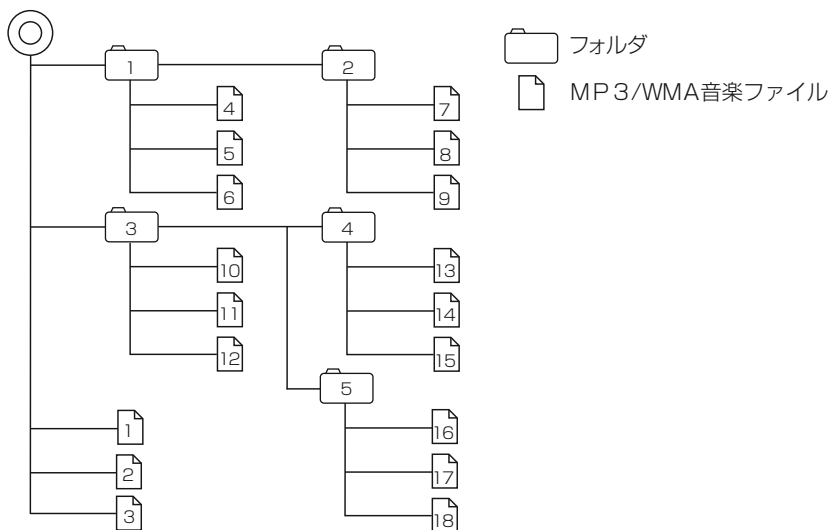
3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



[MP3/WMA ファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMA ファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- MP3/WMA ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は全角10文字まで、ファイル名は全角11文字まで表示できます。
- DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムのWMAファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMA ファイルは再生できません。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA を聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込むと、再生を始めます。

- 1 CD-R/RWが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースを切り替える」(152 ページ) を参照してください。

- 2 **MP3/WMA** にタッチします。

- 再生を始めます。
- 通常は、 →  →  →  →  →  の順に再生します。『[MP3/WMA ファイル作成例]』(163ページ)
- 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語(SJISコード)の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

■ フォルダ送りスイッチから選ぶ

- 1 、または  にタッチします。

-  (左側) :
前のフォルダを選ぶとき
-  (右側) :
次のフォルダを選ぶとき

■ フォルダ一覧から選ぶ

- 1 **フォルダリスト** にタッチします。

- 2 聞きたいフォルダ名にタッチします。

- 選択されたフォルダ内の音楽ファイルを順に再生します。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

■ フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

1 音楽ファイル名にタッチします。

- 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。
- 同じフォルダ内に音楽ファイルが5個以上（フォルダリストは7個以上）ある場合は、▲、▼ にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。（走行中は操作できません。）

■ 選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 ►►、または ◀◀ にタッチします。

- ►► （右側）：
次の音楽ファイルを選ぶとき
- ◀◀ （左側）：
頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

1 ►►、または ◀◀ を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- ►► （右側）：
曲を進めるとき
 - ◀◀ （左側）：
曲を戻すとき
- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

同じ音楽ファイルを繰り返し聞いて聞く

1 リピート にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 リピート にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 リピート にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

1 ランダム にタッチします。

- 現在再生中のフォルダ内の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 ランダム にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 ランダム にタッチすると解除されます。

📖 ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

同じ音楽フォルダを繰り返し聴く

1 **フォルダリピート** にタッチします。

- 再生中のフォルダ内にある全てのファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **フォルダリピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。
もう一度 **フォルダリピート** にタッチすると解除されます。

ディスク内の全曲をランダムに聴く

1 **フォルダランダム** にタッチします。

- ディスク内の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 **フォルダランダム** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。
もう一度 **フォルダランダム** にタッチすると解除されます。

MP3/WMA を止める

1 オーディオ操作画面で **OFF** にタッチします。



MP3/WMA について

MP3 (MPEG Audio レイヤ3) は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA (Windows Media™ Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

本機で利用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

■ 再生可能なMP3 ファイルの規格について

- 対応規格：
MPEG Audio レイヤ3 (=MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ)
- 対応サンプリング周波数：
8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート：
8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
※ VBRに対応しています。
※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード：
ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■ 再生可能なWMA ファイルの規格について

- 対応規格：
WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
- 対応サンプリング周波数：
22.05、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート：
20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320 (kbps)
※ 2ch再生のみ対応しています。
※ VBRに対応しています。
※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
- 対応チャンネルモード：ステレオ、モノラル

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

■ ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグは、ID3 Ver.1.0,1.1に対応しています。

WMAタグは、WMA Ver.9に対応しています。

■ ID3タグ/WMAタグ

		MP3		WMA
		Ver 1.0	Ver 1.1	ASF Revision 1.02.02
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角30文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)		英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode)

■ 使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。DVD±RおよびDVD±RWに記録されたMP3/WMAは再生できません。

なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できないことや音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■ 使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

- ディスクフォーマット：
CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2 (Form1)

■ ファイルフォーマット

- ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名 (最大文字数)	半角8文字	半角31文字
ファイル名 (最大文字数)	半角8文字+拡張子	半角31文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード)	

- 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名 (最大文字数)	半角64文字	半角128文字※ ¹
ファイル名 (最大文字数)	半角64文字※ ²	半角128文字
表示できる文字	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (S-JISコード)	英数字 (ASCIIコード) 日本語 (Unicode)

※¹ 区切り文字“.”含む

※² 区切り文字“.”+拡張子含む

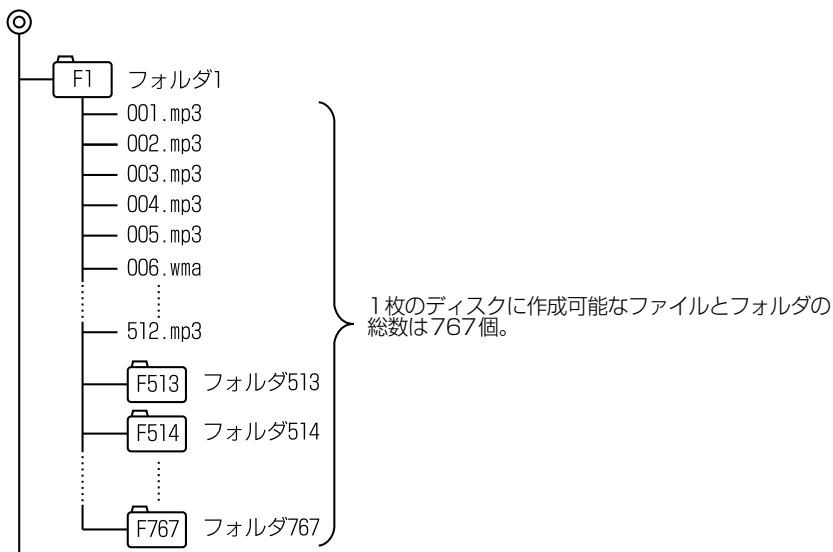
- 最大ディレクトリ階層：
8階層
- 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：
255個
- 1枚のディスクに書き込み可能なファイル数：
512個

📖 ワンポイント

- MP3/WMAディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は全角10文字まで、ファイル名は全角11文字まで表示できます。
- DRM (著作権管理 Digital Rights Management) システムのWMAファイルやプロテクト録音 (ライセンス管理) されたWMAファイルは再生できません。

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

[MP3/WMA対応CDの構造例]



■ ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3”/“wma”が付いたものだけです。MP3/WMA ファイルには、“mp3”/“wma”の拡張子を付けて保存してください。拡張子名“mp3”/“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

ワンポイント

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMA ファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

■ CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
(消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。)
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。(例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません。)
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。(設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。)
- ファイナライズ処理されていないCD-R、CD-RWやUDFフォーマットで書き込みされたCD-R、CD-RWは再生することができません。

■ MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMAファイルを再生します。

なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■ MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

■ MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

- 1 MP3/WMAファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
- 2 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示
- 3 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示

3. MP3/WMA プレーヤーの使い方

MP3/WMA ファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMA ファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■ インターネット上のMP3/WMA 音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA 音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

■ 音楽CDからMP3/WMA ファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMA エンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROM ドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMA エンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

■ CD-R/RWに書き込む場合

MP3/WMA ファイルをパソコンに接続されているCD-R/RW ドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル1 またはレベル2、ROMEO、JOLIETという記録フォーマットに設定して書き込みます。

ワンポイント

- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

MEMO

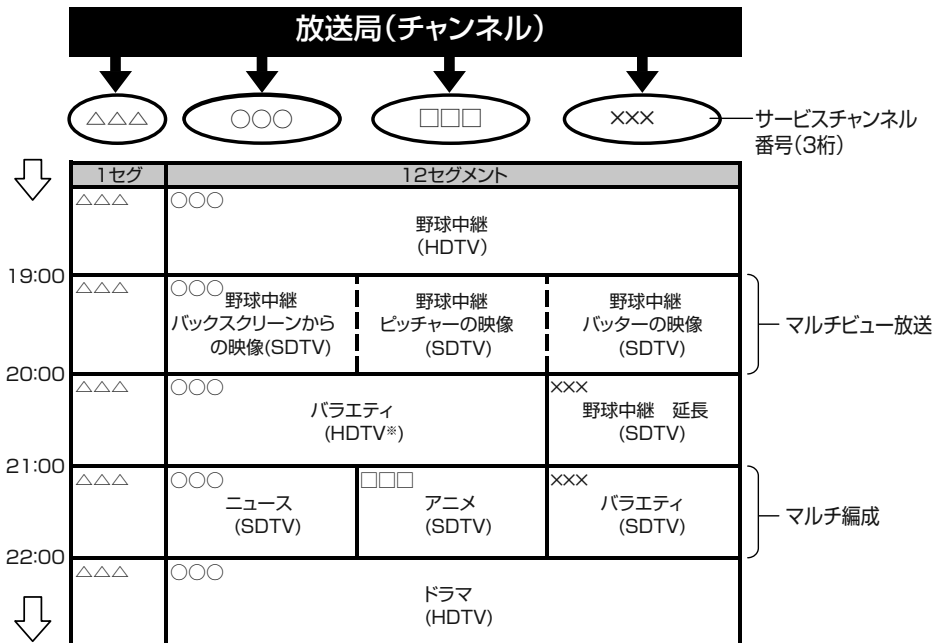
1. 地デジをお使いになる前に

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルTV放送は12セグメントを使用した、ハイビジョン映像(HDTV)や標準映像(SDTV)の放送を指します。1セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は4セグメントを使用するため、最大で3つの番組を同時に提供するマルチ編成や、1つの番組で最大3つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。

チェック

- 地上デジタルTV放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。
- 地上デジタルTV放送を初めてご使用になる際は、初回起動時の設定が必要になります。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

ワンポイント

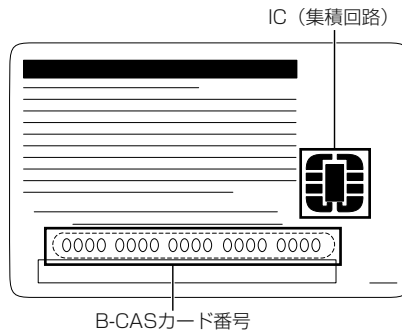
- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- ワンセグ放送は、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。



B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルTV放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込んでください。

B-CASカードの動作確認については、「**B-CASカードの動作確認をする**」(180ページ)を参照してください。



カードを運用・管理するための番号です。問い合わせの際に必要です。

■ 取り扱いについての注意

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- B-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。
(ワンセグ放送は視聴することができます)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC (集積回路) 部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、B-CASカードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

より詳しい情報は、<http://www.b-cas.co.jp>をご覧ください。

1. 地デジをお使いになる前に

■ B-CASカードに関する問い合わせ

B-CASカードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。B-CASカードに関するお問い合わせは、下記へご連絡ください。

- 本機を破棄するなど、B-CASカードが必要なくなったときや、ユーザー登録や登録内容の変更を行うときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターに連絡して手続きをしてください。

電話番号 0570-000-250

受付時間 AM10:00～PM8:00（年中無休）

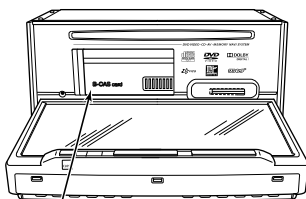
- カードの故障については、コピー制御お問合せセンターへお問い合わせ下さい。

電話番号 0570-000-288

受付時間 AM10:00～PM8:00（年中無休）

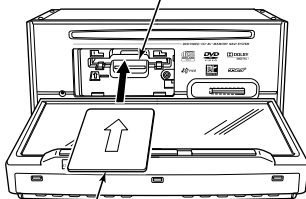
B-CASカードの差し込み・取り出し方について

ディスプレイを開いた状態で、カードスロットカバーを取りはずして、B-CASカードスロットにB-CASカードを差し込み（取り出し）ます。



カードスロットカバー

B-CASカードスロット



B-CASカード

■ カードスロットカバーを取りはずす

1

を押します。

2

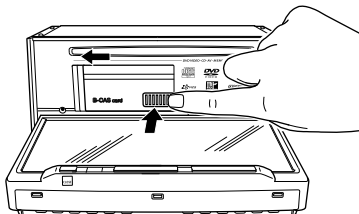
Full OPEN にタッチします。

- ディスプレイが開きます。



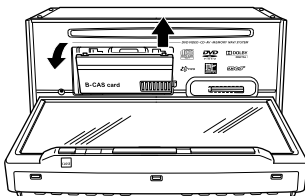
3 カードスロットカバーの滑り止め部分を押しながら、左へスライドさせます。

- カードスロットカバーが止まるまで、スライドさせてください。



4 カードスロットカバーを手前に引き、持ち上げて取りはずします。

- カードスロットカバーを手前に引くときに、下部ツメを折らないように注意してください。

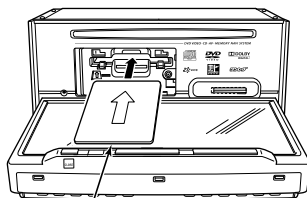


■ B-CASカードを差し込む

チェック

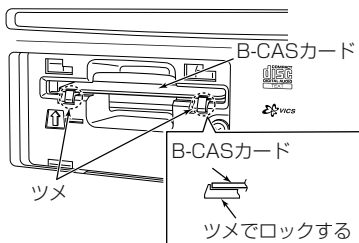
B-CASカードは、矢印表示面を上、IC側を下にして差し込んでください。

1 B-CASカードスロットにB-CASカードを矢印の方向で差し込みます。



B-CASカード

- B-CASカードがツメでしっかりロックされるまで差し込んでください。



2 B-CASカードの動作確認をします。

- B-CASカードの動作確認は必ず行ってください。

詳しくは、「**B-CASカードの動作確認をする**」(180ページ)を参照してください。

1. 地デジをお使いになる前に

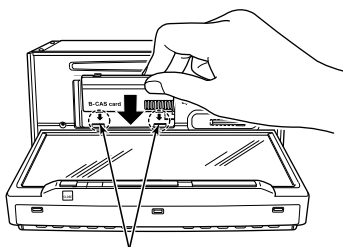
■ カードスロットカバーを取り付ける

⚠ 重要

- B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードの動作確認を行ってください。

1 カードスロットカバーの下部ツメを本機の下側の穴に差し込みます。

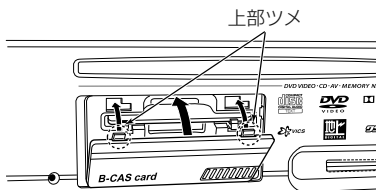
- 下側の穴に差し込むときに、下部ツメを折らないように注意してください。



下部ツメ

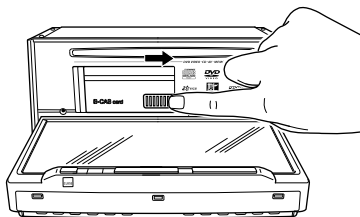
2 カードスロットカバーの上部ツメを本機の上側の穴にはめ込み、滑り止め部分を押しながら、右へスライドさせます。

- カードスロットカバーを左にスライドさせた状態で、上部ツメを本機上側の穴にはめ込んでください。



上部ツメ

- カードスロットカバーが止まるまで、スライドさせてください。



■ B-CASカードを取り出す

1 B-CASカードを指で上に引き上げ、ツメからはずします。

2 ゆっくりとB-CASカードを引き出します。

- B-CASカードは水平方向に引き出してください。

初回起動時の設定

本機を初めてご使用になる際は、下記の設定をする必要があります。

- 居住地域の設定 (181 ページ参照)
- チャンネルを記憶する (183 ページ参照)

ワンポイント

ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

2. 地デジの使い方

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ地デジ放送をご覧になることができます。(走行中にソースを地デジに切り替えた場合、音声のみになります。)



初期設定をする

初めて地デジ機能をご使用になる場合は、初期設定でB-CASカードの作動確認、居住地域の登録とプリセットスイッチにチャンネルを設定させます。

ICカード情報を確認する

本機に差し込まれているB-CASカードの情報を見たり、テストをしたりすることができます。

チェック

B-CASカードが差し込まれていない、または異なるカードが差し込まれている場合は、カードIDは表示されません。

B-CASカードの情報を見る

1 ICカード情報 にタッチします。



- ICカード情報画面が表示されます。

グループID カード識別 カードID



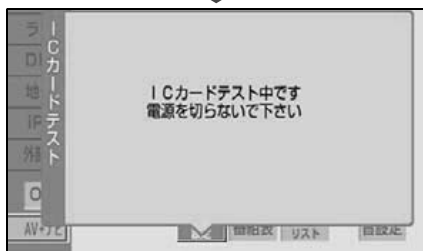
- ICカード情報画面

2. 地デジの使い方

B-CASカードの動作確認をする

1 ICカード情報画面で
ICカードテスト にタッチします。

- テストを開始します。

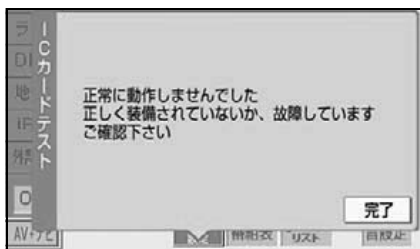


2 **完了** にタッチします。

- テストで異常を検出した場合、お買い上げの販売店にご相談ください。



- テストが正常に終了したとき



- テストで異常を検出したとき

■ 居住地域の登録をする

デジタル放送の番組やデータ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。

居住地域は都道府県の選択、または郵便番号の入力により設定することができます。

初めて起動したときや、引っ越ししたときは必ず設定してください。

都道府県から登録する

1

地デジ にタッチします。



2

地デジ設定 にタッチします。



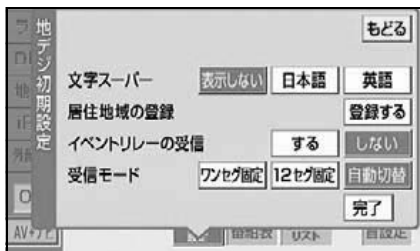
3

地デジ初期設定 にタッチします。



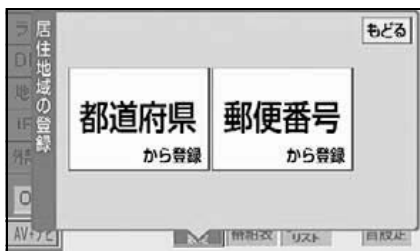
4

居住地域の登録の **登録する** にタッチします。



5

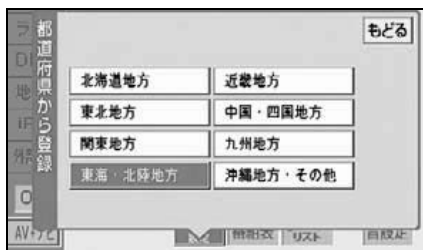
都道府県から登録 にタッチします。



2. 地デジの使い方

6 お住まいの地方にタッチします。

- 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、**沖縄・その他** を選択してください。



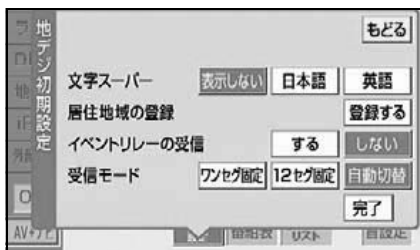
7 お住まいの都道府県、または地域にタッチします。

- 設定が完了し、地デジ初期設定画面にもどります。

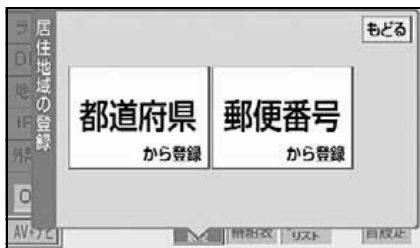


郵便番号から設定する

1 初期設定画面で居住地域の登録の**登録する**にタッチします。



2 **郵便番号から登録**にタッチします。



3 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは**修正**にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **完了**にタッチします。

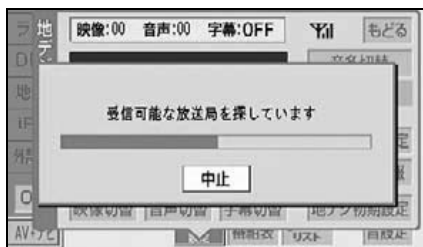
■ チャンネルを設定する

1 **チャンネル設定** にタッチします。

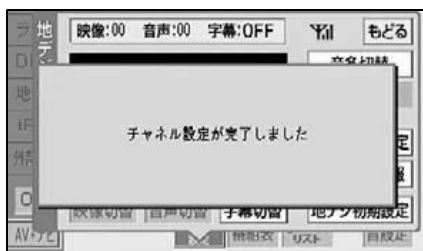
- チャンネルの自動選局を開始します。



- チャンネル自動選局中は、進捗バーが表示されます。
- 自動選局を中止したいときは、**中止** にタッチします。



- 自動選局が終了すると、チャンネルが設定され、プリセットスイッチで選局できるようになります。



地デジを見る

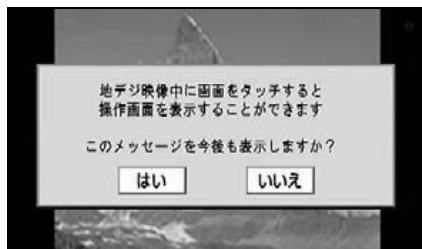
1 **地デジ** にタッチします。

- フル映像にしたいときは **フル映像** にタッチします。



ワンポイント

- 地デジ操作画面からフル映像に切り替わる際に、次のメッセージが表示された場合は、**はい** または **いいえ** にタッチします。



- 地デジ操作画面で **フル映像** にタッチしたとき、全画面で表示される放送と4:3画面（画面の左右両端が黒表示）で表示される放送があります。
- アンテナインジケータは、放送電波の受信レベルを表します。電波の状態によって以下のように表示されます。



弱 ← → 強

電波の受信レベルが弱くなると、画面が静止して音声が出なくなることがあります。

- アンテナインジケータの受信レベルは目安です。受信レベルが弱くても映像が受信できたり、強くても映像が静止したり音声かぎれる場合があります。

2. 地デジの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

■ 地上デジタルTVのチャンネル構成について

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。

■ プリセットスイッチから選ぶ

1 設定されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。

プリセットスイッチ



■ 見たい番組を選ぶ

1 **サービスリスト** にタッチします。

- サービスリスト画面が表示されます。



2 見たい番組名にタッチします。

- 放送局受信画面が表示されます。



ワンポイント

- ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。
- ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送には切り替わりません。
- 地デジ初期設定画面の受信モードが[自動切替]に設定されている場合、通常の地上デジタルTV放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルTV放送にもどります。**「受信モードの設定をする」**（193ページ参照）

地デジ設定画面の切り替え

ソースが地デジのとき、地デジ設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

- 機能スイッチの表示
 - 映像切替 (185 ページ参照)
 - 音声切替 (185 ページ参照)
 - 字幕切替 (186 ページ参照)
 - 音多切替 (186 ページ参照)
 - チャンネル設定 (183 ページ参照)
 - ICカード情報 (B-CASカードの動作確認) (180 ページ参照)
 - 地デジ初期設定 (192 ページ参照)

1 地デジ設定 にタッチします。

- 地デジ設定画面が表示されます。



- 地デジ設定画面

■ 映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

1 映像切替 にタッチします。

- 映像切替 にタッチするごとに、映像番号および映像が切り替わります。



■ 音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1 音声切替 にタッチします。

- 音声切替 にタッチするごとに、音声番号および音声が切り替わります。



2. 地デジの使い方

■ 字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕を提供しているときは、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

1 字幕切替 にタッチします。

日本語 → 英語 → OFF



緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送(EWS:Emergency Warning System)は、緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせする放送です。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

■ 音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

1 音多切替 にタッチします。

主音声 → 副音声 → 主/副音声

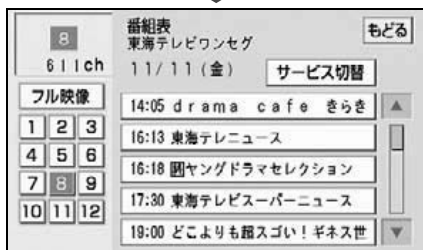


EPG（電子番組表）を見る

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。画面上で簡単に、見たい番組を探すことができます。

1 番組表 にタッチします。

- 受信している放送局の番組表が表示されます。
- ▲、または ▼ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。

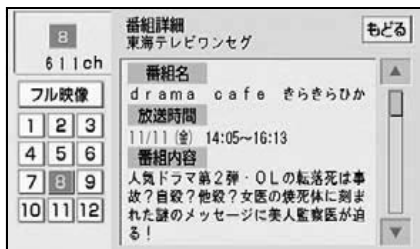


- 番組表画面

■ 番組の情報を見る

1 番組表画面で見たい番組にタッチします。

- 番組詳細画面が表示されます。
- ▲、または ▼ にタッチすると、画面をスクロールすることができます。



地デジを終わる

1 OFF にタッチします。



2. 地デジの使い方

データ放送の使い方

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。

受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。

ボタン消スイッチ 数字ボタン 戻るボタン



データ放送 色・カーソルボタン dボタン
受信中マーク

● データ放送操作画面

■ データ放送を見る

1

d操作 にタッチします。

- データ放送操作作用のボタンが表示されます。



2

d にタッチします。

- データ放送画面が表示されます。



- データ放送操作画面で、**ボタン消** にタッチすると、タッチスイッチが消えます。
- データ放送操作画面で、**d** にタッチすると地デジ画面にもどります。

■ データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。

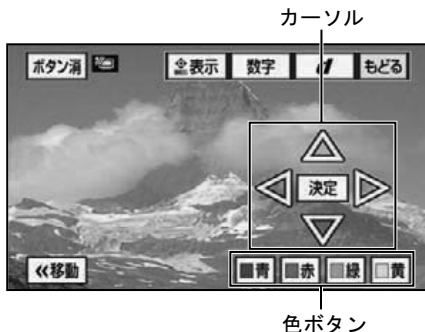
また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力することができます。操作方法は受信したデータ放送により異なります。

色ボタン・カーソルの操作について

1 **☆表示** にタッチします。

2 色ボタン、またはカーソルにタッチします。

- **<<移動** にタッチすることにより、色ボタン・カーソルの位置が左右に切り替わります。



10キー（テンキー）の操作について

数字を入力するときに使用します。

1 数字にタッチします。

- **<<移動** にタッチすることにより、10キーの位置が左右に切り替わります。



ワンポイント

- データ放送の内容により、文字を入力することがあります。文字の入力については、「文字入力の操作について」（190ページ）を参照してください。また、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機には通信機能がないため、双方向通信に対応していません。

2. 地デジの使い方

文字入力操作について

文字入力の操作は、データ放送画面で表示される指示順におこなってください。

1 文字を1文字ずつタッチして入力します。

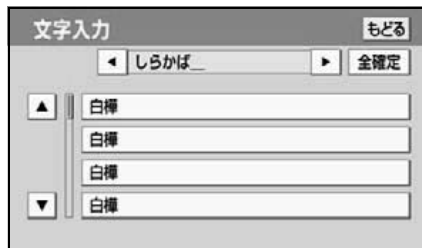
- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**、**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英数字入力、数記号入力については、「**カナ、英数字、数記号の入力について**」（191ページ）を参照してください。
- 間違えた（入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



2 ひらがなのときは **無変換**、漢字のときは **変換** にタッチします。



- **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで入力する熟語にタッチし、**全確定** にタッチします。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**▶**、**◀** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

カナ、英数字、数記号の入力について

1 **カナ**、**英数字**、または**数記号**にタッチします。



2 入力する文字の大きさを切り替えるときは、**半角**（**全角**）にタッチします。

- **英数字** にタッチしたときは、**大文字**（**小文字**）にタッチすると、大文字と小文字を切り替えることができます。

3 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（入力されている）ときは**修正**にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

入力することのできる文字数は全角で最大12文字（半角で24文字）までです。

ただし、データ放送の内容により、最大文字入力数は異なります。

2. 地デジの使い方

初期設定画面の切り替え

初期設定画面から、各種機能設定ができます。

1 **地デジ設定** にタッチします。

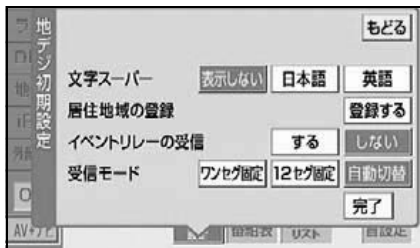


2 **地デジ初期設定** にタッチします。



3 地デジ初期設定画面から下記機能の設定をすることができます。

- 文字スーパーの設定
- 居住地域の登録（181 ページ参照）
- イベントリレーの受信設定（193 ページ参照）
- 受信モードの設定（193 ページ参照）



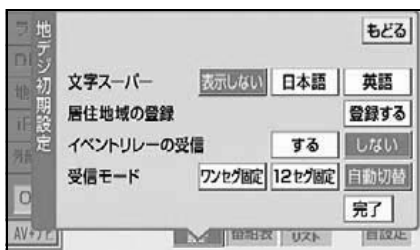
■ 初期設定をする

文字スーパーを設定する

地上デジタルTV放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパーの表示（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）をおこなっています。文字スーパーは日本語と英語を表示することができます。

1 お好みの言語にタッチします。

- **表示しない** にタッチすると、文字スーパーが表示されません。



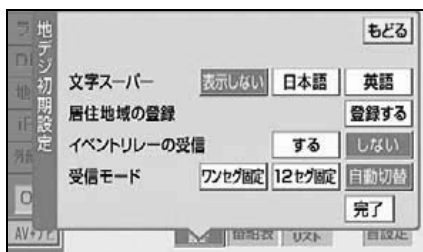
2 **完了** にタッチします。

イベントリレーを設定する

イベントリレーとは、視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える機能です。

例えば、野球の延長放送を視聴中の番組とは異なるサービスチャンネル番号で放送するときに、自動で切り替えます。

- 1 初期設定画面でイベントリレーの受信の **する**、または **しない** にタッチします。



- 2 **完了** にタッチします。

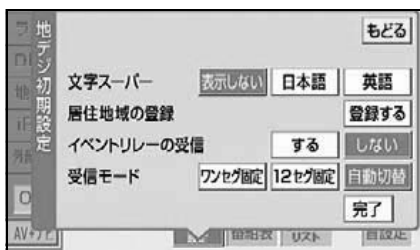
受信モードの設定をする

通常の地上デジタルTV放送（12セグ）が受信できなくなった場合、自動でワンセグ放送の受信に切り替えることができます。

地上デジタルTV放送が受信可能になると、ワンセグ放送から自動で切り替わります。

また、切り替えを行わずにワンセグや12セグに固定することもできます。

- 1 **ワンセグ固定**、**12セグ固定**、または **自動切替** にタッチします。



- 2 **完了** にタッチします。

3. DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機はDVDビデオや地上デジタル放送などを録画したDVD-ビデオレコーディング(VR)を再生することができます。DVDビデオ、DVD-VRがもつ高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生したり、記録されている複数の言語(音声や字幕など)を切り替えて表示したりすることができます。また、DVDビデオでは、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルで再生することもできます。DVD-VRでは、編集したお気に入りの静止画や映像を再生したり、録画された二ヶ国語放送を楽しんだりすることができます。

DVDの特長

■ マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

■ マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの(マルチアングル)があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。



● 映像のアングルが切り替わります。

■ 字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。

▲ 注意

本機は、マクロビジョンコーポレーションやその他の権利者が保有する、米国特許権及びその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの許諾が必要であり、マクロビジョンコーポレーションが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。改造または分解は禁止されています。



ディスクについて

■ 再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」および下記のマークが表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
	12cm／片面 1層 2層	< MPEG 2方式 > 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	< MPEG 2方式 > 266分 484分

ワンポイント

- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が動かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 本機は、ビデオモードで書き込まれたDVD±R/RW (DVD±Recordable/ReWritable) ディスクに対応しています。

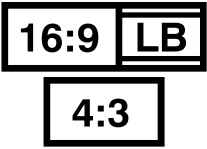
3. DVDプレーヤーをお使いになる前に

■ 再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このDVDはリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

■ ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

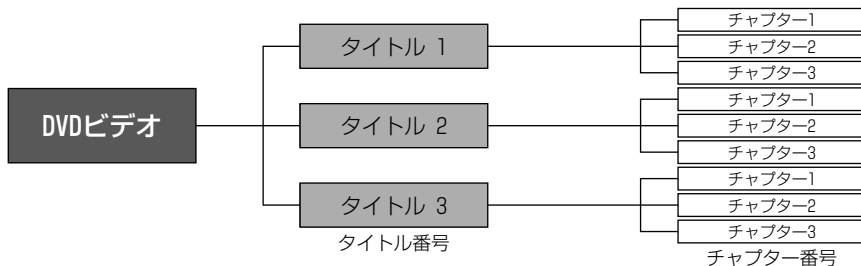
マーク	意 味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ● 「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ● ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

■ ディスクの構成について

DVDビデオディスクの構成

DVDビデオに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

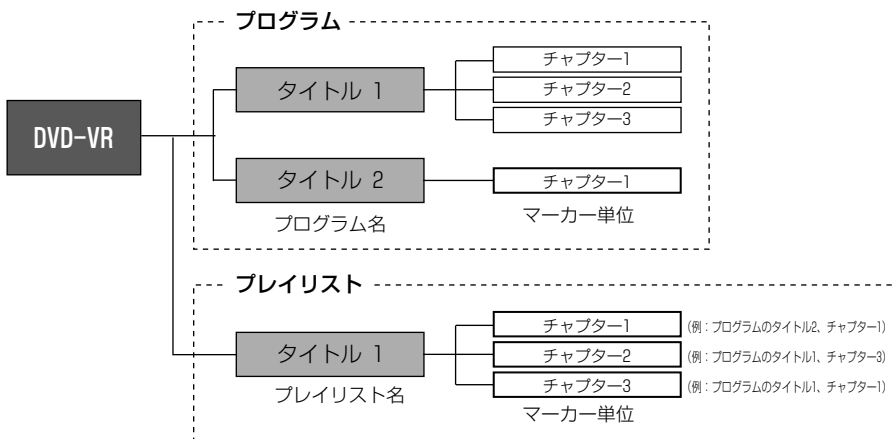
大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



DVD-VRディスクの構成

DVD-VRに収録されている映像や曲、静止画はプログラム（番組）ごとに保存されています。

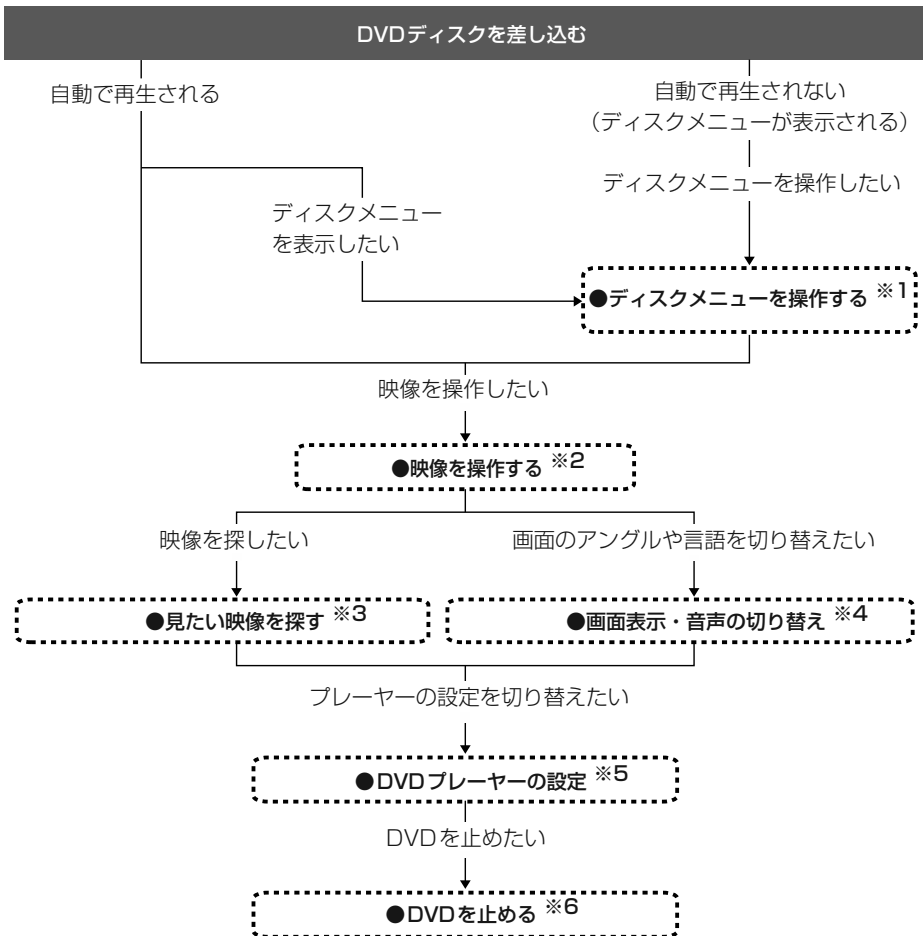
本機はプログラム単位をタイトル、プログラム中にDVDレコーダーで付加するマーカーポイントをチャプターとして管理しています。また、プログラム中にあるお気に入りの場面や番組を、お好みの再生順で指示したものをプレイリストとして保存することができます。プレイリスト単位をタイトル、マーカーポイントをチャプターとして管理しています。



3. DVDプレーヤーをお使いになる前に

操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



※1 「ディスクメニューを操作する」(201ページ参照)

※2 「映像を操作する」(200ページ参照)

※3 「見たい映像を探す」(203ページ参照)

※4 「画面表示・音声の切り替え」(204ページ参照)

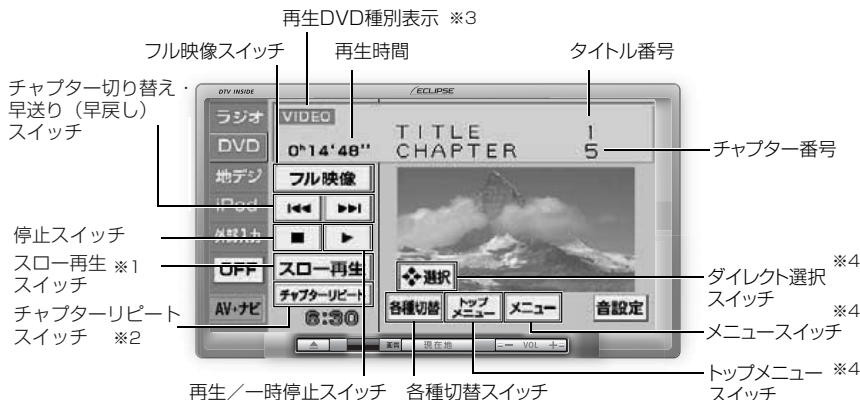
※5 「DVDプレーヤーの設定」(207ページ参照)

※6 「DVDを止める」(202ページ参照)

4. DVDプレーヤーの使い方

チェック

- エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。(走行中にソースをDVDプレーヤーに切り替えた場合、音声のみになります。)
- 再生するDVDによって、使える機能が一部異なります。



※1 一時停止スイッチを押したときに表示されます。

※2 DVD-VR再生時は「ページ送り」スイッチが表示されます。

※3 DVD-VR再生時は「VR」と表示されます。

※4 DVDビデオ再生時のみ表示されます。

DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

- 1 DVDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースを切り替える」(152 ページ) を参照してください。

- 2 **DVD** にタッチします。

- DISC操作画面が10秒間表示され、フル映像に切り替わります。

フル映像からDISC操作画面に切り替えたいときは、画面にタッチします。再度、フル映像にしたいときは、**フル映像** にタッチします。

ワンポイント

- オプションの後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。
- ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。「ディスクメニューを操作する」(201 ページ参照)

4. DVDプレーヤーの使い方

映像を操作する

■ 映像を再生する

1  にタッチします。

- 映像、または静止画を再生します。



■ 早送り・早戻しする

1 、または  を“ピッ”と音がするまでタッチします。

- “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。



■ 静止画を送る

再生している静止画を送ることができます。

チェック

DVD-VRで静止画を再生しているときのみ、操作することができます。

1 **ページ送り** にタッチします。



■ 同じチャプターを繰り返し見る

チェック

DVDビデオ再生時のみ操作できます。

1 **チャプターリピート** にタッチします。

- 再生中のチャプターを繰り返し再生します。
- 一度 **チャプターリピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **チャプターリピート** にタッチすると解除されます。



■ 映像を一時止める

1 **II** にタッチします。

- 再生中のみ画面表示 **II** になります。
- **▶** にタッチすると、一時停止が解除されます。



■ 映像をスロー再生する

1 **スロー再生** にタッチします。

- 一時停止中のみ画面に **スロー再生** が表示されます。
- **▶** にタッチすると、スロー再生が解除されます。

■ 映像を止める

1 **■** にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

チェック

DVDビデオ再生時のみ操作できます。

1 画面にタッチします。

2 **メニュー**、**トップメニュー** または **選択** にタッチします。

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。



4. DVDプレーヤーの使い方

■ 画面を直接タッチして操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

- 1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



ワンポイント

ディスクによって、表示されるメニューをダイレクトタッチ操作画面から操作できない場合があります。

■ タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

- 1     にタッチし、メニューを選びます。

- 2 **決定** にタッチします。

ワンポイント

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVDを止める

- 1 **OFF** にタッチします。



見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号(内容ごとに区切られた番号)から探すことができます。

■チャプターから探す

1 **▶▶**、または **◀◀** にタッチします。

- **▶▶** (右側) :
次のチャプターを選ぶとき
- **◀◀** (左側) :
頭出し・前のチャプターを選ぶとき

チャプター番号



■タイトル番号から探す

1 **各種切替** にタッチします。

2 **サーチ** にタッチします。



タイトル番号



3 タイトル番号を入力します。



4 **完了** にタッチします。

4. DVDプレーヤーの使い方

■ 指定位置から再生する

1 **各種切替** にタッチします。

2 **リターン** にタッチします。

- 指定された位置から再生します。



■ プログラム（プレイリスト）順に再生する

再生モードをプログラム順、またはプレイリスト順に設定することができます。

チェック

- DVD-VR再生時のみ操作できます。
- プレイリストは、プレイリストが作成されているディスクでのみ、操作することができます。

1 **各種切替** にタッチします。



2 **再生モード** にタッチします。



3 **プログラム**、または
プレイリスト にタッチします。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングル、音声多重を切り替えることができます。

■ アングルの切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングルの切り替えて表示することができます。

チェック

- DVDビデオ再生時のみ操作できます。
- 画面にマルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えることができます。
- マルチアングルマークを表示するには、マルチアングルの設定を“表示”するに設定する必要があります。
(210 ページ参照)

1 **各種切替** にタッチします。

2 **アングル** にタッチします。



3 **アングル切替** にタッチします。

- **アングル切替** にタッチすると、アングル番号が替わり、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

アングルマーク

**■ 字幕言語を切り替える**

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **字幕** にタッチします。



3 **字幕切替** にタッチします。

- **字幕切替** にタッチすると、字幕番号が替わり、表示言語が切り替わります。

**ワンポイント**

字幕表示を消す場合は、**字幕消し** にタッチしてください。

4. DVDプレーヤーの使い方

■ 音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 **各種切替** にタッチします。

2 **音声** にタッチします。



3 **音声切替** にタッチします。

- **音声切替** にタッチすることにより音声番号が替わり、音声言語が切り替わります。



■ 音声多重を切り替える

DVD-VRのディスクに音声多重放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

🔍 チェック

DVD-VR再生時のみ操作できます

1 **各種切替** にタッチします。

2 **音多** にタッチします。



3 **音多切替** にタッチします。

- **音多切替** にタッチすることにより下図の順に切り替わります。

主音声 → 副音声 → 主/副音声



DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

チェック

DVDビデオ再生時のみ設定することができます。

1

各種切替 にタッチします。



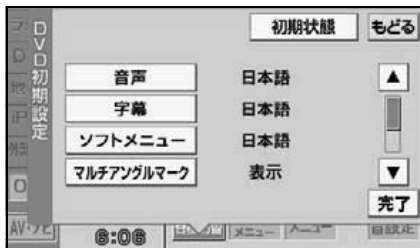
2

DVD 初期設定 にタッチします。

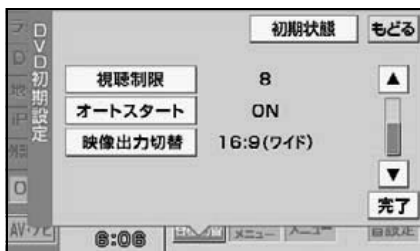


3

各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



● DVD初期設定画面（1ページ目）



● DVD初期設定画面（2ページ目）

タッチスイッチ	機 能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	208
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	209
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	210
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	210
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	211
オートスタート	走行中の自動再生を設定します。	212
映像出力切換	画面サイズを設定します。	212

ワンポイント

- DVD 初期設定画面で設定を変更した後、**完了** にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチを押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で  にタッチします。(200 ページ参照)

- **初期状態** にタッチすると、視聴制限以外の項目設定が初期の状態に戻ります。

4. DVDプレーヤーの使い方

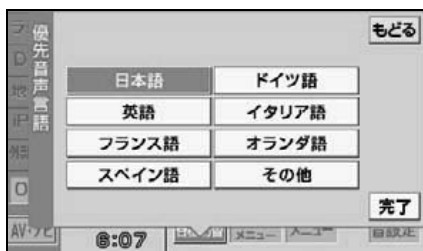
■ 音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 DVD初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(214ページ)を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(204ページ)で言語を切り替えてください。

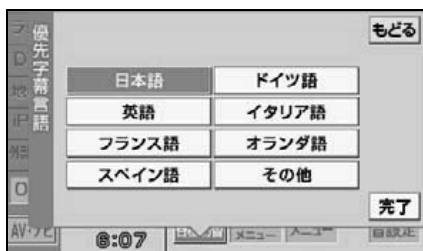
■ 字幕言語を設定する

再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 DVD初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(214ページ)を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしがたって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(204ページ)で言語を切り替えてください。

4. DVDプレーヤーの使い方

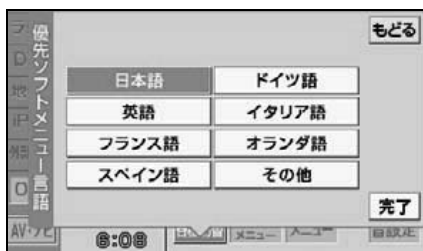
■メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 DVD初期設定画面で
ソフトメニュー にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

- **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で
その他 にタッチします。

2 言語コードを入力します。

- 言語コードについては「言語コード一覧」(214ページ)を参照してください。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。
- ディスクに優先される音声言語、または字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、「画面表示・音声の切り替え」(204ページ)で言語を切り替えてください。

■マルチアングルマークの表示を設定する

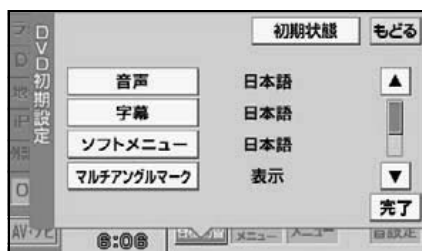
再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

チェック

マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

1 DVD初期設定画面で
マルチアングルマーク にタッチします。

- タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **完了** にタッチします。

■ 視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

チェック

視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定できません。

1 DVD初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

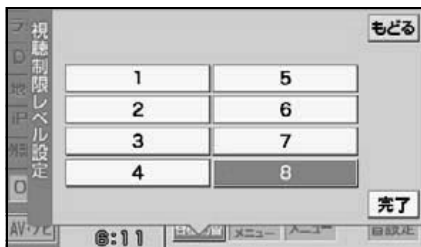
2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

- 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「-----」で表示されます。



3 **完了** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**修正** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく 3 種類に分類されます。
 - レベル1…
子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル2～7…
子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。（成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）
 - レベル8…
全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）
- **初期状態** にタッチしても、視聴制限は初期状態に戻りません。再度、視聴制限の設定をしてください。

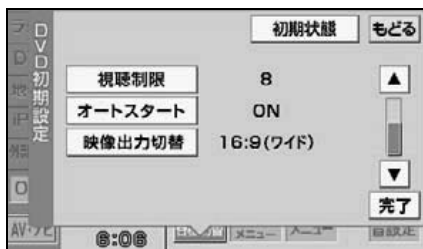
4. DVDプレーヤーの使い方

■ 走行中の自動再生を設定する

走行中は映像を表示できないため、ディスクに収録されているメニューを操作することができません。オートスタートを“ON”に設定すると、走行中にメニューを自動で実行して再生することができます。

- 1 DVD初期設定画面で **オートスタート** にタッチします。

- タッチすると、“ON”、“OFF”が切り替わります。



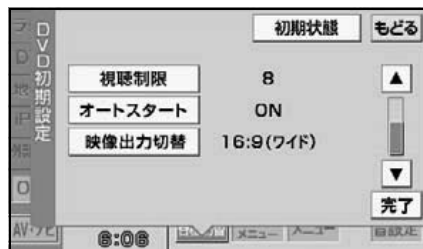
- 2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

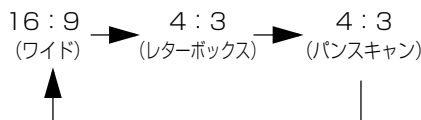
- オートスタートを“ON”に設定していても、次の場合は本編を再生しない場合があります。
 - ・ ディスクの初期設定が、本編再生や再生以外に設定されている場合
 - ・ 走行を開始する前に、メニューで本編再生や再生以外の項目を選択していた場合

■ 映像出力を切り替える

- 1 DVD初期設定画面で **映像出力切替** にタッチします。



- タッチすると下図の順に画面サイズが切り替わります。



- 16:9 (ワイド)
通常のワイドサイズで表示されます。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。
- 4:3 (レターボックス)
上下両端が黒く表示された映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり(4:3)で表示されます。
- 4:3 (パンスキャン)
左右両端がカットされた映像になります。
4:3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり(4:3)で表示されます。

- 2 **完了** にタッチします。

 ワンポイント

- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

4. DVDプレーヤーの使い方

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブバジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ベルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イスピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラーヤラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラビュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

5. VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。(走行中にソースを外部入力に切り替えた場合、音声のみになります。) VTR機器を接続する場合は、別売の「ビデオ接続コード」をお買い求めください。



VTRを見る

1

外部入力 にタッチします。

- 外部入力画面になります。

- **フル映像** にタッチすると全画面になります。外部入力操作画面にしたいときは、画面にタッチします。



ワンポイント

- 接続される機器類や、録画品質の良くないVHSテープなどにより、映像が正常に表示されない場合があります。

5. VTRの使い方

外部入力設定画面の切り替え

外部入力設定画面に切り替えると映像設定ができます。(157 ページ参照)

- 1 **外部入力設定** にタッチします。

VTRを終わる

- 1 オーディオ操作画面で、**OFF** にタッチします。



6. 後席用モニターについて

本機に別売の後席用モニターを接続すると、本機の映像を後部座席でも楽しむことができます。

チェック

- 後席用モニターでは、走行中／停車中に問わず映像が表示されるため、走行中でも地デジ・DVD（VIDEO／VR）・VTRの映像をご覧になることができます。
- 後席用モニターを接続する場合は、別売リヤモニター接続コードをお買い求めください。
- 後席用モニターの操作については、後席用モニターの取扱書を参照してください。

後席用モニターに表示される画面について

- 後席用モニターには、地デジ・DVD（VIDEO／VR）・VTRの映像のみ表示します。
- 地デジ・DVD（VIDEO／VR）・VTR以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、本機の映像は表示されません。
- オーディオOFFの場合は、本機の映像は表示されません。
- ナビゲーション画面、カメラ映像は表示されません。

ワンポイント

- 地デジ・DVD（VIDEO／VR）・VTR以外のオーディオモードをご使用になっている場合は、画面にブルーバック（青画）が表示されます。
- 地デジの後席出力は本体の画面に関わらず、常にフル映像で表示されます。

1. iPod プレーヤーの使い方

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルを再生することができます。また、リピート再生やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。

チェック

- iPodを接続する場合は、別売コードをお買い求めください。
- 走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

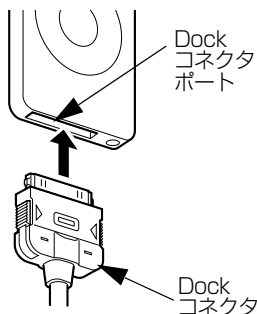


iPodを接続する

チェック

- iPodに接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- ご使用になるiPodおよび接続コードの適合については、ECLIPSEホームページを確認してください。

- 1 iPodと接続コードのDockコネクタを接続します。



iPodを取りはずす

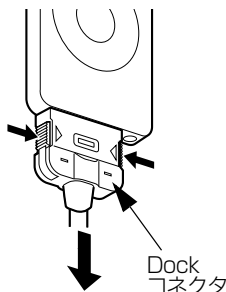
重要

- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

チェック

エンジンスイッチがONの場合、オーディオソースがiPod以外になっていること、またはエンジンスイッチがOFFになっていることをご確認ください。

- 1 Dockコネクタを矢印の方向に押しなが、取りはずします。



ワンポイント

- 本機とiPodを接続しても、ソースは自動でiPodに切り替わりません。
- iPod を本機に接続すると、iPod に“ECLIPSE”が表示されます。
また、“ECLIPSE”が表示されている間はiPodによる操作をすることができません。
ご使用になる iPod によっては接続中に“ECLIPSE”が表示されない場合がありますが、故障ではありません。

- iPodの電源をOFFにしたまま接続すると、“ECLIPSE”が表示されず“充電済”マークが表示されることがあります。この場合、iPodのいずれかのボタンを押す、もしくはiPodの電源をONにして再度接続すると、“ECLIPSE”が表示されます。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリーが充電されます。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示される曲名リストの順番がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱書を参照してください。
- 映像ファイルが入っているiPodを接続すると、曲名リストに映像ファイル名が表示される場合がありますが、映像ファイルの再生には対応していません。また、曲名リストが重複する場合があります。

iPodを聞く

- 1 iPod にタッチします。

- iPodに入っている音楽ファイルの再生を始めます。



ワンポイント

- iPodに収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodからDockコネクタを取りはずさないでください。

1. iPod プレーヤーの使い方

- 正しく動作しない場合、iPodの接続をはずし、エンジンスイッチをOFF (LOCK) にして、再度接続してください。
- アーティスト名や曲名(トラック名称)などは、全角で最大11文字まで表示できます。(名称によっては、表示できない場合があります。)
- アーティスト名等の表示文字において本機で表示できない文字(例: JIS第一水準漢字以外の漢字や特殊記号)は空白スペースにて表示されます。

早送り・早戻しする

- 1 **▶▶**、または **◀◀** を“ピッ”と音がるまでタッチします。
- **▶▶** (右側):
曲を進めるとき
◀◀ (左側):
曲を戻るとき
早送り(早戻し)モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り(早戻し)します。



聞きたい音楽ファイルを選ぶ

- 1 **▶▶**、または **◀◀** にタッチします。
- **▶▶** (右側):
次の音楽ファイルを選ぶとき
◀◀ (左側):
頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき



聞きたい音楽ファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードからリストを表示して、聞きたい音楽ファイルを探することができます。

- 1 **MENU** にタッチします。
- MENU画面が表示されます。



- 2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。
- 選択したモードのリスト画面が表示されます。



選曲モードスイッチ

3 聞きたいリストにタッチします。

- 曲画面が表示されるまで繰り返します。各選曲モードにより、曲画面が表示されるまでの順序は下記ようになります。

選曲モード	表示順序
プレイリスト	プレイリスト画面→曲画面
アーティスト	アーティスト画面→アルバム画面→曲画面
アルバム	アルバム画面→曲画面
曲	曲画面
ジャンル	ジャンル画面→アーティスト画面→アルバム画面→曲画面
作曲者	作曲者画面→アルバム画面→曲画面

4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

- 選択された音楽ファイルを再生します。
- 7個以上リストがある場合は、**▲**・**▼** にタッチするとリストを切り替えることができます。



ワンポイント

- 各リストの表示文字数は、全角で最大11文字です。
- **TOP** にタッチすると、TOP画面にもどります。
- アーティストの選曲モードでアーティスト名にタッチ、または **MENU** 画面で **アルバム** にタッチすると、**全曲** が表示されます。**全曲** にタッチすると、そのフォルダ内の曲が再生されます。

- **ジャンル** にタッチすると、**全アーティスト** が表示されます。**全アーティスト** にタッチすると、全てのアーティストが表示されます。

同じ音楽ファイルを繰り返し聞いて聞く

1 **リピート** にタッチします。

- 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。
- 一度 **リピート** にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 **リピート** にタッチすると解除されます。
- **リピート** が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。

ワンポイント

本機で **リピート** を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはリピート再生の設定に切り替わります。

1. iPod プレーヤーの使い方

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

■今聞いているリストの中からランダムに聞く

1 **シャッフル** にタッチします。

- 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。
- 一度 **シャッフル** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **シャッフル** にタッチすると解除されます。

ワンポイント

本機で **シャッフル** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はシャッフル再生の設定に切り替わります。

■リストをランダムに聞く

リストをランダムに再生することができません。ただし、リスト内の音楽ファイルは先頭から順に再生されます。

1 **アルバムシャッフル** にタッチします。

- 一度 **アルバムシャッフル** にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 **アルバムシャッフル** にタッチすると解除されます。

ワンポイント

本機で **アルバムシャッフル** を設定した状態で iPod を取りはずした場合、iPod はシャッフル再生の設定に切り替わります。

iPod を止める

1 オーディオ操作画面で、**OFF** にタッチします。



対応可能な iPod について

本機に対応している iPod の種類（世代）については、ECLIPSE ホームページを確認してください。

- ※最新の iPod ソフトウェアにてお使い下さい。
最新の iPod ソフトウェアは、Apple 社の Web サイトからバージョンアップすることができます。

ワンポイント

- iPod は、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPod および iTunes は、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- 写真表示機能、ビデオ映像表示機能には対応していません。
- オーディオブック、podcast 機能には対応していません。
- iPod の動作に関しては保証致しかねますのでご了承ください。

ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

■ 共通操作関係

メッセージ	原 因	処 置
高温のため、動作を停止します しばらく経ってから電源を入れ なおしてください	本機内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそ のままお待ちください。
地図メディアが入っていません SDカードを入れて下さい	地図データの入った“SDメモ リーカード”が挿入されていない ため。	地図データが入った“SDメモ リーカード”を挿入してくださ い。
地図メディアが正しく読めませ ん SDカードをご確認下さい	地図データ以外のデータが入っ たSDカードを挿入しているた め。	地図データが入ったSDカードを 挿入してください。
データが読めません SDカードをご確認下さい	何らかの原因で“SDメモリー カード”が読み込めないため。	“SDメモリーカード”をお確かめ ください。
Eコードの認証エラーです インターネット経由で登録したE コードが下記内容と合致してい るかお確かめください Eコード:○○○○○○○○○○○○ ○○	WEBでEコードの登録エラーが あったため。	表示されているEコードとWEB で登録したEコードが合ってい るかお確かめください。(138 ページ参照)

■ ナビゲーション関係

メッセージ	原因	処置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（55 ページ参照）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（65 ページ参照）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（65 ページ参照）
自宅が登録されていません 自宅登録を行いますか？ はい いいえ	自宅が登録されていないときに、 自宅 にタッチしたため。	はい にタッチするとお気に入り地点登録画面を表示します。（103 ページ参照） いいえ にタッチするととの画面にもどります。
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正して下さい	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴に登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（68 ページ参照）
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、お気に入り地点などを設定・登録しようとしたため。（ワンタッチお気に入り地点登録のときを除く）	目的地、お気に入り地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（800mスケール図以下）で行ってください。
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地の移動をしますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	はい にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、 いいえ にタッチしてください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
お気に入り地点が登録されていません お気に入り地点を登録してからお使い下さい	お気に入り地点が登録されていないときに、お気に入り地点で地図を呼び出そうとしたため。	お気に入り地点を登録してからお使いください。(103 ページ参照)
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	お気に入り地点を登録した数が100カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なお気に入り地点を消去してから登録してください。(114 ページ参照)
VICS文字（図形）情報を受信中ですしばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。(120 ページ参照)
VICS情報は800m図より広域の地図には表示されません	VICS表示中に800mスケール図より広域の地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。(55 ページ参照)
VICSの文字（図形）情報を受信していません	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。(120 ページ参照)
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
走行中は操作できません	E-iSERVへアクセスするための2次元バーコードのサイズ変更を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
該当するマップコードがありません 確認して修正してください	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。

■ オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめ下さい	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
異常検知でディスク再生停止中です*	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
再生できるファイルがありません	CD-R/RWに再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているCD-R/RWを入れてください。
走行中は音声のみをお楽しみ下さい	走行中に地デジ、DVD、またはVTRを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
このDVDはリージョンが違うので再生できません	対応していないリージョンコードのDVDを入れているため。	対応しているリージョンコードのDVDを入れてください。「再生可能なディスクの地域番号(リージョンコード)について」(196ページ)
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。
入力番号が正しくありません	DVDの言語コード、暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい番号を入力してください。
iPodとの通信エラーのため再接続してください	iPodからの応答がないため。	Dockコネクタを再接続してください。(218ページ参照)
iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。	最新のソフトウェアをApple社のWebサイトからダウンロードしてください。
	iPodとの接続が検知できないため。	販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
放送を受信できません	地デジ放送の受信エリア外にいるため。	地デジ放送を受信できるエリアに移動するか、受信可能なチャンネルに切り替えてください。
	IC (B-CAS) カードのセキュリティエラーのため。	IC (B-CAS) カードの動作確認をしてください。「B-CASカードの動作確認をする」(180ページ)
データ放送を受信できません	番組表または番組詳細画面のデータ放送の受信ができないため。	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
受信可能なチャンネルがありませんでした	チャンネル設定時に受信できるチャンネルがなかったため。	チャンネルを受信できるエリアに移動してください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
正常に動作しませんでした 正しく装備されていないか、故障しています ご確認下さい	販売店へお問い合わせ下さい。 IC（B-CAS）カードが正しく差し込まれていない、もしくは故障しているため。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

■ 共通操作関係

症 状	考えられること	処 置
地図が表示されない。	地図“SDメモリーカード”が入っていますか？	同梱の地図“SDメモリーカード”を挿入してください。
エンジンスイッチをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください。 (40 ページ参照)
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。(41 ページ参照)
画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの (例) マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの (例) 携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままお待ちください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
ディスプレイが閉じない。	ディスク、または地図“SDメモリーカード”が正確に挿入できていますか？	ディスク、または地図“SDメモリーカード”が正確に挿入されていることをご確認ください。

1. 知っておいていただきたいこと

■ ナビゲーション関係

症 状	考えられること	処 置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(53 ページ参照)
自車マーク  が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。(53 ページ参照)
GPS マークの色が青色で表示されない。	GPS 情報を利用できない状態ではありませんか？	GPS マークは受信状態によりマークの表示色が切り替わります。(46 ページ参照) 接続状態情報画面で GPS 受信個数をご確認ください。(139 ページ参照) 場所を移動しても GPS マークの表示色が切り替わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
案内音声が出力されない。	案内の音量が小さく（音声 OFF に）なっていませんか？	音量を大きくしてください。(51 ページ参照)
音声案内が  の手前で終了する。	目的地周辺のルートが細街路（灰色）ではありませんか？	音声案内は濃い青色のルートの最終地点手前 100m で終了します。(84 ページ参照) 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99% 以上の有効画素がありますが、0.01% 以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
実際の現在地と異なる場所に自車マーク  が表示されている。 (自車マーク  がずれている。)	GPS 衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マーク  がずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マーク  がずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングや GPS 情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。(場合によっては、数分程度かかることがあります。) GPS 情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。(136 ページ参照)
目的地設定画面・ナビメニュー画面の一部がトーンダウンしている。	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
50 音・住所などがトーンダウンしている。		
お気に入り地点などトーンダウンしている。		

症 状	考えられること	処 置
高速道路上で案内が終了してしまふ。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。(83 ページ参照) 目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。 故障ではありませんのでそのままご使用ください。
地図上に VICS 情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS 放送を行っている放送局を受信していますか？	FM 多重選局で VICS 放送を行っている局に選局してください。
	VICS 表示が OFF になっていませんか？	VICS 表示を ON にしてください。
	表示情報の設定が全て「しない」になっていませんか？	表示情報の設定を「する」にしてください。
	VICS サービスエリアを外れていませんか？	VICS の提供エリアは、「 VICS サービスエリアについて 」(238 ページ) を参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICS エリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データに更新してください。
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
 の時間が時刻と違う。	VICS 放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
	時計ではなく、表示中の VICS 情報の提供時刻を示しています。VICS 情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。
ナビ詳細設定画面で「車両ナンバー設定」の 1 、 3 、 5・7 、 軽 がトーンダウンしている。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。(89 ページ参照)
IrDA 通信ができない	携帯電話は適合していますか？	「 携帯電話の操作 」(78 ページ) を参照してください。
	送信角度は適切ですか？	
VICS が受信できない	アンテナ設定が 下げる になっていませんか？	アンテナ設定を 上げる にしてください。
	ラジオをお聞きになっていませんか？	ラジオモードを OFF にしてください。

1. 知っておいていただきたいこと

■ オーディオ・ビジュアル関係

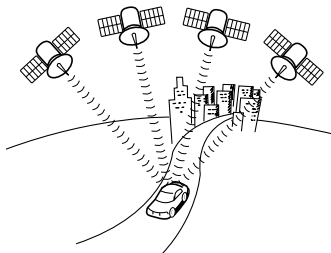
症 状	考えられること	処置
音が出ない	音量が0になっていませんか？	VOLスイッチを押して確認してください。
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
ラジオが受信できない	アンテナ設定が 下げる になっていませんか？	アンテナ設定を 上げる にしてください。
ラジオの受信感度が悪い		
ディスクが入らない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていませんか？	すでに入っているディスクをイジェクトしてから、お好みのディスクを入れてください。
ディスクの再生ができない	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。（148 ページ参照）
	ディスクに大きなキズやソリがありませんか？	他のディスクを入れてください。
	ディスクがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。（148 ページ参照）
	ディスクが裏返しになっていませんか？	ディスクを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないディスクが差し込まれていませんか？	対応しているディスクを差し込んでください。（148 ページ参照）
音声は出るが、映像が出ない	画面消 にタッチして画面を消していませんか？	現在地 を押してください。（41 ページ参照）
音声は出るが、地デジ映像やVTR映像が出ない（停車中）	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。
地デジ放送の映像が止まって音が出ない	地デジ放送の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
地デジ放送が受信できない	お車が地デジ放送を受信できない地域にありませんか？	地デジ放送を受信できる地域に移動してください。

症 状	考えられること	処置
DVD再生時、リヤスピーカーから台詞が出力されない	5.1ch対応のDVDソフトを再生していませんか？ 5.1ch対応のDVDソフトの主音声（台詞）はフロントスピーカー又はセンタースピーカー（センタースピーカー取付時）から出力されます。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
DVD再生時、字幕／音声の切り替えができない	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	字幕 、 音声 での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。「 ディスクメニューを操作する 」(201ページ)
iPodの充電ができない	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	Dockコネクタが正しく接続されていますか？	Dockコネクタの接続をご確認ください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

● GPS (Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

● 自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自転車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自転車の現在地を表示できます。

● 広域地図、詳細地図

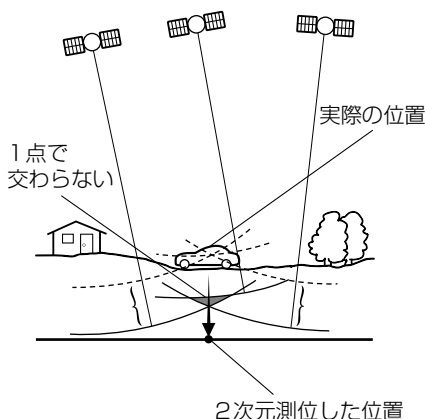
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1／2048万、1／1024万、1／512万、1／256万、1／128万、1／64万、1／32万、1／16万、1／8万、1／4万、1／2万、1／1万、1／5000です。

● 測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自転車の現在地を測定することです。本機では、地図画面の右上にGPSマークを表示しています。また、GPS衛星の受信状態により、GPSマークの表示色が切り替わります。（メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」は表示しません。）

● 2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

● 振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電氣的に検出する振動ジャイロセンサーと路面の傾斜を検出する傾斜計（Gセンサー）で現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

● スーパーオーディオCD（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

● シングルレイヤーディスク

HD層※が1層のみのディスク

● デュアルレイヤーディスク

HD層※が2層のみのディスク

● ハイブリッドレイヤーディスク

HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層

CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

● CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

2. 用語説明

- Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

- ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、1セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。1セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

- データ放送

通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見ることができます。

- MP3

MP3はMPEG Audio LayerIIIの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するため、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

- ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。ID3タグに対応したプレーヤーでID3タグ情報の表示や編集が可能です。

- WMA

WMA (Windows Media? Audio) はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3よりも小さいサイズに圧縮することができます。

- WMAタグ

WMAファイルには、WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。WMAタグに対応したプレーヤーでWMAタグ情報の表示や編集が可能です。

- ハイビジョン

高精細度テレビジョン (HDTV : High Definition TV) のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4 : 3なのに対して、ハイビジョン映像は16 : 9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。

3. 地図データについて

地図データについて

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、アイシン・エイ・ダブリュ株式会社と株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図および 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。(測量法第 30 条に基づく成果使用承認 平 15 企指向第 2 号)

●この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。(測量法第 44 条に基づく成果使用承認 90-060)

●交通規制データの出典について

この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、(株) トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

●道路交通規制の優先について

このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●道路交通情報データについて

道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。

データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター (VICS センター) の技術が用いられています。

©2009 財団法人 日本デジタル道路地図協会

© アイシン・エイ・ダブリュ (株) & ZENRIN CO.,LTD & (株) トヨタマップマスター

3. 地図データについて

高速道路料金データについて

使用している高速道路・都市高速の料金データは、2008年10月現在のものです。（一部新設道路を除く）

VICSサービスエリアについて

（08年10月現在）

収録されているVICSエリアは、下記の都道府県が対象となります。

北海道（札幌地区、旭川地区、函館地区、釧路地区、北見地区、室蘭地区、帯広地区）、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、埼玉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、静岡県、長野県、愛知県、岐阜県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、大分県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

VICS提供情報エリアが拡大されても、本データベースでは新しく拡大された提供情報エリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

4. VICS 情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第 1 章 総 則

(約款の適用)

第 1 条 財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使います。

- (1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第 2 章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第 4 条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第 3 章 契 約

(契約の単位)

第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)

第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第 4 条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第 10 条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第 11 条 当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第 12 条

- 1 当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
- 2 第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第 4 章 料 金

(料金の支払い義務)

第 13 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第 5 章 保 守

(当センターの保守管理責任)

第 14 条 当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第 15 条

- 1 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
- 2 当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第 6 章 雑 則

(利用に係る加入者の義務)

第 16 条 加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第 17 条

- 1 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されないことがあることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
- 2 VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

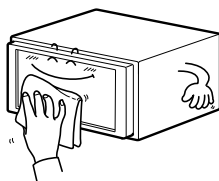
[別表]

視聴料金 315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

5. お手入れについて

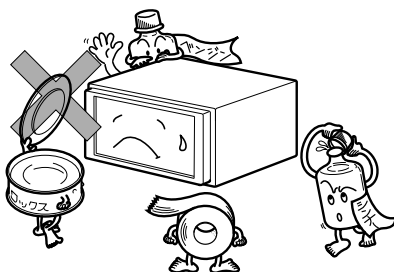
本機のお手入れについて

- 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

- ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。
変質したり、塗装がはげることがあります。



アンテナのお手入れについて

- 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。
- アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。
- コードのコネクタ部分に力をかけないでください。
- 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。
- 受信状態が良くなる角度に調整してください。
- カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

6. 仕様

<ディスプレイ>

液晶パネル	7.0型ワイド低反射パネル
画面寸法	156.0 (W) × 82.7 (H) mm
画素数	280,800個 (400 (H) × 234 (V) × 3)
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブマトリクス方式
動作温度範囲／保存温度範囲	-20°C～+65°C／-40°C～+85°C

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	AM522～1,629kHz／FM76～90MHz
実用感度	AM22dB μ V (S/N20dB)／FM14dBf (新IHF)
周波数特性	30～15,000Hz (FM)
ステレオセパレーション	35dB (1kHz)

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	90dB (1kHz)
ダイナミックレンジ	88dB

<DVD部>

高調波歪み率	0.01% (0dB、1kHz)
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	90dB (1kHz)

6. 仕様

<共通部>

定格出力	15W×4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
最大出力	45W×4（試験電圧14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（10.5-15.8V）／アース専用
消費電流	● 0.5W×4出力時 約3.5A ● 最大約15A
外形寸法	横幅180mm・高さ100mm・奥行165mm
質量（重量）	約2.9kg

<地デジ・チューナー部>

受信周波数	470MHz～770MHz（UHF帯：13ch～62ch）
インピーダンス	75Ω
アンテナ	4ch（フロント×4）

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

MEMO

7. 索引

共通索引

五十音順

ア

お手入れについて240

カ

画面

画質調整画面を表示する40
 夜画・昼画表示に切り替える40
 画面を消す41
 画質の調整41

故障とお考えになる前に

共通操作関係229
 ナビゲーション関係230
 オーディオ・ビジュアル関係232

こんなメッセージが表示されたときは

共通操作関係224
 ナビゲーション関係225
 オーディオ・ビジュアル関係227

サ

仕様241

設定内容の初期化（ナビ）43

操作音の設定39

タ

ディスプレイ

角度調整34

ハ

初めてお使いになるときは

地図“SDメモリーカード”
 の差し込み方24
 地図“SDメモリーカード”の出し方 ...26

本機

各部の名称と操作22
 電源の入れ方・切り方28
 モードについて29
 作動条件について36

マ

マルチ画面

表示する30
 切り替え方31

ヤ

用語説明234

ラ

ラジオアンテナの設定42

アルファベット／数字

D

DISC

DISC の入れ方32
 DISC の出し方33

E

E-iSERV

E-iSERV について37
 E-iSERV へのアクセスについて37
 赤外線通信について38

ナビゲーション索引

五十音順

ア

音声案内

目的地案内中の音声案内の例 98

音量

調節する 51

高速時の自動音量切り替えを
設定する 52

お気に入り地点の登録

地点の登録について 102

登録する 103

修正・入力する 105

消去する 114

カ

画面切り替え時の動画表現 51

現在地

表示する 53

修正する 136

交差点拡大図

解除する 93

表示する 93

交差点・レーン（車線）案内

分岐しない交差点 92

分岐する交差点 92

3D イラスト拡大図 93

立体交差点拡大図 93

高速分岐モード

解除する 97

表示する 97

高速略図画面

操作する 59

解除する 59

サ

施設の表示

簡易操作で表示する 62

施設ランドマークを消去する 63

複数ジャンルを表示する 64

周辺の施設を検索する 65

ルートを考慮したリストを表示する 66

自車位置マークの切り替え 54

自動再探索 100

車両ナンバー

設定する 96

精度と誤差 140

全ルート図の再表示 99

接続状態情報

表示する 139

全ルート図表示

見方 85

走行軌跡

表示する 56

解除する 56

タ

地図データ

表示する 138

地図データについて 237

地図の移動

移動する 54

地図の操作

位置を変更する 79

地図の向き 57

地図の呼び出し方法

50 音で呼び出す 70

住所で呼び出す 71

お気に入り地点で呼び出す 73

履歴で呼び出す 73

電話番号で呼び出す 74

7. 索引

施設／ジャンルで呼び出す	75
マップコードで呼び出す	76
最後に表示していた地図で呼び出す	77
ケータイリンクで呼び出す	77
到着予想時刻表示	94
道路形状警告 (合流警告・カーブ警告).....	60

ナ

ナビゲーション画面の見方.....	46
ナビメニュー画面	48
ノースアップ表示	57

ハ

バックアイカメラ	
映像を映す	133
画面の見方	133
ガイド線の解除	135
フェリー航路の案内	94
ヘディングアップ表示	57
補正	
現在地を修正する	136

マ

目的地案内	
開始する	91
デモンストレーション (デモ)	91
目的地設定	
目的地設定・ルート探索について	80
地図スクロールから設定する	82
自宅を設定する	82
地図の呼び出し方法から設定する	83
目的地の消去	89
目的地履歴の消去	90

ラ

リスト画面の切り替え方.....	50
料金案内.....	95
ルート探索.....	83

ルートの再探索

ルートの再探索について	100
ロケーションサーチ	67

ワ

ワンタッチスクロール	54
------------------	----

アルファベット／数字

V

VICS 情報

VICS について	116
VICS メディア概要	117
VICS 情報提供内容と表示.....	119
放送局を選択する	120
表示を設定する	123
VICS 情報の表示について.....	124
VICS 情報を地図表示する.....	125
VICS 情報を消去する	125
渋滞・規制音声案内	126
VICS 図形情報を表示する	127
VICS 文字情報を表示する	128
VICS 表示マークの種類	130
用語説明.....	131
問い合わせ先.....	131

数字

5 ルート探索機能	86
5 ルート同時表示	86

オーディオ索引

五十音順

ア

アルバムシャッフル222

音

主音量を調整する154

音質

音設定画面を表示する155

音量バランスを調整する155

ラウドネスを設定する156

音質を調整する156

カ

画面

モードを切り替える157

緊急警報放送186

後席用モニター

後席用モニターについて217

サ

シャッフル222

ソース

切り替える152

操作画面を表示する152

タ

地上デジタル TV 放送

地上デジタル TV 放送について151

地デジ

初期設定をする179

チャンネルを設定する183

見る183

見たいチャンネルを選ぶ184

設定画面に切り替える185

映像を切り替える185

音声を切り替える185

字幕を切り替える186

音声多重放送を切り替える186

緊急警報放送を受信したときは186

EPG（電子番組表）を見る187

番組の情報を見る187

地デジを終わる187

データ放送の使い方188

文字スーパーを設定する192

イベントリレーを設定する193

受信モードの設定をする193

ディスク

使用できるディスクについて148

取扱いについて149

新しいディスクについて150

レンタルディスクについて150

特殊形状のディスクについて150

ディスクのアクセサリについて150

ハ

早送り・早戻し

CD162

iPod220

ビデオ

見る215

設定画面に切り替える216

終わる216

ラ

ラウドネス156

ランダム162

ラジオ

聞く158

聞きたい放送局を選ぶ158

放送局を記憶する159

止める160

7. 索引

リピート

CD	162
iPod	221

ワ

ワイドモード	157
--------------	-----

アルファベット／数字

B

B-CAS カード

B-CAS カードについて	175
差し込み・取り出し方について	176

C

CD プレーヤー

聞く	161
聞きたい曲を選ぶ	161
早送り・早戻しする	162
同じ曲を繰り返し聞く	162
曲の順番をランダムに聞く	162
止める	162
ディスクについて	148

D

DVD プレーヤー

ディスクについて	195
見る	199
映像を操作する	200
ディスクメニューを操作する	201
止める	202
見たい映像を探す	203
アングルを切り替える	204
字幕言語を切り替える	205
音声言語を切り替える	206
音声多重を切り替える	206
音声言語を設定する	208
字幕言語を設定する	209
メニュー言語を設定する	210

マルチアングルマークの表示

を設定する	210
-------------	-----

視聴制限を設定する	211
-----------------	-----

映像出力を切り替える	212
------------------	-----

言語コード一覧	214
---------------	-----

I

iPod プレーヤー

接続する	218
------------	-----

取りはずす	219
-------------	-----

聞く	219
----------	-----

早送り・早戻しする	220
-----------------	-----

聞きたい音楽ファイルを選ぶ	220
---------------------	-----

聞きたい音楽ファイルを リストから探す	220
------------------------------	-----

同じ音楽ファイルを 繰り返し聞く	221
---------------------------	-----

音楽ファイルの順番を ランダムに聞く	222
-----------------------------	-----

止める	222
-----------	-----

対応可能な iPod について	222
-----------------------	-----

M

MP3/WMA プレーヤー

ディスクについて	148
----------------	-----

聞く	164
----------	-----

聞きたいフォルダを選ぶ	164
-------------------	-----

聞きたい音楽ファイルを選ぶ	165
---------------------	-----

早送り・早戻しする	165
-----------------	-----

同じ音楽ファイルを 繰り返し聞く	165
---------------------------	-----

順番をランダムに聞く	165
------------------	-----

同じ音楽フォルダを 繰り返し聞く	166
---------------------------	-----

CD 内の全曲をランダムに聞く	166
-----------------------	-----

止める	166
-----------	-----

MP3/WMA について	167
--------------------	-----

MP3/WMA ファイルの 作り方、楽しみ方	172
---------------------------------	-----

V

VOL スイッチ

音量を調整する 154

VTR

見る 215

設定画面に切り替える 216

終わる 216

凡例

表示	内容
 (紫色)	高速・都市高・有料道路
 (赤色)	国道
 (緑色)	主要地方道
 (黄色)	県道
 (灰色)	その他の道路 (巾5.5m以上)
 (灰色)	その他の道路 (巾3.0m以上)
	トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
	私鉄
	JR
	水域
	都道府県界
	緑地
	駅舎・敷地
	官公庁
	都道府県庁
	市役所・東京23区役所
	町村・東京以外区役所
	警察署
	消防署
	郵便局
	インターチェンジ
	サービスエリア
	パーキングエリア
	信号機
	駐車場
	駅
	道の駅
	フェリーターミナル
	港湾
	空港・飛行場
	学校

表示	内容
	幼稚園
	病院・医院
	電力会社・発電所
	電話局
	銀行・信用金庫・農協
	デパートなど
	ホテル・旅館など
	ビル
	工場
	灯台
	神社
	寺院
	教会
	霊園・墓地
	城・城跡
	名所・観光地など
	ゴルフ場
	スキー場
	海水浴場
	アイススケート場
	マリーナ・ヨットハーバー
	陸上競技場・体育館
	キャンプ場
	公園
	温泉
	山
	その他の施設

・表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

製品に対するお問い合わせにつきましてはお買い上げの
販売店までご連絡ください。

富士通テン株式会社

〒652-8510 神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話 神戸 (078) 671-5081



* 0 9 0 0 0 2 - 3 2 4 2 A 7 0 0 *

090002-3242A700
1001MT(D)